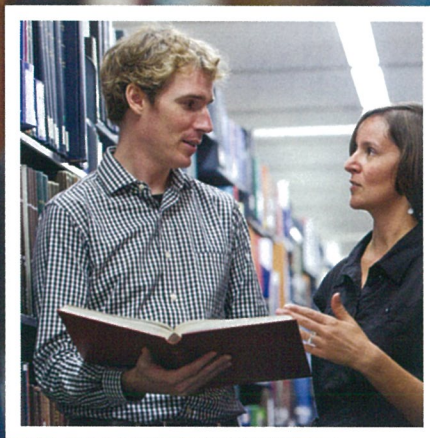


THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

5

2017
MAY
VOL.65 NO.5



若者のリーダーシップを養成

RYLA

寄付金の流れ：
寄付が生かされるまで

CELEBRATE WITH US IN ATLANTA

アトランタ国際大会が近づいてきました。この大会が皆さまにとって最も素晴らしいロータリーの経験になると信じています。私たちは、ロータリー財団 100 周年を大いに祝うこととなりますが、ロータリー財団が誕生したこのアトランタを置いてほかにふさわしい場所はありません。

ジュディーと私は、アトランタの町とその南部の温かいもてなしが大好きです。刺激を受け、楽しみ、新しい友人をつくるためにも、ぜひアトランタにお越しください。一生に一度の機会を、お見逃しなく！

John Judy

John Germ, Rotary International President,
and his wife Judy

大会へのご登録は
riconvention.org/jaから

Rotary



ロータリー国際大会
米国ジョージア州・アトランタ
2017年6月10日～14日

アトランタでお会いしましょう！

親愛なるロータリアンの皆さん、皆さんがこのメッセージをお読みになっているところ、6月10～14日にアトランタで開催される第108回国際ロータリー年次大会に向けての準備が最終段階に入っています。ロータリーが人類に奉仕したこの一年を祝うだけでなく、ロータリー財団を通じて世界でよいことをしてきた一世紀を祝う今大会は、史上最大かつ最高の国際大会の一つになると期待しています。

参加を決めていない人も、まだ間に合います。www.riconvention.org/ja から登録できます（大会会場で登録することもできます）。4万人内外のロータリアンが一堂に会し、アイデアを分かち合い、最高のひとときを過ごす——ロータリー年度を締めくくるのに、これ以上に素晴らしい方法があるでしょうか。

ポリオ撲滅におけるロータリーの友人でパートナーであるビル・ゲイツ氏の講演を、今年の国際大会で聴くことができるのを、とても楽しみにしています。また、6月9～10日に開催される会長主催平和会議に合わせて早めにアトランタにお越しください。キング牧師（マーティン・ルーサー・キングJr.）の息女バーニスA.キング氏とコレッタ・スコット・キング夫人の講演が予定されています。

私の地元とも言えるアトランタで国際大会が開かれることを、とても光栄に思います。活気に満ちた、現代的な州都であるアトランタは、私の出身地テネシー州チャタヌーガからは車でたった2時間、有名な南部のおもてなしが経験できる素晴らしい街です。土曜の夜のキックオフイベント「Blue Jeans and Bluegrass」を皮切りに、ホスト組織委員会が充実した週末を計画しています。

友愛の家から道路を渡ったところにあるセンテニアル・オリンピック・パーク（100周年オリンピック公園）で、グラミー賞受賞歌手のリッキー・スキャッグスと彼が率いるバンド、ケンタッキー・サンダーの演奏に合わせて踊りませんか。100周年記念ブロックパーティーやアトランタ平和ツアーで旧交を温め、さらに新たな出会いが待っているでしょう。ハビタット（国際NGO）とともに家づくりのボランティアで汗を流したり、ポリオ撲滅3Kウォーク／ランに参加したりと、いろいろなイベントが目白押しです。そして、アトランタをたつ前には、友愛の家でのパーティーをお忘れなく。ロータリー財団の100歳記念パーティーが開催されます。もちろん、おいしいケーキとアイスクリーム付きですよ。

このまたとない機会を、ジュディーと私は皆さまと一緒に祝うのを楽しみにしています。南部のお国言葉では「with ya'all（「あなたたちと」）！」。アトランタでお会いしましょう！



ジョン F. ジャーム R I 会長のメッセージやニュースは www.my.rotary.org/ja/news-media/office-president でご覧ください。

John F. Germ
2016－17年度 国際ロータリー会長



ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから

5月は青少年奉仕月間です

3 R I 会長メッセージ
アトランタでお会いしましょう! 
R I 会長 ジョン F. ジャーム

19 よこそRotary
忙しいのはあなただけ?

20 ロータリー財団100周年を祝う
坂出東RC会長 西村 茂/桐生西RC 高森 勉

21 ロータリー財団学友の中満泉さんが
国際連合事務次長に

21 「平和のための晩餐会」
(ミリオンダラーディナー)開催
ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員会委員
金杉 誠

22 寄付金の流れ:寄付が生かされるまで 
THE ROTARIAN 5月号から

28 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 5月号から

30 心は共に
東日本大震災
大館南RC/かながわ湘南RC 高木 直之/
名古屋南RC 林 真人
熊本地震
阿蘇RC 内田 孝昭

6 ■ロータリーとは
42 ■パズルdeロータリー
43 ■エバンストン便り
43 ■管理委員長の思い 
44 ■「パズルdeロータリー」(2月号)の答えと解説
45 ■お知らせ
『友』誌で購読部数変更についてのお願い・2017-18年度版
ロータリー手帳のご案内・地区別クラブ数/会員数一覧表・
『友』6月号主要記事予定
46 ■日本ロータリー分布図
46 ■奥付

7 特集
若者のリーダーシップを養成
RYLA
ロータリー青少年指導者養成プログラム

8 第2660地区青少年活動委員長 瓦谷 勝/
第2720地区RYLA委員長 玉田龍一郎/
第2830地区2015-16年度RYLA委員長 高瀬 英人/
第2750地区RYLA委員会オブザーバー 八幡 恵介/
福山RC広報委員長 岡村 伸輔

13 RYLAに多様性を取り入れる
第9回全国RYLA研究会レポート

14 過去から今、そして未来へ
インターアクター ②
第2550地区・文星芸術大学附属高校 IAC・
宇都宮文星なでしこ IAC/米子松蔭高校 IAC/
福島成蹊高校 IAC

32 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ②③
言葉を超えて、未来へとつなぐ
高岡RC 室崎 靖
米山学友 オレナ・トゥルシュ

34 バギオ基金
フィリピンの未来を担う若者を育成支援
(一財)比国育英会バギオ基金顧問 多田 宏/
東京臨海RC/東京練馬西RC

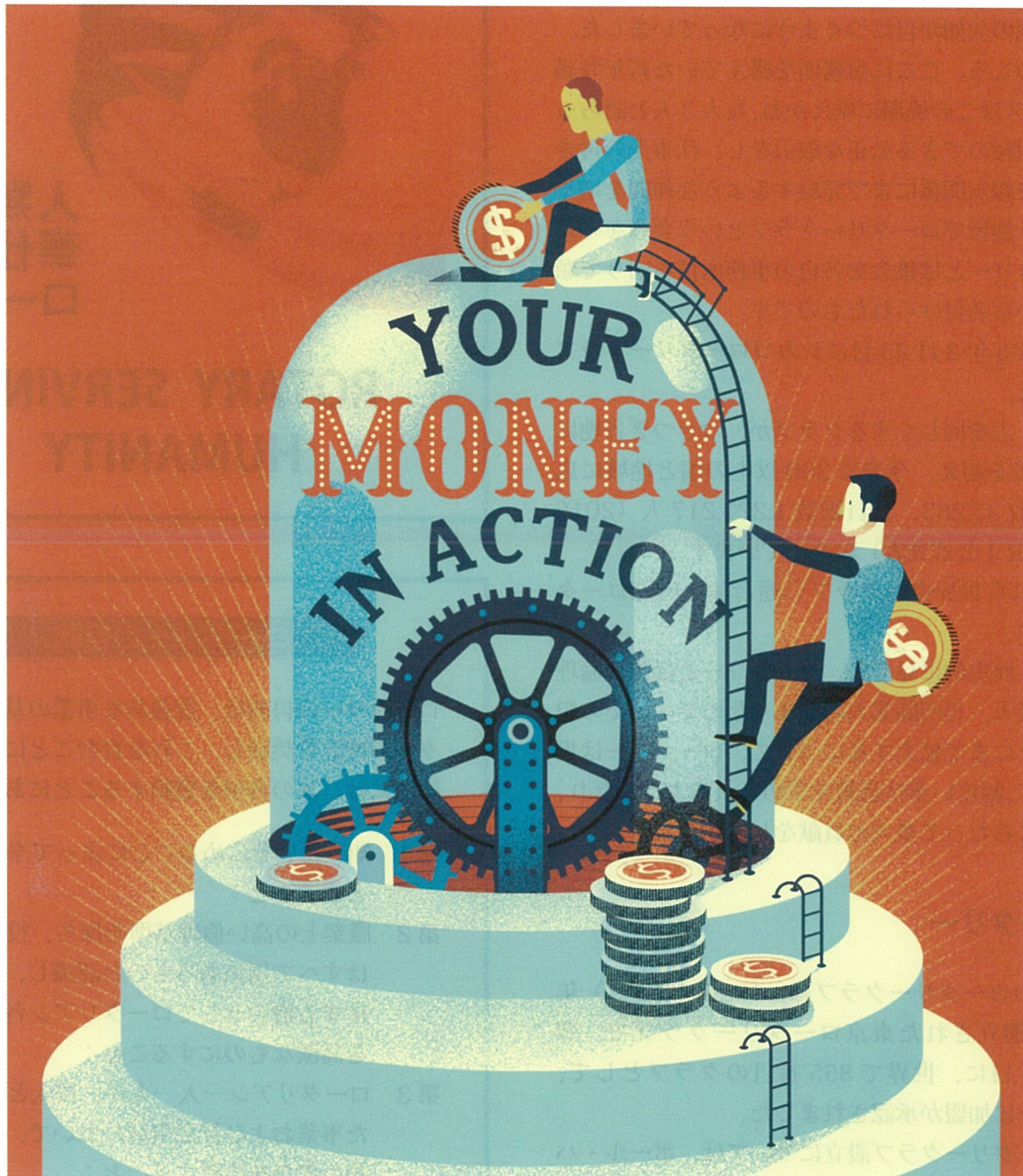
36 視点 ガバナーのページ
第2650地区 刀根荘兵衛/第2660地区 松本 進也
第2670地区 前田 直俊/第2680地区 室津 義定
第2690地区 庄司 尚史/第2700地区 富田 英壽
第2710地区 田原 榮一/第2720地区 前田 真実
第2730地区 大重 勝弘/第2740地区 崎永 剛

41 皆様のご意見をお聞かせください
全クラブ宛てに「日本のロータリー100周年」アンケート実施中
全体統括責任者 斎藤 直美
日本のロータリー100周年委員会委員長 北 清治

41 『ロータリーの友』新コーナーのお知らせ

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友 
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp



P22～27 ローター財団へのあなたの寄付はどのような流れをたどって生かされるのでしょうか
© Gwen Kereval

ロータリーの友 委員会

委員長 清水 良夫 (横浜)
副委員長 片山 主水 (名古屋東南)
R I 理事 斎藤 直美 (豊田)
R I 理事エレクト 石黒 慶一 (鶴岡西)

特別顧問 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)

顧問 井原 實 (さいたま新都心)
田中 賢三 (茅ヶ崎)
東 良輝 (宇部西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)

地区 代表委員

2500 福地 博行 (北見)
2510 松原 良次 (札幌南)
2520 熊谷 雅也 (大船渡西)
2530 白岩 良子 (三春)
2540 佐野 公彦 (秋田北)
2550 真尾 進一 (足利わたらせ)
2560 杉本 俊夫 (長岡東)
2570 古屋 一生 (熊谷西)
2770 伊藤 悟 (大宮シティ)
2790 金井 淨 (成田コスモポリタン)
2800 林 政俊 (山形)
2820 関根 一彦 (古河中央)

2830 米内 安芸 (八戸南)
2840 板垣 忍 (前橋)
2580 林 茂男 (東京ベイ)
2590 小黒 久男 (川崎西)
2600 西堀 恒司 (松本)
2610 川合 声一 (南砺)
2620 西貝 誠一 (清水中央)
2630 清水 幸平 (高山中央)
2750 井上 直行 (東京町田サルビア)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 井島 誠行 (小田原中)
2640 寺崎 勝彦 (堺)

2650 浅野 一裕 (日本ロータリークラブ3650)
2660 一瓢 秀次 (大阪北)
2670 三浦 聖人 (観音寺)
2680 佐茂 省治 (尼崎中)
2690 岡田 端 (境港)
2700 坂井 圭子 (甘木)
2710 澁谷 紀子 (広島中央)
2720 赤川 治之 (大分中央)
2730 祝迫 哲哉 (顔娃)
2740 阿部 芳男 (長崎北)
編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,263、会員総数1,227,217人（2016年11月30日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,264、会員数89,538人（2017年2月末現在）となっています。

2016 - 17 RI テーマ



ROTARY SERVING HUMANITY

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

若者のリーダーシップを養成

RYLA

ロータリー青少年指導者養成プログラム

ロータリー青少年指導者養成プログラム（Rotary Youth Leadership Awards = RYLA）は、未来のリーダーを育成するロータリーのリーダーシップ養成プログラムです。地区やクラブによってさまざまな工夫を凝らしたセミナーが行われています。今回は全国で多く実施されているRYLAの一部をご紹介します。



RYLA

1976 年、ロータリアンと青少年が向き合うことを期待し、当時の第 366 地区（大阪・和歌山）主導で日本初の R Y L A を実施しました。1982 - 83 年度の地区分割を機に、地区主導の運営からホストクラブ主導の運営へ移行。ローターアクトクラブやインターアクトクラブの未提唱クラブを創立順に選定し、秋と春の年 2 回、2 泊 3 日で開催する R Y L A を持ち回りでホストすることになりました。

ホストクラブが運営や実施に戸惑わないよう、地区青少年活動委員会が『ライラ指導指針』や『R Y L A テキスト（初級・中級）』を発刊。ホストクラブは地区委員会や専門家とともに、会員が一丸となり 1 年前から準備を始め、R Y L A を実施します。1990 年代までは、現地の専門家と協力して開催場所の特性を生かしたプログラムを実施し、同時に初級 R Y L A 修了生を対象に、より高度な上級 R Y L A を開催していました。1999 年 9 月、上級 R Y L A 修了生から希望者を募り Team R Y L A を発足。プログラムを外部の専門家に頼らず企画・運営する組織として、ホストクラブに協力します。

2003 - 04 年度、春の R Y L A から「ロータリーパパ&ママ」制度を導入。ロータリアンが受講生と一緒に全てのプログラムに参加し寝食を共にすることにより、今まで以上にロータリアンと受講生が緊密な関係を築くことができました。以降の R Y L A では必ず各班にロー



タリーパパ&ママが付き、2 泊 3 日を共に過ごすことが定着し、R Y L A の中で最も人気のプログラムとなっています。

特筆すべきことは、受講生の変化以上にロータリーパパ&ママとして参加したロータリアンが変化することです。実施前は青少年と接することに不安を感じていたロータリーパパ&ママも、セミナー終了時には同じ班の受講生との別れを惜しむほどに貴重な体験をすることができたとの感想が数多く聞かれます。R Y L A セミナーは受講生だけのものではありません。ロータリアンの研修でもあります。ロータリーパパ&ママは、青少年奉仕が「青少年の為ではなく、青少年と共に」であると実感することができる制度です。

（大阪府）



将来のロータリアンへつなぐ

第 2720 地区 R Y L A 委員長 玉田龍一郎

9 月 3 ～ 4 日、「その時どーする？ ピンチに強いリーダー論」と題して当地区の R Y L A を開催しました。第 2720 地区では 2016 年 4 月 14 日、16 日に発生した熊本地震により、甚大な被害が出ました。

世界中では洪水、台風、疫病などさまざまな災害が発生しています。そんな時どんな行動や準備が必要か？ 特にリーダーとなる人は何事にも動じることなく沈着冷静に対応し、ピンチを乗り越えなければなりません。今回は、危機管理の面からリーダーとしての心構えを学びました。

当地区 R Y L A の特色はできるだけ参加費を安くして参加しやすい環境を整えていることです。そのために講師陣はロータリアン、外部講師は N P O などの諸団体をお願いしています。また、会場運営や設営なども自分たちで行っています。しかし、R Y L A 委員会は委員が少なく、全ての準備をすることが困難です。そこで今年度は新たな試みとして、ライラリアンに開催地の現地調査、動員の協力、当日はアイスブレイク（きっかけづくりの軽いクイズや運動など）やゲームなどを企画してもらったなど、運営に携わってもらいました。



さらに大きな特色は、参加者の多くが参加後、ローターアクトに入会していることです。各班に数人ローターアクトを配置し、2 日間行動を共にした参加者は、ローターアクトの発言や行動に刺激され、懇親会などで交流することで入会につながります。また、会の最後ではローターアクト代表によるプレゼンテーションも行っています。その結果、今年度はライラリアンから 4 人が入会しました。ローターアクトと R Y L A が win-win の関係になれば、R Y L A を通じて会員増強へつながります。このプログラムを行うことでさまざまな学びを得、仲間ができて、ローターアクトへの入会につながり、そこから将来のロータリアンが生まれるかもしれません。

今後はライラリアン同士の活動も活発化させ、さらにこのプログラムの充実を図っていきたいと思います。

(熊本県・大分県)



地域のリーダーを育てる

第 2830 地区 2015 - 16 年度 RYLA 委員長 高瀬 英人

6月18～19日、青森公立大学で開催。受講生は、米山奨学生7人にローターアクト7人、一般参加者4人の計18人、ロータリアンも18人が参加しました。初日は昼食から始まり、2日目午後3時までの1泊2日4食付き。青少年にはグローバルな視点で物事を考えてもらいたいと、国際理解を中心にした内容にしました。少し専門用語が多かったため難しかったかもしれませんが、国際問題を直視して考えるよい機会になったかと思います。



青森県は東日本大震災で八戸市などが被害を受けたことから、最初の講演として、岩手大学地域防災研究センター客員教授（現、同災害文化部門専任教授）・越野修三氏による「安全保障と危機管理」。近隣諸国の敵対関係と友好関係の図が、受講者の興味を引いていました。また、阪神・淡路大震災と東日本大震災で、陣頭指揮を執った経験談も語られました。

次の講演は、当地区パストガバナーで（医）栄現会せきばクリニック院長の関場慶博氏による「世界はあなたを待っている」。ロータリーの奉仕の心を大事にしてほしい、世界のステージをもっと見てほしいと、海外で活動した経験談と国際的にボランティアで活躍している人の事例紹介がありました。

その後、参加者全員が4グループに分かれ、グループディスカッションを約1時間行いました。青少年たちもロータリアンも、活発に意見を交わしていました。留学生と議論していると、宗教上の差別や戦争時のわか

まりがまだまだ根強い国もあり、課題は多いと感じました。夕食懇親会はとても盛り上がり、参加者全員が仲良くなり、1日目を終了しました。

2日目の午前は、日本の武道を知ろうということで、抜刀術（居合）体験。青森市にある関口流抜刀術・神心館道場の早川尚彦師範を招き、演武「四方祓いの儀」でスタート。わらの柱を真剣で切る技などを見た後、会議室に移動し、神社での奉納演武のビデオ上映や質疑応答を行いました。真剣を使った技を実際に見る貴重な体験となりました。

午後は、感想文を書き、一人ずつ壇上でスピーチ。1泊2日の短期間でしたが、開会式の自己紹介の時に比べると、スピーチでは堂々と意見を発表し、成長したなと感じました。最後に、鈴木唯司ガバナーから修了証の授与と講評がありました。今回のRYLAが、参加者の役に立つことを期待しています。（青森県）



～2016年度
— 青少年指導者



当地区の R Y L A は比較的歴史が浅く、2016 年 9 月開催のセミナーが第 13 回。2004 年の第 1 回は高校生が対象で、現在のように 20 歳以上 30 歳未満を対象とすることになったのは翌年から。香川県・小豆島の沖にある余島^{よしま}で開催される第 2670 地区・第 2680 地区合同の R Y L A を原型とし、国際ロータリーの R Y L A ガイドラインに沿って設計しました。

2 泊 3 日のセミナーの初日は、2 つの基調講演と夕食後のバレーボールでのアイスブレイクとチーム作り。2 日目は会議進行の指導とグループディスカッション、夕食後は「友愛の夕べ（ゲームによるチーム作り）」、就寝前に発表するテーマによるグループ討議。最終日、午前にはグループ討議とまとめ、午後は各グループの発表と受講生による 3 分間スピーチ、そして受講生に修了証がガバナーから授与されました。

2 日目の夕食前にはロータリーが青少年指導者の育成に力を入れることについて 30 分程度の説明を行っています。この日、各グループはほとんど徹夜で討議し、最終日の発表に備えます。

プログラムは毎年異なる講演者を招き、2 つの講演のうち 1 つはグローバルな観点から、もう 1 つは現場で活躍している人による講演です。プログラムの形式は少しずつ変わってきていますが、持続性を尊重してきました。



R Y L A を修了した受講生はライラリアンと呼ばれ、当地区ではそのうちの数人が次年度以降の R Y L A 開催の支援、ライラリアン同士の親睦と向上を目指した持続的活動を行い、ネットワークを形成し、1 年交代で代表を選出しています。また、数人のライラリアンが地区の R Y L A 委員会に出席し、R Y L A の企画にも参加しています。近年では R Y L A 2 日目の「友愛の夕べ」の企画を全面的に任せ、1 泊 2 日の合宿をして企画を練る試みがなされています。セミナー開催中もグループディスカッションに参加するなど指導的役割を果たしています。受講生との年齢差がロータリアンに比べて少ないので、受講生にも受け入れられています。

このようなロータリアンとライラリアンの協力体制は、全国でも珍しいものと自負しています。全国 R Y L A 研究会で当地区のライラリアンが際立った貢献をしているのもこの協力体制のたまものにはかからないと思います。

(東京都)



リーダーシップ スポーツ雪合戦に学べ

福山 R C 広報委員長 岡村 伸輔



10 月 1 ～ 2 日、地域や企業で率先して奉仕できる若いリーダーづくりを目的に、福山ロータリークラブがホストとなり、福山市のツネイシしまなみビレッジで、30 歳以下の受講生 81 人とロータリアン、合わせて 173 人が参加し、第 2710 地区の R Y L A を開催。「健全な精神は健全なる身体に宿る」をメインテーマに、スポーツ雪合戦を通じてリーダーシッ

プや戦略・協調性の大切さを学びました。

スポーツ雪合戦は、選手 7 人と監督 1 人でチームを組み、敵陣の旗を奪うか、ボールを相手により多く当てるかで勝敗を決めます。チームで戦略を練ることや監督からの指示、選手の瞬時の判断のいずれもが求められるのが特徴です。

初日は 9 チームに分かれてスポーツ雪合戦のルールなど基本を学び、模擬対戦を行いました。崎谷俊明講師によるパワーアップセミナーでは、前向きな言葉で応援したい人を勇気付ける言葉がけの技術について学びました。夕食後のチームミーティングでは、チームごとに戦術の打ち合わせを行うなど、深夜まで懇親を深めました。

2 日目はリーグ戦で試合を行い、前日に練った戦術に基づき激しい攻防戦を繰り広げ、参加者全員が楽しく有意義な時間を過ごしました。

当地区では初めての試みとなるスポーツ R Y L A でしたが、田原榮一ガバナーから「わが地区に残る歴史的なイベント」と総評があり、参加者からも「頭と体を使い、戦略やリーダーシップについて学べた」との感想が寄せられました。R Y L A を機に友情の輪が大きく開花することを願っています。（広島県・山口県）

当地区では初めての試みとなるスポーツ R Y L A でしたが、田原榮一ガバナーから「わが地区に残る歴史的なイベント」と総評があり、参加者からも「頭と体を使い、戦略やリーダーシップについて学べた」との感想が寄せられました。R Y L A を機に友情の輪が大きく開花することを願っています。（広島県・山口県）



R Y L A って？

R Y L A とは、ロータリー青少年指導者養成プログラム（Rotary Youth Leadership Awards）のことです。年齢 13 ～ 30 歳を対象とした、リーダーシップスキルと人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。

地区単位や 2 地区以上の合同で開催したり、クラブ単独で開催することもできます。地元のニーズに応じて、1 日のセミナーから数日間の合宿まで、さまざまな形式が取られます。最も多いのは、さまざまなトピッ

クのプレゼンテーション、アクティビティ、ワークショップなどを含むものです。参加対象はそれぞれのセミナーによって異なり、リーダーシップの力を引き出すことを目的とした中学生対象のものから、創造性のある問題解決力を養う大学生対象のもの、ビジネス倫理について学ぶ社会人対象のものなどがあります。

R Y L A を通じて次世代のリーダーを育成し、奉仕志向のリーダーとしての可能性を引き出すだけでなく、地域のリーダーとしてのロータリークラブの影響力を再発見するきっかけともなります。

R Y L A に多様性を取り入れる

第 9 回全国 R Y L A 研究会レポート

2017 年 2 月 5 日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで、第 9 回全国 R Y L A 研究会が開催されました。全国 R Y L A 研究会は、「日本における R Y L A の普及」を目標とし、各地区の R Y L A 主催者が情報交換し、ネットワークを広げ、R Y L A を振り返る良い機会となっています。

キーワードは多様性

今回の研究会のテーマの大きな部分を占めていたのが多様性でした。今研究会委員長の市川伊三夫氏による基調講演「国際化・多様性と R Y L A」での、豊かな経験に基づいた話に続き、元国際ロータリー R Y L A 委員長の御手洗美智子氏が「R I の動向と日本の R Y L A」を紹介。この日、約 120 人の R Y L A 関係者が集まっており、初めて出席した私は、こんなにも R Y L A に携わっている人がいるのかと驚きました。

日本で現在 R Y L A を実施しているのは 34 地区のうち 28 地区。それにもかかわらず R Y L A の認知度がロータリーの中でさえないまひとつ足りないのが現状だそうです。「より一層 R Y L A の意義と可能性を伝える必要がある」と御手洗氏は訴えました。

次に、R Y L A 修了生である 3 人のライラリアンが発表。第 2760 地区の渡辺彩加さんは、第 3020 地区・スリランカで行われた R Y L A と韓国で行われた世界青年指導者会議（Young Leaders Summit = Y L S）に参加した体験を発表。国や文化によってリーダーの定義は違うこと、日本人は英語力が低く議論下手のイメージを持たれていることに気付いたと話しました。第 2550 地区の朝比奈晃平さんからは、地区 R Y L A に参加し、リーダーシップを学ぶことによって、気付きを与えられたとの発表がありました。第 2750 地区の小平裕子さんは、ライラリアンネットワークについて紹介し、ライラリアン同士のつながりやロータリアンとの関わりの継続、R Y L A で得た経験を、地域社会や自分自身の職業に還元する活動について発表しました。

午後はパネルディスカッションが行われ、モデレーターに第 1 回日本 R Y L A セミナー大会委員長で元 R I 理事の松宮剛氏、パ

ネリストに第 2750 地区パストガバナーの水野功氏、第 2750 地区元 R Y L A 委員長の井上象英氏、第 2700 地区 R Y L A ・青少年育成委員長の井上明秀氏、第 2830 地区パストガバナーの山崎淳一氏が登壇。多様性を R Y L A の中に出していくか、午前中のライラリアンの発表をふまえて討議されました。また、日本の精神文化と多様性、今の日本の教育についての問題提起もされました。

認知度の低さが共通の課題

分科会では、全部で 10 グループに分かれ、ガバナーやガバナーエレクト、ガバナーノミニーが司会、ライラリアンが書記となってテーブルディスカッションを実施。R Y L A を長年実施している地区も実施していない地区も交ざって、今後 R Y L A をいかに実施し、充実させるか、熱心に意見交換が行われました。

今回、例年より若干長めの 1 時間 10 分に分科会が充てられ、そのまとめを各グループの代表者が発表。費用やセミナーの内容・運営、会場についての課題も挙げられましたが、やはり R Y L A の認知度の低さが共通課題となっていたようです。さらに、R Y L A を修了したあとのライラリアン同士のつながりや、米山奨学生など海外からの参加による多様化の実践など、さまざまな提案が挙げられました。

講評では、元ロータリーコーディネーターの坂本俊雄氏が、非行に走る可能性のある青少年を導くことも R Y L A の活用方法として『2013 年手続要覧』に記載されていることを紹介し、彼らの参加を呼びかけました。

今回の研究会では、多様性という言葉がたくさん出てきました。今後、各地区で R Y L A を実施する時にその多様性が今回の参加者によって大いに語られ、実行されるのだと思います。これからの R Y L A の、より一層の発展が期待されます。

取材 編集部 飯田亜由香



過去から今、そして未来へ②

インターアクター

インターアクトクラブ（IAC）はそのほとんどが高校生のクラブ活動の一つとして活動しています。今回はインターアクトクラブの活動取材し、インターアクターや顧問教師などから話を伺い、活動を通しての感想や思い、そして夢を語ってもらいました。

（取材：『友』編集部 飯田亜由香）

※学年、クラブ人数などは取材時のものです。

台湾のインターアクターとの交流

第 2550 地区

2月20～24日、台湾・第3470地区のインターアクター25人とロータリアン10人が来日し、4泊5日の研修で、第2550地区のインターアクターたちと交流しました。

第3470地区と第2550地区のインターアクターの交流が始まったのは2011年3月。最初は日本のインターアクターが台湾を訪問するだけでした。日本で台湾のインターアクターを受け入れるには、金銭的な問題がありましたが、台湾のインターアクターを日本のインターアクターの家にホームステイさせることでその問題を解決しました。日本から台湾へお願いする形で、台湾から日本への受け入れが始まったのは2015年。相互交流は今回で3回目になり、今では第2550地区のインターアクターに人気のプログラムとなっています。

台湾のインターアクターたちは、20日に来日、日光でスキーを楽しみ、21日は日光東照宮を参拝した後、第2550地区のインターアクターたちが開催するウェルカムパーティーへ。日本のインターアクターが歌や二人羽織の出し物で歓迎しました。そして、その夜から台湾のインターアクターたちは、日本のインターアクターた

ちの家にホームステイまたは高校の寮に泊まります。「一緒にお風呂に入ると違いますね」と、裸の付き合いを強調したのは文星芸術大学附属高校インターアクトクラブ（IAC）の渡辺弦貴君。寝食を共にすることで距離が一気に近づいたようです。

22日は、日本の高校の授業を台湾のインターアクターに体験してもらいました。宇都宮文星女子高校では、台湾の女子生徒6人が体育の授業に参加。「英語は台湾の子が上手で、私たちはまだまだだったけど、一緒にボール遊びや鬼ごっこ、スポーツをして、掛け声は日本語でも伝わって仲良くなった感じがします」と、宇都宮文星なでしこIACの野口みみいさん。

午後は、神社で一緒に奉仕活動。宇都宮二荒山神社の手水舎で、日本のインターアクターの後に続いて台湾のインターアクターが見よう見まねで柄杓を持ち、水で手を清めます。神社の中で祈禱し、交代で本社の窓をぞうきんで拭いた後は、神社の近辺をグループごとに散策。多くのグループは商店街での買い物を楽しみました。野口さんは「日本に何回か来ている台湾の生徒には、歴史ある場所がいいかなと思って」と、宇都宮城址公園を案内し、お城の見学へ。渡辺君はアニメのぬいぐるみを買った台湾の生徒を見て、「日本ってアニメの文化なんだなってあらためて思いました」と、自分の国の文化を再認識することにもなりました。



2011年に7人のインターアクターから始まった台湾研修は、2017年には70人にもなったと羽石光臣パストガバナーは言います。「人と人との交流の積み重ねが平和へとつながる。インターアクターが主体で、ロータリアンはお手伝い」と話すのは、鈴木宏パストガバナー。交流の最後のイベントとなる宇都宮東武ホテルグランデで行われた答礼^{うたげ}の宴で、インターアクターたちはそれぞれスマートフォンを取り出して一緒に写真を撮ったり、連絡先を交換したり、別れを惜しみながらも笑顔で交流。この笑顔が親睦の成功を物語っていました。台湾のインターアクターたちは、その後、東京を観光した後、台湾へ帰国。台湾から研修に参加した呉敏嘉さんは「日本の生徒が台湾に来るのを楽しみにしています」と、次回の台湾での研修を待ち望んでいました。



「大人になった時に、世界平和に貢献できるように、しっかり交流してください。ロータリアンは応援しています」と、栃木秀磨ガバナーがインターアクターたちに語りかけました。若いころからの国際的な交流が世界平和につながる。そのことがまさにここで実践されていた。

(栃木県)

I A C ・ INTERVIEW

■文星芸術大学附属高校 I A C

男子高校ですが、唯一女子のいる英進科から女子2人が入部。17人で活動しています。

生駒 翼君（高校2年生、写真右）

普通に生活していたら、海外の人と接する機会がないので、クラブに入って良かったなと思います。目上の方とも話をする機会があるので、ロータリーの方からのむちゃぶりにもなれました。普段はクラスとか、多くても全校生徒で、見ず知らずの人の前で話す場面ってないんです。ロータリークラブの例会では、目上の人でしかも偉い人たちの前で話さないといけないので。将来は、世界を回って難民などの支援をしたいです。



渡辺 弦貴君（高校2年生、写真左）

科が違うと女子と会わないので、唯一クラブで男女が交流できます。中学校のころは卓球部でしたが、試合だと仲良くなる場というのはあまりなく、一緒に食事したりどこかに出かけたりするというのがほかのクラブと違うと思います。将来は声を生かして働きたいと思っているんですけど、一番なりたいのは声優です。（クラブで）みんなの前で話すのはとてもいいと思っています。いかに緊張しないで聞き取りやすく伝えられるかっていうことを大切に話しています。

■宇都宮文星なでしこ I A C

高校名は宇都宮文星女子高校です。校章が「なでしこ」であることから、校長先生が命名。カンボジアの学校建設をクラブの基幹プロジェクトとし、8年間募金活動を継続している、91人の大きなクラブです。

野口みみいさん（高校2年生、写真中央上）

クラブのみんなにはやりがいを感じてほしいです。会長の私の仕事はプリントを配ったり、みんなに召集かけたり、ほかの部員と変わりません。みんなと同じようにやっていた方がうまくいくと思います。一年生の時は、ただ活動に参加するだけでしたが、与えられたものだけで活動してはだめだなと思って、一人一提案をやったら



50案以上出てきました。ネットから探してきたり、自分たちの学校の図書館に小学生を呼んだり、清掃活動をしたりするなど、身近な提案がありました。今後はどの活動をやるかアンケートを取ります。将来は英語を使った仕事をしたいです。

顧問 中谷 雅弘先生

例会などで人前で話すようになると、自分の考えや意見を話すことができるようになりました。生徒には、弱者の立場に立って協力し、優しい気持ちを持ってもらいたいです。ボランティアは人間力の一つです。奉仕活動をやってやるぞと、振りがざしてほしくありません。

老人ホームでハンドマッサージ

米子松蔭高校 I A C

「痛かったら言ってくださいね」「手が冷たいですね」高校生が、ハンドクリームを使って優しくお年寄りの手を取って指を一本ずつひっぱったりもみほぐしたりします。2月4日、米子松蔭高校インターアクトクラブ（I A C）は、老人ホーム・ゆうゆう壺番館よなごで、利用者にハンドマッサージをしました。

2008年ごろ「高齢者施設の訪問をしたい」というインターアクターの要望があり、当時、スポンサークラブの米子東ロータリークラブ（R C）会員がゆうゆう壺番館施設長であったことからこの交流が始まりました。今では月1回訪問し、利用者と一緒にゲームや折り紙、工作などを行っています。新たにマッサージをすることになったのは、郷原百夏さんの提案によるもの。百夏さんと谷野有希さんがボランティアの人からマッサージを教わったことから、クラブでも習うことになりました。マッサージを学んだインターアクターたちは、誰かにマッサージをしてあげたいと思い、今回のお年寄りへのハンドマッサージが企画されました。

当日、おそろいのパーカーを着て集まったのは15人のインターアクター（体験入会者を含む）とボランティア参加の同校生徒2人。この日は、ハンドマッサージ班とパズル・間違い探し班に分かれ、ハンドマッサージ班が、その日交流スペースに集まった約20人の利用者に順々にマッサージを行い、その間に、残りのインターアクターと利用者が一緒にインターアクター手作りのパズルや間違い探しを楽しみました。その間、インターアクターは積極的に声をかけ、昔話を聞いたり、体調を気遣ったりしていました。

「練習の時は向かい合ってやっていたけど、この日は横で並んでマッサージをしたので、表情を見ることができなかった。次回は工夫したい」と話すのは郷原綺夏さ



ん。インターアクターたちはこの日のために家の人を練習台に、「マッサージをしてもいいですか」と最初の声をかけるところからマッサージまでの練習を繰り返してきました。その成果もあり、生徒たちのマッサージのレベルはかなりのもの。利用者から「気持ちがいいね」と好評でした。1時間の交流はあっという間で、「来てくれてうれしい。菓子折りでも用意しておけばよかった」と話す利用者もいました。「何をしていいかわからず固まっていたけど、卒業する頃には利用者さんたちへ声をかけ、後輩を手助けするなど目覚ましく成長する生徒がいる。利用者さんたちに育てられていると感じる」と顧問の高嶋博子先生は言います。

現在、クラブはペットボトルのキャップや割り箸の回収をして、学校の近くの会社^{だいせん}に持って行きリサイクルしてもらったり、米子東R Cと一緒に大山の清掃や米子城跡の美化活動を行ったりしています。「後輩にはあいさ

つをするように言っています」と話す百夏さん。一時期会員が4人にまで減り、廃部の危機もありましたが、みんなで友達に積極的に声をかけたり、勉強で忙しいなら、できる日だけでも活動をすればいいと勧誘したりして徐々に人数が増えました。

次の大きな活動は、夏



に控えるインターアクト地区年次大会。米子松蔭高校 I A C はホストを務めることになっています。今回の活動を「最初、段取りが悪かった。次はちゃんとしたい」と振り返る綺夏さんと、「話しかけるのが苦手な子がいた

のでその子に自分から積極的に話しかけるように言いたい」という百夏さん。実は双子の姉妹です。自ら考え行動する米子松蔭高校 I A C なら、ホストクラブの大役もきっと果たしてくれるでしょう。（第 2690 地区 鳥取県）

I A C ・ INTERVIEW

■米子松蔭高校 I A C は、スポンサークラブである米子東 R C が創立した翌年の 1969 年、当時、米子東 R C 創立会員の永島武氏が同高校の学校責任者だったおかげでスムーズに結成。米子東 R C には、合同で美化活動をするほかに、米子東 R C から提供してもらった物を文化祭のバザーで売って活動費に充てるなど、物心両面で支えてもらっています。女子 10 人、男子 3 人の計 13 人のクラブですが、体験入会者が男女 1 人ずついます。

郷原百夏さん（高校 2 年生、写真右）

中学 3 年生の時に担任の先生から「将来介護系の仕事に進もうと思っているなら、米子松蔭高校にはインターアクトクラブがあって、ボランティアで介護施設の訪問があるよ」と言われたことと、トライアスロンの給水ボランティアをして、選手から励ましの言葉をもらったのがうれしく、ボランティアに興味を持ったことが入会のきっかけです。自分にも何かできるこ



とがあるかなと思って、米子松蔭高校に進学し、インターアクトクラブに入ることにしました。

郷原綺夏さん（高校 2 年生、写真左）

中学の時からボランティアに参加していて、人の役に立つ

楽しみを知る機会がありました。高校では勉強を優先しようと思ひ部活に入る気はありませんでしたが、インターアクトクラブを見学したら、先輩後輩が厳しいってわけではなくて、みんな和気あいあいと楽しそうなクラブだったので、先輩と仲良くしたいと思って入りました。学校の周りのごみ拾いをしたら、結構落ちているので、なんで捨てるんだろうって気持ちになりました。ごみは自分の家に持ち帰ろう、クラブの活動以外でもごみを拾おうという気持ちになりました。

ふれあいコンサート

福島成蹊高校 I A C

大雪が心配された 2 月 11 日、福島駅周辺を避けるかのように雪は積もらず好天に恵まれたこの日、福島市の福島学院大学で、「第 18 回ふれあいコンサート」が開催され、福島成蹊高校インターアクトクラブ（I A C）も参加しました。

ふれあいコンサートの主催は同高校の生徒たち。後援は生徒自ら企業に電話をかけてお願いし、会場の外の交通誘導は野球部、中はサッカー部、ステージの和太鼓運びは女子バスケットボール部と、高校生たちの力で運営。インターアクターたちは、コンサート出演団体でもある、授産施設・たけの子の家や、勤労継続支援 B 型事業所・なのはなの家の利用者などが作った手芸品やお菓子を利用者に代わってホール前で販売し、募金活動もしました。

この日のインターアクターたちの最大の催し物は、保育園児と一緒に手話のステージ発表。9 月から毎月 1 回、敬香保育園の子どもたちと親睦を深めてきました。



前年のふれあいコンサートで先輩たちと一緒に手話演奏をやっていたとはいえ、子どもたちとは今回が初めて。クラブ活動の前に早めに集まって手話の練習をしたり、練習の進み具合の遅い生徒には、手話のできる生徒と一緒に昼休みに練習したりと、本番までみんなで努力してきました。本番当日、ステージに上がる前には子どもたちのハチマキを結んであげたり、先にステージに出る子

どもたちとハイタッチしたりと親しくなっている様子。子どもたちと「さんぽ」の曲に合わせて息の合った手話演奏の後、インターアクトクラブ単独で「桜」を披露し、障がい者や子ども、お年寄りなどさまざまな人々に向けられた、ふれあいコンサートでの発表を無事終わりました。

「子どもたちと一緒に練習したのは2回だけでしたが、それでもここまでできて良かった。今まで保育園の子と一緒に遊ぶくらいしかできていなかったけど、一つのことを一緒にやり遂げることに達成感を感じました」と田畝佳也乃さん。「地域や施設の方々と一緒に協力しながらつくって、いろいろな人の笑顔を見ることができた」と半澤直也君。

クラブは現在、高齢者福祉施設や障がい者施設の慰問、スポンサークラブの福島南ロータリークラブ（RC）と一緒にエコキャップ収集活動や、猪苗代湖の清掃などを行っています。「1年生のころは、ロータリークラブの人たちと話すのは緊張していましたが、交流する回数を重ねるうちに、緊張が解けていって話しやすくなりました」



た」と田畝さん。例会では、ロータリアンが高校に来て、なぜその職業を選んだか、社会のために必要なことなどについてグループディスカッションをしています。

「今後は、今までの活動はもちろん、あまりやってこなかったこともやりたいです。毎年点字の絵本を2冊作って寄付をしているのですが、今年は3冊できたので、次は4冊作って寄付したいです」と、意欲的な田畝さんはボクシングを習っているそうで、「将来の夢は児童福祉司と決まっています」。強さと優しさを兼ね備えた将来有望な若者がここで育っています。「いつか生徒がロータリアンになって恩返しできるような社会人に育ってくれればいいと思っています」という顧問の鈴木智美先生の願いはいつかかなうかもしれません。

（第2530地区 福島県）

I A C ・ INTERVIEW

■福島成蹊高校 I A C は、福島南 RC がスポンサークラブとなり 2004 年に結成。もともと青少年赤十字（JRC）として活動していましたが、福島成蹊高校 I A C が結成されてからは、インターアクトクラブとしても活動を行うようになりました。同高校最大の部活・ギター部 80 人に次ぐ多い人数のクラブですが、22 人いた 3 年生は引退して、2 年生 28 人、1 年生 2 人で活動しています。

田畝佳也乃さん（高校 2 年生、写真左）

高校生になって小さな大人と呼ばれるようになったことで、地域のために何かしたいと思ってインターアクトクラブに入りました。高校に入る前からポイ捨てを許せないと思っていましたが、クラブに入ってからさらに許せなくなりました。ポイ捨てを見つけたら、拾って捨てています。高齢者や障がい者など、今まで会う機会のなかった人と交流することで、接し方を学びました。ほかの部活だと大会があって何か競うということがありますが、インターアクトクラブは競うことがなくて、みんなで集まって協力して一つのことを成し遂げるとい



ことが目標なので、他校生との交流もあり信頼が厚く、つながりがあります。インターアクトクラブって優しい部活なので、優しい雰囲気づくりからだと思って、先輩後輩わけ隔てなく同じように接しています。

半澤 直也君（高校 2 年生、写真右）

自分から積極的に行動していくことの必要性を感じました。ロータリアンから話を聞いたり、他校の生徒と交流したりすることで刺激になり、自分自身が成長できたと感じます。重い障がいのある人たちと活動するので、最初はどのように接したらいいかわからなくて戸惑いがあったんですけど、優



しく接してあげたら通じ合えるんだなと思いました。一人ではできないことも、それぞれ目的を持ったみんなと一緒に協力することで、社会に貢献できるんだなと思いました。クラブで学んだ人と人とのつながりの大切さや積極性は、これから社会で生きていく上で大きな経験になると思います。

忙しいのはあなただけ？

新会員の皆さま、例会の出席状況はいかがでしょう？ 出席率 100% を続けている方もいらっしゃると思います。一方で、「なかなか出席できない」と言われる方も少なくないと思います。「仕事は忙しいし、業界や地域の付き合いもあるし、毎週例会に出るなんてムリ」と思っていないですか。そして「その上、地区大会やクラブの奉仕活動なんてトンデモナイ」と言われる方もいらっしゃるでしょう。

しかし、毎週欠かさず例会に出席したり、奉仕活動にいつも参加している先輩会員の中にも、皆さまに負けないうらい忙しい人がたくさんいます。忙しいのは、あなただけではありません。ロータリアンのほとんどが忙しい仕事を持ち、仕事以外のさまざまな分野でも活躍しています。もちろん、家庭での役割もお持ちだと思います。そんな時間を上手にやりくりして、ロータリー活動が続けているのです。

「仕事は忙しい人に頼め」とよく言われますが、私の経験から言えば、忙しい人ほど快く執筆依頼を引き受けてくださいます。誰もが平等に与えられた 1 日 24 時間ですが、その使い方が上手な人はたくさんの方がいるのだと、それらのロータリアンを見ていて思います。

そうは言うものの、企業や専門分野の第一線で活躍している皆さまですから、例会に 100% 出席するのは、とても大変なことだと思います。それでもできるだけ多くの例会に出席するよう最善を尽くし

ていただきたいと思います。皆さまは、「自分たちと時間を共有し、お互いに親しく楽しく過ごすことができる。そして自分たちに多くの刺激を与えてくれるだろう」と、先輩会員が期待してお誘いした方々なのですから。

また、クラブの例会に出席できない時は、ほかのクラブの例会に出席してメイクアップ（出席補填）することもできます。ほかのクラブの例会に出席することは、ロータリーの友人が増えたり、新しい情報を得る機会でもありますから、積極的にチャレンジしてみてください。

例会は、昼食時だけではなく、朝や夕方に開催しているクラブもありますし、出張の折にほかの地区の例会に出席するのも楽しみの一つになると思います。海外のクラブの例会に出席することもできます。どうしても時間の取れない方は、インターネット上で例会を開催しているクラブを見つけ、休日や夜間に出席することもできます。

もうすぐ新しい年度が始まりますが、入会して 2 年目、3 年目になると、少しずつクラブでの仕事が増えてくるかもしれません。奉仕活動に参加するよう誘われたり、企画を任されたりするようになるかもしれません。そんな時に「忙しいからできません」と言って断らないでください。

先輩会員から「ロータリーにノーはない」とか「ロータリーにあるのは“イエス”と“はい”だけ」と言われたことがあるかもしれません。要は断ってはいけないということなのですが、あなたなら「やってくれる」と、その能力を信じている証しでもあると思います。

先輩会員たちは、例会で皆さまと会えるのを楽しみにしています。また、皆さまとともに活動できることを、うれしく思っています。そして、皆さまの新鮮なアイデアを頼もしく思っています。忙しいスケジュールをうまく調節して、ロータリーのための時間をつくってください。

『友』編集長 二神 典子



© Alyce Henson / Rotary International

ロータリー財団 100 周年を祝う

チャリティー音楽祭 坂出東 R C 会長 西村 茂

クラブでは 11 月 19 日、坂出グランドホテルにて「ロータリー財団 100 周年記念チャリティー音楽祭」を開催。音楽を中心としたチャリティー活動とともに、参加者に向けてロータリーの活動や財団の歴史について広報しました。

音楽祭は、スウィングアーツのクラシック音楽の演奏から始まり、外国人のゴスペルグループの曲に合わせ、

ロータリアンや一般の参加者約 350 人に踊ってもらうなど、大変華やかな会となりました。終盤には、音楽に合わせて「ボイ」という LED のついた道具を振り回す芸が披露されましたが、ロータリーのロゴや財団 100 周年のロゴを LED で表示してもらえよう事前をお願いしており、大変盛り上がりしました。

また、第 2670 地区が制作した広報用アニメーション「おしえてロータリー」も上映。ロータリーのことわかりやすくまとめられており、子どもから大人まで、ロータリーのさまざまな活動を理解してもらえたと思います。今回の音楽祭で集まった資金は全額、財団に寄付させていただきました。

ロータリーの活動は、市民の認知度がまだ高くはありません。この音楽祭も広報活動の一環ですが、多くの人たちに理解してもらえるよう努力すること、アクションが必要だと感じています。これからもクラブとして、ロータリーの感動的な体験や親睦の機会を積み重ね、その体験を多くの人たちと分かち合いたいと考えています。（第 2670 地区 香川県）



茂木健一郎氏の講演会「発達障害は脳科学で理解できる」

桐生西 R C 高森 勉

クラブは今年度、創立 45 周年を迎え、記念事業として 11 月 23 日に桐生市で、各メディアでも活躍する著名な脳科学者・茂木健一郎氏の講演会「茂木健一郎が語る！ 発達障害は脳科学で理解できる」を開催しました。発達障がい児（者）の支援活動は、当クラブの戦略計画の一つであり、彼らにとって少しでも住みよい社会になるための啓もう活動に取り組んでいます。今回はロータリー財団 100 周年記念事業、および地区補助金事業として開催しました。

予算や手間の関係で、予約もチケット発行も行わなかったことから、どれくらいの来場者があるか、当日まで全く予測できない状況でした。しかし、1,600 人収容可能な会場にスムーズに来場者を案内できるよう、桐生西ローターアクトクラブと大間々高校インターアクトクラブの皆さんにも手伝っていただき、最善を尽くして当日に臨みました。

そのかいあって。当日は真冬の寒さに見舞わ

れましたが、開場時間の 1 時間以上も前から多くの来場者が列をつくって並び、時間を早めて入場してもらうほどの盛況で、会場が聴衆で埋め尽くされました。

茂木氏のユーモアあふれる話と親しみやすい人柄で、2 時間の講演時間が瞬く間に過ぎ、発達障がいへの理解という当初の目的を果たすとともに、満足してもらえる講演会となり、大成功でした。（第 2840 地区 群馬県）



ロータリー財団学友の中満泉さんが国連事務次長に

3月29日、国際連合事務総長アントニオ・グテーレス氏は、中満泉^{なかつみづ}さんを、国連事務次長兼軍縮担当上級代表に任命すると、発表しました。中満さんは国連本部で働く日本人で最高位の職員の一人となり、核軍縮協議などに国連を代表して出席します。

中満さんは、厚木ロータリークラブ（第2780地区 神奈川県）の推薦を受け、1987－88年度ロータリー財団国際親善奨学生として、アメリカ・ジョージタウン大学大学院に留学しました。

昨年11月27日に東京で開催された「ロータリー財団100周年シンポジウム」にパネリストとして参加した中満さんは「命を救うという緊急人道支援がかけがえのない国際協力の分野であることは今後も変わりません。しかし、紛争の形や性質が変わってきていますから、国連そのものや国際社会が危機に対応するアプローチも適応させていかなければいけません」（『友』1月号横組みP.26）と述べています。平和を追求し続けている彼女のますますの活躍が期待されます。



「平和のための晩餐会」（ミリオンダラーディナー）開催

ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員会委員 金杉 誠



3月28日、ホテルオークラ・ケンジントンテラスにてロータリー財団100周年を記念して「平和のための晩餐会」が開催されました。

アメリカでは寄付金集めのために「ミリオンダラーディナー」がよく開催されているのですが、日本の寄付金集めの風土にはなじまないのではないかと、今まで行われたことはありませんでした。私は、ロータリー平和センターの大口の恒久基金集めの委員に任命されて以来、ロータリー財団100周年に当たる今が、このような晩餐会を開催する好機だと思い、北清治財

団管理委員の指導と、3人の大口寄付・恒久基金アドバイザーの協力を得て開催にこぎつけました。

案内を過去の財団寄付金実績などをもとに、約200人のロータリアンにお出しすると同時に、国際ロータリー（RI）日本事務局財団室の協力を得て、大口の寄付をお願いしたところ、31人の出席と、なんと総額65万ドル（約7,500万円）もの寄付金と寄付の誓約を頂戴することができました。準備段階で

は全然集まらなかったらどうしようかと大変心配しましたが、日本の皆さまのロータリーに対する熱い思いが杞憂^{きゆう}を吹き飛ばしてくれました。

当日はバイオリニストの儀絵里子さんの演奏に続き、田中作次元RI会長をはじめ日本のトップリーダーの方々にも参加いただき、大変盛会裏に会を終えることができ、ホッとしております。何事にも勇気をもって新しいことにチャレンジすることの大切さをあらためて感じた次第です。

（2005－06年度 第2590地区ガバナー）

寄付金の流れ： 寄付が活かされるまで

ロータリー財団は一番
信頼できる寄付の管理人。
その訳を
ご説明しましょう。

イラスト：Gwen Kereval



2016 年、ロータリー財団はチャリティー・ナビゲーターから最高点（100 点満点）をもらいました。財務の健全性と、説明責任と透明性の徹底が評価されたのです。アメリカ全土の慈善団体を評価する独立機関である同団体からロータリー財団が四つ星の評価を受けたのは、これで 9 年連続となり、これほど高い評価を受けているのは全慈善団体のわずか 1% にすぎません。ファンドレイジング協会（AFP）もまた、ロータリー財団を 2016 年度「World's Outstanding Foundation（世界の卓越した財団）」に選びました。ケロッグ財団、マッカーサー財団といった著名な団体が受賞してきた、栄えある賞です。これらの団体は異口同音に、「**ロータリー財団への寄付は賢明な投資である**」と認めています。皆さまからの寄付金が今後何年にもわたって役立てられるよう、財団がどんな手段を講じているのか、寄付金の流れを最初から最後まで追ってみました。

寄付金の用途を指定

ロータリアンがロータリー財団に寄付をするのには訳があります。きれいな水のための支援であれ、ポリオ撲滅のための支援であれ、特定のグローバル補助金プロジェクトのための支援であれ、ロータリー財団への寄付は、皆さまの人道的支援への目標を達成するための簡単な方法です。アメリカ・イリノイ州エバンストン・ロータリークラブ（RC）に所属するロータリー財団寄付推進担当職員、エイプリル・ジェンセンによると、「少額の寄付でも、グローバル補助金プロジェクトやポリオプラス基金、国際財団活動資金（WF）の中の重点分野のための基金など、用途を指定して特定の基金に寄付することができます」。また、寄付の用途を指定せずに、最も必要とされるところに財団が自由に活用できるようにすることもできます。

**ポリオ撲滅や
個々のグローバル補助
金プロジェクト、また
はロータリーの重点分
野など、
用途を指定して
寄付できます。**

奨学金や家族財団を立ち上げたいと望んでも、管理運営に頭を痛めたいとは思わないでしょう。寄付金の管理運営はロータリー財団にお任せください。2 万 5,000 ドルを超える寄付をした場合、（その寄付により）支援するプロジェクトの詳細について個別の報告書が送られてきます。現金、株式、遺贈など、皆さまの状況に最適な形で寄付を行うことができます。

寄付金の運用

2015－16年度には、財団の支出額のうちプログラムと補助金が91%を占め、管理運営はわずか9%でした。寄付金の大部分が指定された持続可能なプログラムの援助に活用されるようにするために、財団はどのような手段を講じているのでしょうか？「必要な時にプロジェクトの資金が確保できるように、年次基金への寄付金はすべて3年間運用されます」と、財団の運用委員長を務めるロン D. パートン元国際ロータリー（RI）会長は説明します。運用委員会は3人の財団管理委員と運用を専門とする6人のロータリアンにより構成され、3年間、寄付金が責任をもって運用されるように目を光らせます。運用期間の終了後、寄付金の収益は財団の運営費に充てられます。「このような仕組みを持つ組織は、ロータリー財団以外に見たことがない」とジェンセンは言います。「見事な仕組みです」。元金は二分され、半分は地区財団活動資金（DDF）に、残りの半分は国際財団活動資金（WF）に回され、後者は最も必要とされる活動に補助金を提供するためにロータリー財団管理委員会が用いる資金源となります。

3年がたつと、寄付金の投資による収益は財団の運営費に充てられます。



補助金の授与

財団がプロジェクトの資金として補助金を提供する際、皆さまからの寄付金が長期的な影響を残せるように、財団はどのような手段を講じているのでしょうか？「持続可能性は、地域評価から始まります」と、ロータリー財団専門家グループ委員長のフィリップ J. シルバース元 R I 理事は言います。プロジェクトを計画する前に、ロータリアンは、地域社会が抱えるニーズの背景を幅広く理解するために、父親や母親、子ども、高齢者、政治的指導者など、地域の人々から話を聞きます。「その結果、どのようなプロジェクトを行うことになっても、地域の人々は自分の声が反映されていると理解することができます」とシルバース氏。「自分たちがやりたいことをやるのではありません。後で後悔することはよくありますから。初めから地域社会が当事者意識を持って関わってくれるようにしたいのです」

グローバル補助金プロジェクトでは、立案時に持続可能性の6つの要素が含まれていなくてはなりません。地域社会の強みとニーズを調査し、地元の人々の当事者意識を培い、研修を提供し、現地で物資を調達し、地元の資金源を確保し、モニタリングと評価の実施を欠かさないことが肝要です。これにより、補助金が終了しても地域社会が自力で支えていけるような、長期的なプロジェクトが保証されるのです。

プロジェクト提唱者が、自分たちだけでやり遂げなくてはならないわけではありません。ロータリー財団の職員がプロジェクトの立案を手助けします。補助金担当の職員は、地域的、文化的な問題に詳しく、重点分野担当マネジャーは、それぞれの専門分野においてかなりの実地経験を積んでいます。

地元や地域で経験・知識が豊富な人をクラブに紹介し、計画段階の初期から持続可能で大規模なグローバル補助金プロジェクトを立ち上げる指導を行うことで、ロータリーは、地域に長期にわたって影響を与えるプロジェクトに補助金を提供できるよう力を注いでいます。ガバナーが任命する地区国際奉仕委員長（ロータリアン）は、ロータリアン行動グループやローターアクト、ロータリー平和フェローやその他の学友など、プロジェクトやグローバル補助金の立案の援助を申し出てくれた地元の専門家ロータリアンのネットワークを紹介してくれます。

グローバル補助金プロジェクトでは計画段階で持続可能性の6つの要素が含まれていなければなりません。

- 地域社会のニーズと強みを調査する
- 地元の人々の当事者意識を培う
- 研修を提供する
- 現地で物資を調達する
- 地元の資金源を確保する
- モニタリングと評価を欠かさない

効果的な補助金プロジェクトにするには

ロータリー財団には、専門知識と助言を提供してくれる、専門家グループと呼ばれるロータリーボランティアのネットワークがあります。ロータリーの6つの重点分野だけでなく、調停者、外交官、産科医、エンジニア、銀行員、農学者など、さまざまな分野の専門家が700人もそろっていますから、問題が生じれば助けてくれる人が見つかるはずですよ。

寄付金が長期的な影響を及ぼせるようにするために、専門家グループのメンバーは大きな役割を果たしています。メンバーはロータリー財団に代わって大規模なプロジェクトに補助金が提供される前に、専門的見地から審査を行って実現の可能性を調べ、補助金プロジェクトの実施状況を評価するため現地視察を行います。「うまくいっていないことはないか、もっとうまくできることはないか、とロータリアンは知りたがりです」と、ウガンダ・カンパラノースRCに所属する専門家グループのメンバー、フランシス“トゥス”トゥスビラ氏は「専門家グループはそういう声に最大限に応えます」と言います。このほかにも、専門家グループのメンバーは無作為の財務監査を行い、補助金が承認されて計画通りに使われているかどうか、財団が確認するのを手伝います。

「専門家グループは、全般的に説明責任と品質保証の役割を果たし、投資家、つまり寄付してくださる人々、そして受益者を守ります」とシルバース氏。「そうすることで、私たちはロータリーというブランドを守ってもいるのです。ロータリーは受益者に成果を約束します。ですから、確実に高品質の成果が提供できるようにしたいのです。ロータリーという名前——そしてその名前以上に、約束を果たす責任がロータリーにはあるのですから」



活動成果のモニタリングと持続可能性

補助金プロジェクトのモニタリングと評価は、プロジェクトの立案時にプロジェクトに組み込まれます。「地域社会の調査で、どのような永続的な変化を共にもたらすことができるかがわかります」とシルバース氏。「しかし、活動の成果はどうやって測ることができるのでしょうか？変化が今後も続いていくと、どうすればわかるのでしょうか？ 本当に変わったことを、寄付者や受益者にどうやってわかってもらえるのでしょうか？」

ロータリー家族健康デー (Rotary Family Health Days) は、ロータリー財団の優秀グローバル補助金プロジェクトとして選ばれたものです。このプロジェクトは、HIV／エイズの発症件数が高く、HIV検査に対する社会的偏見が強いアフリカの国々で実施されています。プロジェクトには追跡調査が組み込まれており、ローターアクターとロータリー地域社会共同隊 (RCC) の会員が、このプロジェクトで診察を受けた患者に電話をかけます。シルバース氏によると、次のような具合に質問が行われるそうです。『今年、ロータリー家族健康デーに来たのはどうしてですか？』と尋ねると、例えば、抜歯の必要があったからという答えが返ってきます。『ほかに？』とやりとりを続けていると、回答者の71%が『HIV検査を受けた』と明かします。これは大きな文化的な転換です。プロジェクト提唱者は、補助金プロジェクトの完了後に最終報告を提出します。これには成果の初期評価も含まれます。ロータリアンはプロジェクト立案時に持続可能性を計画に組み込むので、プロジェクトの恩恵は完了後も続いていきます。

財団プロジェクト提唱者に活動成果のモニタリングを行うよう求めるのと同様に、財団は3年ごとに補助金モデルの評価を実施します。財団管理委員は2015－16年度に実施された最近の評価で得られた意見を参考に、クラブや地区がパートナーを見つける方法の改善など、補助金プロセスを調整します。地域社会のニーズ調査の要件を見直し、専門家グループやその他のパートナーの支援を得てプロジェクトを拡大できるよう、プロジェクト提唱者を援助します。

寄付金が永続的な成果を残せるように財団が力を尽くす一方で、抑制と均衡のために何より最大の役目を果たしているのはロータリアン自身なのかもしれない、とケニア・ナイロビムタイガノースRCに所属する第20Aゾーンのロータリー財団地域コーディネーター、エリック・キマニ氏は言います。「素晴らしいロータリアンがいるということが、寄付金の管理人としての能力を示す最高の指標です。ロータリアンを知っている人なら誰でも、私たちがどんなに時間とリソースを奉仕に費やしているか知っています。だから、安心してお金を任せられることをわかっているのです」

「本当に変わったことを、寄付者や受益者にどうやってわかってもらえるのでしょうか？」

World Roundup

世界のロータリーニュース



パキスタン

ムルタンカント・ロータリークラブは、地元病院の最高責任者で創立会長であるサルマン・ムバラク氏が指導するプログラムで、23人に無料で義手を提供しました。肘から先に装着する軽量で耐久性の高い義手のL N-4は、サンフランシスコのEllen Meadows義手財団の寄贈によるものです。「このプロジェクトを立ち上げたのは、手を切断しなければならなかった人々が差し迫った必要性を抱えているからです。原因は主に家畜の飼料を裁断するために使う原始的な機械などによる事故や、糖尿病による壊疽です」とムバラク氏は言います。「小さな成果かもしれませんが、とても特別なことを成し遂げたと誇りに思っています」

トカと呼ばれる干し草裁断機による農作業中の事故は、パキスタンにおける四肢切断の主な原因となっています。



タンザニア

キリマンジャロ山の山ろくでは、ロータリアンが学校と何十軒もの家に電気を通し、屋上に雨水貯留システムと貯水タンクを設置して、タラケアの何千人もの住民に恩恵をもたらしました。ムクーロンボ・ロータリークラブ(RC)がアメリカ・ワシントン州のブルマンRCと協同で9万ドル(約1,000万円)近い規模のグローバル補助金プロジェクトを実施し、子どもたちのための太陽光発電による読書灯、水の衛生と安全についての指導と小冊子、地元の保健所には太陽光発電システムを提供しました。



フィリピン

大阪東ロータリークラブ(RC)からの寄付金11,500ドルとマニラRCからの500ドルで、マニラにあるサンホセ病院で発達障がいや身体障がいがある約50人の子どもが暮らす寮の屋根に、ソーラーパネルを設置しました。おかげで、毎月525キロワットが発電でき、フィリピンで最も古い慈善団体と言われる1810年創立の同施設の運営費を削減できます。削減分は「より多くの患者のケアと治療に回せる」と、事務長を務めるシスター・マリア・ソコロ・ミラー・エヴィデンテは言います。



アメリカ領バージン諸島

Juanita Gardine 小学校は、セントクロイ島の貧しい地域に住む、保護が必要な児童のための学校です。児童たちはロータリーの理念を心から信じ、11月、第7020地区ガバナーのハレシュ・ラムチャンダニ氏がアーリーアクトクラブの認証式に立ち会いました。50人近い会員（その大半が5年生と6年生）と、提唱クラブであるセントクロイ・ロータリークラブ（RC）が、大型ハリケーン「マシュー」の被害を受けたハイチ人のために1,000ドル（約11万6,000円）を超える資金を調達しました。「クラブ創立を決めたのは、この学校が忘れ去られた学校だからです」とセントクロイRC会長のサンドラ・ジェラルド・ルアン氏。「子どもたちは聡明で快活。一緒に活動するたびに驚かされ、刺激されます」



グアテマラ

作家オルダス・ハクスリー氏は、グアテマラが誇る観光名所の一つ、アティトラン湖のことを、「イタリアのコモ湖に巨大な火山をいくつか飾りつけたよう。よいにもほどがある」と表現しました。しかし、文明化の代償で、リンの流出など廃水のために湖水は汚染されてしまいました。北東の湖畔にあるレイクアティトランパナジャチャル・ロータリークラブは、アティトラン湖の生態系を回復させることなどを目的の一つとして結成されたクラブです。

12月、会員たちは約1,000株のアブラガヤを植えました。アブラガヤはガマの一種で、天然のフィルター役割を果たし、湖畔の湿地回復や土手の安定化に役立ちます。アブラガヤは1株およそ1ドル。クラブは250ドル（約2万9,000円）分を支払い、残りはロータリーアクターたちからの提供分とGoFundMeのサイトで調達しました。このプロジェクトは、グアテマラ政府、ボランティア団体の¡Sembremos Tull!、アブラガヤの専門家、森林を管理しているマヤの先住民の監督のもとに行われました。

—ブラッド・ウェーバー

アティトラン湖は中央アメリカで最も深い湖で、一番深いところは1,115フィート（約340メートル）あります。

大館アメッコ市で「ロータリー希望の風奨学金」の募金活動

大館南ロータリークラブ

2月11日、大館市の冬の恒例行事「大館アメッコ市」の会場で、当クラブと大館中央ロータリークラブ、大館国際情報学院高校インターアクトクラブの各会員、秋田犬のユリ(子犬)で募金活動を行い、集まった16万7,640円全額を、東日本大震災後の遺児の教育支援として「ロータリー希望の風奨学金」に寄付しました。

アメッコ市は約430年前に始まったとされる行事で、この日にアメを食べると風邪をひかないと信じられており、アメッコ市を過ぎると春が来るとも言われます。気温は約3度でしたが、青空が広がり、街頭に立つには

よい天候でした。中心街の大通りの両側に約500mにわたってアメを売るテントが並び、アメを買いに来た人であふれていました。

募金活動は二手に分かれ、インターアクターが前面に立ち、ロータリアンは後方で呼びかけました。母親が子どもにお金を渡し募金箱に入れると、インターアクターたちは腰をかがめて優しく対応していました。私たちの前を通り過ぎ、また戻ってきて募金する人、若い人も年齢を重ねた人もみんな募金に応じてくれました。

東日本大震災の記憶は風化しつつあるとの記事が見ら

れますが、大館の人たちは被災地の応援を続け、奉仕の機会があれば実行するという思いを失っていないと知り、うれしく思いました。募金をした人には会員たち手作りのしおりを渡し、道行く人には募金の趣旨を記したビラを配布しました。温かい善意に感謝する一日となりました。(第2540地区 秋田県)



希望 かながわ湘南RC 高木 直之

ロータリー平和フェローのAllison Kwesellが福島県新地町で行っている聞き取り調査に、1月14～15日の2日間、通訳ボランティアとして参加した際に、旅館(津波で全壊)の元おかみさんから次のような話を伺いました。

2011年3月、福島県相馬市のひとり親家庭に育った青年が結婚式場の下見を心待ちにしていました。故郷に戻り農業で生計を立てるべく日本全国のさまざまな農家で研修を積む中、香川県の農家で知り合った女性と結婚の予定でしたが、11日の震災とそれに続く原発事故で、彼の人生は大きく変わることになります。放射能汚染と風評被害で福島の農業は大打撃を受けたのです。

「多くの人が福島を去り、農業を諦めている今だからこそ、福島に戻って誰もが安心して食べられる野菜を育てる」と決意した青年は、周囲の反対を押し切って故郷に戻り、祖母の家に残ったわずかな土地を耕し始めました。6月には結婚、100人出席予定だった結婚式は、30人のこじんまりしたものとせざるを得ませんでした。「私が好きになった人がたまたま福島出身だった

からここに来ました。北海道出身だったら北海道に行っていたでしょう」「家族が幸せなら、原発も気になりません」と語る働き者の妻とともに真摯に農業と向き合ううちに、周囲の農家も耕作をやめた畑を貸してくれるようになりました。

今では2人の子宝に恵まれ、研修生も受け入れています。有機・無農薬栽培の野菜に加え、卵の安全にもこだわり、生後2日のひよこから自然な餌を与えて育てた鶏の卵を出荷しています。その努力は2017年ふくしま産業賞・金賞という形で報われました。3歳になったお兄ちゃんは、野菜の収穫、鶏のエサやりや卵とりも手伝う立派な戦力です。若い二人が経営する大野村農園(<http://oonomuranouen.wixsite.com/soma>)に今日も笑顔が絶えることはありません。

この話に「希望」という言葉を思い浮かべるのは、筆者一人ではないでしょう。震災から6年、きつとどの被災地にも、今を力強く生きる若者がいるに違いないと確信できる、素晴らしい「超我の奉仕」となりました。

(第2780地区 神奈川県)

“忘れない3.11…” 東日本大震災から学ぶ 名古屋南RC 林 真人

11月26日、名古屋市で「忘れない3.11…」東日本大震災から学ぶ」と題したイベントを開催。東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市の戸羽太市長の講演などを行い、約220人が参加した。

戸羽市長は講演で「浸水予測は1m以下だったが、3階建ての庁舎が丸ごとのみ込まれた。自然相手には予測以上のことが起こり得る、災害時は全ての人が被災者」と述べ、被災経験を備えに生かすよう訴えた。

また、会場には聴覚障がい者のためのパソコン要約筆記や手話通訳などを準備し、震災直後の聴覚障がい者の様子を追った今村彩子監督のドキュメンタリー「架け橋きこえなかった3.11」の上映と講演。そのほか、フリー



アナウンサー・蟹江篤子氏による絵本の読み聞かせ、陸前高田市出身のメゾソプラノ歌手・菅野祥子氏のコンサートもあり、最後にロータリアンと「ふるさと」を合唱した。参加者全員で大震災について学ぶ、有意義な一日となった。
(第2760地区 愛知県)

心は 熊本地震 共に

「阿蘇神社」復旧にご支援ください 阿蘇RC 内田 孝昭

熊本地震から一年を迎えました。2016年4月14日の前震と16日の本震。今まで経験したことがない地震に立て続けに見舞われ、その後も余震の続く中、いち早く第2720地区(熊本県・大分県)や私共阿蘇ロータリークラブ(RC)に対して、国内外のロータリークラブから心温まるご支援をいただきました。あらためまして厚くお礼申し上げます。

阿蘇RCは今年創立50周年を迎えようとしていますが、創立会員であり初代と2代の会長を務めたのが、当時阿蘇神社の宮司であった阿蘇惟友氏でした。その阿蘇神社が本震で、国の重要文化財の楼門と拝殿が倒壊してしまい、幾つもの神殿が大きなダメージを受けてしまいました。私共、阿蘇に住む者にとって阿蘇神社は昔から大きな心のよりどころであり、倒壊したその姿を見て誰もが言葉を失いました。地元の人々は「阿蘇神社にみんなの身代わりになってもらった」と思っています。

全国のロータリアンからいただいた支援金の中から、まず「力をあわせ 頑張ろう 阿蘇」と書いたのぼり旗を1,000本作り会員が手分けして立てました。さらに4か所ある仮設住宅に外灯が不足していたので、ソーラー発電のLED式外灯を12基設置しました。

東京中央RC(第2750地区 東京都)からは、わざわざ会員数人が来てくださり、阿蘇の支援のために米などの農産物を購入してもらいました。第2660地区(大

阪府)からは阿蘇神社の地震で壊れた祭事の道具などの購入のために多額の支援金をいただき、15人の会員に訪問いただき仮拝殿で贈呈式をすることができました。

阿蘇RCの中にも被災した会員がいますが、みんなが阿蘇神社の再建を願っています。幸いにも今、震災前と同じくらい日本全国から、海外から参拝に来ていただいております。そこで、阿蘇RCでは、阿蘇神社再建復興のための支援に関して送金口座を開設しました。完全復旧にはまだまだ長い時間と多額の資金が必要ですが、日本全国のロータリアンの皆さまのご支援は大きな力になると確信し、必ずや元の姿のような阿蘇神社になりますよう今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

銀行名：肥後銀行 宮地支店

口座番号：普通 1423791

口座名義：阿蘇ロータリークラブ 阿蘇神社熊本地震復興支援基金





“よねやま”から広がる新しい世界 ②③

言葉を超えて、未来へとつなぐ



高岡 R.C.
(第 2610 地区 富山県)

カウンセラー

室崎 靖 さん

日本語が話せなくても……

オレナの来日直前、彼女の母国ウクライナではロシアがクリミア半島に侵攻。国内情勢の悪化に、僕は不安を募らせていました。そして 2014 年 4 月、寒さの残る小松空港に現れた小柄なオレナを見て、「よくぞ、無事に来てくれた」と胸をなで下ろしたのを覚えています。

彼女は来日時、日本語が話せませんでした。僕が米山カウンセラーになったのはこれが初めてですが、10 人近い青少年交換学生のカウンセラーを経験しており、僕自身もクラブも、特に身構えることはありませんでした。青少年交換学生より年齢が上である分、むしろ安心していたくらいです。オレナは英語が堪能で、カタコトでも英語ができる会員は英語で会話し、1 年もたつと、オレナも徐々に日本語が話せるようになって、どの会員とも楽しくコミュニケーションができるようになりました。

一つ言えることは、言葉は大切ではあるが、交流において必須ではない、ということです。彼女にとって、僕たちの好き勝手な日本語や例会での卓話は理解できなかったらと思います。しかし、クラブ行事に誘うと毎回「ぜひ参加したいです!」と即答するのです。これは、今までの米山奨学生にはなかったことでした。必然的に会員と過ごす時間が多くなり、会員にも交流の意義、米山記念奨学事業への理解が一層深まったように思います。だからこそ、オレナが 2 年間の奨学期間を終えた後、研究を続けさせるべく、クラブが奨学金の半額を出して行う 1 年間の延長支援にクラブ全員が同意したのです。

海外の若者を支える奨学金とその意義

海外応募者対象奨学金制度は、従来の米山記念奨学金とは異なり、日本へ留学予定の学生が、来日前に海外か

ら応募できる予約型の奨学金です。オレナが採用された当時、わがクラブの若野恒彦会員が地区米山記念奨学委員長を務めており、「日本語が話せなくても問題ない。せっかく日本で学びたいと願う留学生をウエルカムしないなんて、それはロータリーではありませんよ!」と、熱弁をふるったことを覚えています。

確かにリスクもあるでしょう。書類一つで、会ったこともない外国人を採用するのですから。しかし、自分の力で日本の奨学金を見つけだし、大学・研究室を探し、入学手続きをする。インターネットが発達した現代とはいえ、相当な行動力と熱意がなければ成し得ないことです。普段は控えめで、奥ゆかしさを感じさせるオレナですが、大きなチャレンジ精神を内に秘めているのだと思います。日本に来る留学生の多くは、アジア出身者です。そうした状況にある中、より多くの国・地域へと裾野を広げ、素晴らしい人材に日本を学んでもらう好機として、この制度の価値は大きいと思うのです。

オレナはこのたび、(独)日本学術振興会の特別研究員という非常に価値ある研究奨励金を得て、3 年間にわたった米山奨学生を卒業します。指導教官である佐藤純氏の尽力も大きかったと思います。彼女はわがクラブの希望であり、誇りです。われわれはこれまでと同様に、オレナの未来をサポートしていきたいと思いますし、僕は今後ずっと彼女のカウンセラーでいるつもりです。彼女には、ノーベル賞が受賞できるほどの研究成果を残してほしい。果たして受賞までに何人の会員が^{かいせん}生きているかはわかりませんが、受賞後の最初の凱旋講演を高岡市で行ってくれる日を、会員全員が待ち望んでいます。



送別会で、高岡 R.C. のバンドとともに

米山記念奨学金プログラムの一つ「海外応募者対象奨学金」をご存じですか？ この奨学金は、来日前に海外から個人応募ができる制度です。奨学金が約束されることで安心して来日でき、多様な国と地域から奨学生を採用できるというメリットがあります。このプログラムで採用されたウクライナ出身の米山学友、オレナ・トゥルシュさんは日本語が話せず来日。世話クラブの高岡ロータリークラブでの交流は、うまくいったのでしょうか。



米山学友
オレナ・トゥルシュさん

出身：ウクライナ
奨学期間：2014 - 17
学校名：金沢大学大学院

おとぎ話のような日本へ

着物姿の美しい芸者、侍や忍者……。本や映画で知った日本はとても魅力的でした。本当に日本人は感情を出さず、俳句で気持ちを表現するのか？ 休みなく働くのか？ 電車は正確にやってくるのか？ おとぎ話のようなイメージを描いていたにすぎませんが、私は心から日本の文化に触れてみたかったのです。もちろん、日本の高い科学水準も魅力でした。

世界中の奨学金を検索できるウェブサイトでも米山記念奨学金を見つけました。私は当時、イヴァンフランク国立大学の博士課程に在籍し、ショウジョウバエを使って脳の神経変性のメカニズムを解明する研究をしていましたが、金沢大学にある佐藤純研究室は類似分野で最先端の研究をしているだけでなく、日本有数のレーザー顕微鏡や実験装置があり、しかも英語での研究が可能でした。母国の教育制度と飛び級進学のため、私の年齢では日本の博士課程に進む資格がなかったのですが、半年間研究生として学んだ後、幸運にも医学系博士課程への入学が許可されました。大学院で研究

を続け、昨年はアメリカで開催された世界最大の遺伝学会で、研究成果を発表することもできました。

私の誓い、ロータリアンへの願い

カウンセラーの室崎さんは、日本文化や日本人の考え方、「KY（空気が読めない）」の意味に至るまで、本当に多くのことを教えてくれました。室崎さんがいなければ、クラブの皆さんと適切にコミュニケーションを取ることは難しかったと思います。ロータリーの使命を学び、他者を尊重するロータリアンに出会いました。高岡ロータリークラブでのたくさんの経験、そのすべてが心に残っています。私の日本語を辛抱強く聞き、欠点を受け入れ、温かい言葉をかけてくれた皆さん。私はずっと、高岡と日本に温かい気持ちを持ち続けると約束します。日本で博士号を取り、室崎さんがいつも冗談交じりで言うように、アルツハイマーの特効薬を発見できるような研究者になります。

最後にお願ひがあります。日本のロータリーの皆さん、どうか米山記念奨学事業をずっと続けてください。私のような学生に、チャンスを与えてください。この奨学金は、世界中の若者の人生を輝かせています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



タイ米山学友会が創立5周年の総会を開催

タイ米山学友会の年次総会が3月18日、バンコク市内で開かれました。前国王の喪に当たり非公開での開催でしたが、学友21人とその家族、タイ国内と日本のロータリアンら総勢41人の親睦の集いとなりました。2012年の学友会創立を支援し、毎年の総会に欠かさず出席しているビチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長からは「皆の活動は間違いなく日タイの友好関係につながっています。米山梅吉翁の期待通りに社会貢献に励む姿に感心し、誇りに思います」との言葉が送られ、シュティカーン・テブサン会長は「今後も皆さまの励ましをもとに頑張っていきたい」と力強く語っていました。



決意も新たに創立5周年の総会を開催

フィリピンの未来を担う若者を育成支援

バギオ基金に寄せる思い

一般財団法人比国育英会バギオ基金顧問 多田 宏（東京神田R.C.）

古来から人々は、飢餓の苦役と寒暖の苦役という2つの苦役から逃れることを求めてきました。フィリピンでは飢餓の苦役が重くのしかかっており、今日に至ってもこの苦役に苦しんでいる人が大勢います。

日本では、この2つの苦役を克服し得ている現状にあるため、彼らの苦しみを実感できません。「政治が悪い」「経済が悪い」などと評論するのは簡単なことですが、実際問題として、これらの苦役を解決するために私たちにできることは何でありましょうか。日本も初めから先進国だったわけではありません。国造りは人づくりであるということを理解し、実行できたからであります。

フィリピンにも義務教育制度があります。しかし、貧しさゆえ途中で退学してしまう子どもたちが大勢いるのです。現地の人たちの話によれば、半数近い子どもが義務教育を完全に受けることができないそうです。

バギオ基金が支援している子どもたちはみな、聡明な子どもです。彼らがまともな教育を受け、大人になった時、この国の国造りに参加することは当然でありましょ

う。私たちがこの子どもたちへの教育支援をお手伝いすることで、かつて私たちの先輩たちが世話になった種々のことに対する恩返しにもなり得ると考えます。貧困が原



北ルソン比日基金のカルロス B. 寺岡理事長と多田顧問（右）

因で社会が乱れることは歴史が証明しております。私たちの支援は微少ではありますが、しかし、着実に彼らの将来を明るくしていることは間違いありません。

日本人であるシスター・テレジア海野（1911～1989）が、不幸な境遇にあった日系人に救いの手を差し伸べ、われわれロータリアンに呼び掛け、それに応えて創立した当基金も年数がたちました。ロータリアンの

中には、このことを知らない人も多くなりましたが、この基金のおかげで日比両国が友好の絆を固く結んでいることも事実であります。

今回、第38回バギオ訪問交流団に参加して、先輩たちが営々と続けてきた成果を目の当たりにし、この事業の偉大さと日比両国のさらなる友好の輪が広がることを希求し、感想をしたためました。日本のロータリアンの善意の輪がさらに広がることを期待します。

なお、第38回バギオ訪問交流の旅は、2017年2月10～13日に実施、全国の22ロータリークラブから総勢57人が参加しました。バギオは高地なので、ロビーには暖炉があり薪がたかれていましたが、天気は良く、事故やけがもなく全員無事に帰国しました。来年も同じ時期にバギオ訪問を企画します。百聞は一見に如かずと申します。一度参加してみたいはかがでしうか。（2009～10年度 第2580地区ガバナー）



（上）乗り合いバスを降りてから奨学生の家へ向かう道のり（左下）奨学生ラプナス・イヴォンさんの自宅を訪問（右下）懇親会では、訪問した会員と奨学生がマジックを披露

バギオ基金では、フィリピンにおける日系および一般青少年のために育英資金を提供し、その勉学を援助、日本への留学を支援し、日比両国の親善友好を推進することを目的として、毎年、現地を訪問しています。第38回になる今回は、その訪問がきっかけで生まれたプロジェクトのために、2つの小学校の訪問もしました。

「バギオ訪問がきっかけで生まれたプロジェクト」を視察

小学校に飲料用浄水設備を寄贈 東京臨海ロータリークラブ

ロータリー財団地区補助金事業としてギルバートシーモン小学校に設置した飲料用浄水設備の完成を、確認しました。先生や多数の児童たちから大歓迎を受け、感謝



の言葉をいただきました。

ステンレス製のタンクの貯水槽から2本のポンペでろ過浄水装置を通して蛇口に流れ、飲料水が出てきます。その飲料水をコップいっぱい飲みましたが、おなかを下すことなく、無事帰国しました。

(第2580地区 東京都)



小学校に図書贈呈 東京練馬西ロータリークラブ

2016年2月に行ったバギオ訪問交流で、カバルヤン小学校を訪問した際、校舎にあるのは教室と体育館だけで、電気も通っていないことを知りました。

そこで、教材として英語の図書を贈呈しようと思い、今年はクラブの有志の寄付により、英語版グリム童話、アンデルセン童話、イソップ物語など20冊を持参。来



年度はロータリー財団地区補助金として40万円を活用できる予定で、小学生向けの英語辞典、日本の童話の英訳本、また算数や理科の教材と



なるような図書など、ローターアクターも交えて選定に当たりたいと思います。将来、小さな図書館に発展することを願っています。

(第2580地区 東京都)

バギオ基金の現況

【創立】1981年9月22日 【財団設立】2009年7月1日 【奨学金を支給した学生の数】3,482人
【受入留学生数】14人 【後援・関係ロータリークラブ数】369ロータリークラブ（全国34地区）
【後援者数】3,939人 【バギオ訪問回数と参加延べ人数】1977～2016年度まで38回 約1,200人

一般財団法人比国育英会バギオ基金事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-9新盛ビル5階

Tel. 03(5367)1937 Fax. 03(5367)1938

E-mail baguiofund@eos.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.baguiofund.or.jp>

寄付金受入口座

振込銀行

三井住友銀行東京中央支店

口座番号（普通）8246604

郵便振替

口座番号 00130-0-102022

47 番目のランナー

第 2650 地区

刀根莊兵衛 ガバナー

(敦賀 R C)



第 2650 地区は京都府、滋賀県、奈良県、福井県の 1 府 3 県を含む広範囲な地区です。全 97 クラブ、約 4,700 人の会員を擁し、文化的にも多様性に富んだ地区となっています。当地区は 1970 年 7 月、当時の第 365 地区が分割され、現在の地域割りに落ち着きました（地区番号は第 365、265、2650 地区）。当時の記録によると 37 クラブ、会員数 2,111 人。以来、成長・発展を遂げまして、私で 47 代目のガバナーとなります。

歴史と伝統ある素晴らしい地区ではありますが、一方、時代の変化、国際ロータリーの最近の激しい変革に十分対応できていないところもあるようです。今年度、中澤忠嗣直前ガバナーの卓越したリーダーシップの下、田中誠二ガバナーエレクト、中川基成ガバナーノミニと私の 4 人で地区戦略計画委員会を本格的に立ち上げ、一枚岩となって地区の課題や今後の方向性について議論を重ねてきました。特に今年度を地区改革初年度と位置付け、公式訪問のあり方、地区規程の新規整備、ロータリー財団 100 周年記念地区事業、新たなロータリー学友会の創設、地区委員会の再構成などを検討しました。もちろん、改革は単年度でできるものではなく、継続的な改革が必要と考えています。

改革に対する反応はさまざまです。そんな中、私は常に「私心なかりしか、みんなのためになるかどうか」を判断基準に、そして「人の上に立たせていただくことは、一番苦勞する役割を喜んで引き受けること」と肝に銘じてガバナー職を務めております。

ロータリーの運営はなかなか合理的にできていると思います。1 年で全てのリーダーが交代します。やはり、組織はマンネリ化を防ぎ、常に若く保っていかなければなりません。私は 47 番目の走者として、少しでも地区

を良い形にして、タスキをしっかり次年度の田中ガバナーに
お渡ししたいと考えています。

福井・滋賀
京都・奈良



(駅弁販売)

“The Ideal of Service”

第 2660 地区

松本 進也 ガバナー

(大阪北 R C)



国際ロータリー(R I)テーマ「人類に奉仕するロータリー」を受け、ガバナー方針を“The Ideal of Service”と決めました。これは当クラブの元 R I 理事の故・菅生浩三パストガバナーが著書『ロータリー随想』全 4 巻にて強調されたロータリーの根幹精神であり、当方もこの基本理念に則り地区運営に^{のつと}いそしました。

今年度の R I および当地区における 5 つの出来事を紹介します。第 1 に、2016 年規定審議会でクラブ運営に柔軟性が認められました。また「制定案 16 - 10 奉仕の第二部門を改正する件」にて、日本での伝統的職業奉仕論とは角度が異なる職業奉仕の見解が提示されたのも斬新なことでした。第 2 に、当地区で 9 月 24 日での地区決算決議会にて、I M グループを現状の 8 組から 6 組へ移行という再編成案とガバナー補佐選出方法の変更が決議されました(2018 - 19 年度に実施予定)。上記につき、十分説明するため、公式訪問は可能な限り 1 クラブごととし、無事 81 クラブ 74 日間を終えました。第 3 に『ガバナー月信』のペーパーレス化であります。また会員の R I 公式サイト内「My Rotary」の活用(ログイン)を推奨し、ロータリー情報の I T 化促進の足掛かりとしました。第 4 に、地区戦略計画の「新世代をロータリーにいかに対応するか」という命題に対し、「地区ロータリー学友会」を発足、5 月 13 日に創立総会を開催します。最後に、当地区 82 番目として予定する大阪水都ロータリークラブの旗揚げです。大阪は水運に支えられ、経済と文化の中心的都市として発展し、河川は大阪が誇るべき資産です。この水都という名称は大いに将来を期するものであります。

これらわれわれから発せられた service はいつか他者に還元され、その連鎖は社会を素晴らしく変容させ、世界平和をもたらすものです。ガバナー方針に掲げたこの相互的行為の重要性を引き続き、一貫して訴え続けてまいります。

大阪北部



(外食チェーン)

「おしえてロータリー」 制作秘話

第 2670 地区

前田 直俊 ガバナー

(坂出東 R C)



3 月末に、国際ロータリー日本語版ブログ「ロータリーボイス」(rotaryblogja.wordpress.com)に、私たちが制作したアニメ「おしえてロータリー (英語字幕版)」が掲載され、大変光榮に思っています。「おしえてロータリー」は、前・後半 10 分ずつの計 20 分のアニメです。前半ではロータリーの歴史、後半はロータリー財団と米山記念奨学会について、ソックモンキーというキャラクターがユーモアを交えて楽しく説明していきます。私たちがアニメでロータリーを紹介しようと思ったポイントは、この「楽しさ」にあります。アニメの良いところは、自分で文章を読むよりも受動的な分、ストレスをあまり感じないで学習できることにあります。それだけでなく、「おしえてロータリー」では、学習→楽しい→学習→楽しい……と繰り返すメリハリのある構成によって、ロータリーの要点が記憶に残り、かつロータリーが楽しく前向きなイメージとなるよう制作しています。

当地区では、会員はもちろん、幼稚園児から 70 歳までの一般の方々にもこのアニメを見ていただく機会をつくり、公共イメージの向上、会員増強の一助となるよう働きかけました。青少年奉仕活動や地域のスポーツ大会、RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)、青少年交換プログラム、ロータリー財団 100 周年チャリティーイベント、各クラブの家族会など、多くの場所では上映してきましたが、「おしえてロータリー」の素晴らしさはズバリ！ 気楽さにあると思います。なんてったってアニメですから、子どもや若者は、間違いなくしっかり見てくれます。見終わった後には、皆さまから「ロータリーのことがよくわかりました」「お父さんはご飯食べてるだけじゃなかったのね」と言ってもらえました。

一番大切なことは、こうした活動を通じて、ロータリークラブが地域で人々の関心を集め、大きな存在感を持ち、名誉ある団体と評価されるようになることです。

(整形外科医)

香川・愛媛
徳島・高知

財団補助金プロジェクト は奉仕理念の実践

第 2680 地区

室津 義定 ガバナー

(尼崎中 R C)



2013 - 14 年度にロータリー財団の新しい補助金制度が全地区に導入されてから 4 年度目になりました。地区補助金およびグローバル補助金の仕組み、申請手続き、および補助金管理に関する理解は、徐々に定着してきています。

ロータリー財団補助金プロジェクトは、ロータリー財団の使命である「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」に関連しています。地区補助金による活動は、地元や海外の地域社会の緊要なニーズに取り組むことを目的とし、グローバル補助金は大規模な国際的活動として、実施国の地元のニーズに基づいて計画し、実施することを目的としています。すなわち、地区補助金、グローバル補助金、いずれのロータリー財団補助金活動においても、まず活動の対象を調査し、ニーズを特定することが必要です。

そのためには、地域社会が抱えるニーズや問題を明らかにし、利用できる資源にはどのようなものがあるか、問題に対する取り組みがすでに行われているかどうか、どのような対処法や活動が可能かどうかなどを調査することが不可欠です。

そして、ロータリー財団補助金プロジェクトは、奉仕の対象への深い理解と思いやりを持って、課題に取り組み、解決し、その成果が持続的なものとなることを目指して実施されます。すなわち、ロータリーの奉仕理念である「他者を思いやり、お役に立つこと」を実践しています。

また、クラブ、あるいは地区が提唱者として実施するロータリー財団補助金プロジェクトは、クラブの会員に対して奉仕の訓練を施すための実験、あるいは模範例としての役割を果たしています。補助金の運用においては、理念なき奉仕や汗をかかない奉仕にしないことが必要です。

(工学教育)

兵庫



「夢」と「翔」

第 2690 地区

庄司 尚史 ガバナー

(境港 R C)



わが第 2690 地区は、岡山、島根、鳥取の 3 県にまたがり、66 クラブ、会員数 3,103 人（2017 年 2 月末）の地区です。中国山地を挟んで北側の山陰と南側の山陽は気候・風土がずいぶん違います。しかし、古代から結びつきがある地域なのです。鳥取県西部には中国山地最高峰の大山があり、スサノオノミコがこの頂上に登り、眼下に広がる土地を眺め、出雲大国を築いたという伝説があります。弥生時代、山陰には出雲大国があり、岡山側には吉備大国が存在しました。中国山地でとれる良質の砂鉄を原料とする「たたら」と呼ばれる製鉄技術があり、日本文明の古里と言えます。

昨年 10 月、3 県のロータリアンが一堂に会する地区大会の本会議を、鳥取県境港市の航空自衛隊美保基地で開催しました。日本の平和と国民の安全を守る防衛施設ということもあり、約 2,000 人が参加し、盛況な大会となりました。国際ロータリー（R I）会長代理は、「一盃からピースフルネスを」のスローガンで世界平和に貢献されている千玄室元 R I 理事にお務めいただき、大会に花を添えてもらいました。

記念講演はダウン症の書家・金澤翔子さんの母上である泰子さんをお願いし、翔子さんには壇上で揮毫パフォーマンスをしていただきました。豊一豊分の紙面 2 枚に書き上げたのが、「夢」と「翔」です。この 2 点を、懇親会の席でロータリー財団 100 周年記念イベントのチャリティーオークションに掛け、高額落札の展開となり、盛り上がりました。落札金は金澤親子のご厚意で、全額ポリオプラス基金への寄付となりました。

「夢」は米子市内 4 クラブの共同購入となり、現在、例会会場であるホテルのロビーに展示されています。世界平和とポリオ撲滅の「夢」をこの書を見るたびに意識

しています。また、今年度の R I テーマ「人類に奉仕するロータリー」のメモリアル（記念）ともなりました。

(セメント販売)



みんなのために 自ら進んで役に立とう

第 2700 地区

富田 英壽 ガバナー

(甘木 R C)



私は、自分のロータリーライフの中で、地域社会の選ばれた有識者や異業種のロータリアンからいろいろなことを学ぶとともに、種々のロータリー活動を経験させていただきました。その中で、ロータリーで学んだ一番大切なことは「みんなのために自ら進んで役に立とう」ということであります。

私たちは、クラブのために、友人のために、家族のために、職場のみんなのために、お客さんのために、地域社会のために、世界のみんなのために役に立つようにしようではありませんか、とロータリーで教えられています。ロータリアン個人、個人が日常の中で、自分で考えて、世の中のために役に立つことをしようというのが、ロータリーの奉仕の精神だと思います。

ロータリーの奉仕の理念は「Service Above Self（超我の奉仕）」であります。日本のロータリー創始者である米山梅吉氏は、「サービス第一、自己第二」と訳しています。

人間は、とにかく自分のことばかり考えがちであります。が、まず他人のことを先に考えて、自分のことはその後に考えようではないかということです。ロータリーでは個人奉仕が主体的な考え方ですから、会員の個人的傾向と、その土地の事情に最も適した行動を自分で考え、選択すればよいわけです。奉仕活動の中でも、団体で行ったほうが効果的と思われるものがあれば、それは団体奉仕で行えばよいわけです。

ロータリーで学んだこの「みんなのために自ら進んで役に立とう」という奉仕の精神を、ロータリーだけではなく他のみんなにも広げ、人の役に立つことを実践し、明るい平和な世の中にしていくことが大切でありましょ

う。そのためには、私どものロータリーを「基本に戻って、魅力あるロータリーに」していくことが今一番、求められています。



(耳鼻咽喉科医)

奉仕の中にこそ幸福 (幸せ)と平和がある

第 2710 地区

田原 榮一 ガバナー

(広島中央 R C)



今年度の国際ロータリーテーマを受けて、地区ガバナー信条を「奉仕の中にこそ幸福（幸せ）と平和がある」としました。その骨格は、職業奉仕の実践強化と人類の最大の敵であるがんの予防推進です。

がん予防の推進については、わが国の社会問題、2025 年に団塊世代が後期高齢者となり、がん難民大発生（3 人に 2 人が罹患）に対して、ロータリーの重点分野「疾病予防と治療」に相当する「がん予防の普及推進」を、3 年間の地区戦略計画として立ち上げ、「がん予防推進委員会」（地区内 12 グループから医療従事者 18 人で構成）を設置しました。その具体的な活動方針は 2 つあり、一つは、われわれロータリアン一人ひとりが、がんを「生活習慣病」として把握し、がんの一次予防（禁煙・生活習慣改善）と二次予防（早期発見・早期治療）の推進、もう一つは、職業スキルを生かした青少年へのがん教育です。予防と教育は、健康寿命の延長につながる地域づくりであり、さらには、次世代の人たちが健康に生きるために必要です。

今年 1 月末に実施し、地区内全 73 クラブ、3,308 人から回答を得たがん予防に関するアンケート調査では、全クラブが卓話を含むがん予防に取り組んでいること、全 12 グループのインターシティーミーティングのテーマは全て「がん予防」、喫煙者で禁煙を試みた成功者は約 40%、がん検診受診者数が 1,715 人（会員数の 52%）です。また、がん予防推進委員による青少年への出前講座や公開セミナーなども展開されており、誇れる成果が得られています。ロータリーが地域社会とともに取り組むがん予防の推進は、「職業奉仕という健全な精神は、がん予防による健全な身体に宿る」という理念であり、今後もロータリアン一人ひとりが、「がんを防ぐための

新 12 か条」を実践してまいります。なお当地区『ガバナー月信』に「がん予防」の欄があります。ご高覧ください。

(医学教育)

広島・山口



学ぶ・守る・育てる・ 未来へ向けて

第 2720 地区

前田 眞実 ガバナー

(大分キャピタル R C)



昨年 1 月の国際協議会で、ジョン F・ジャーム国際ロータリー (R I) 会長エレクト (当時) は、R I テーマ「人類に奉仕するロータリー」を発表されました。それを受けて、私は昨年 2 月の地区チーム研修セミナー、P E T S (会長エレクト研修セミナー)、さらに 4 月の地区研修・協議会で、今年度の地区スローガン「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」と、具体的な取り組み 12 項目を会員の皆さんに伝えました。

2005 年にロータリーが 100 周年を迎えたのを機に、ロータリーのシステムは大きく変わり始めていました。一例として C L P (クラブ・リーダーシップ・プラン) の導入、四大奉仕から五大奉仕へ、職業人以外の入会、E クラブや衛星クラブの誕生、未来の夢計画によるロータリー財団補助金システムの変更などが挙げられます。この 10 年でかなり変化しているにもかかわらず、地区やクラブは単年度制という言葉の下、前年度踏襲の運営が数多く見受けられました。これではロータリーの未来はないのではと危機感を覚え、変化に対応するためにこのスローガンを掲げました。昨年の規定審議会ではロータリーの歴史に残る立法案が可決され、さらに大きな変化の対応を余儀なくされることになり、とてもタイムリーなスローガンとなりました。

変化への対応をどう捉えるかですが、最近ブームの心理学者アドラーは、人はものの考え方、心の持ち方次第で大きく変われると言っています。要は前向きに考え、行動することです。ロータリーは非営利団体ですが、会社の経営と同様、アクティブに運営したいと思います。ロータリーの賢人であるガイ・ガンディカーは著書『ロータリー通解』の中で、「ロータリアンの種類はただ一つ、それは積極的な活動を行うロータリアン (active Rotarian)」と記しています。

地区全体にその教えが広がり、実践できれば、未来永劫の繁栄は約束されると信じます。

(専門学校)

大分・熊本



座右の銘

第 2730 地区

大重 勝弘 ガバナー

(指宿 R C)



先人の言に「蔵の財より身体の財、身体の財より心の財が第一なり」とある。「蔵の財」はお金で職業奉仕に、「身体の財」は健康、「心の財」は道徳・倫理で「超我の奉仕」に該当する。日本は戦後の貧しさの中から豊かさを求めて頑張りと、世界の経済大国となり「蔵の財」を獲得した。また医学・医療の進歩で世界一の長寿国となり、「身体の財」も手に入れた。しかし一番大切な「心の財」を蔑ろにしてきたので、物が豊富になり、生活は便利にはなったが、決して幸せにはなっていない。

日本では戦後 70 年、心の教育(徳育)がなされていない。今の子どもは学校でも家庭でも心の教育を受けないまま、身体だけが大きくなっている。日本人の「心の財」は大きく劣っており、しかもその認識すらない。

乗船寺の藤岡住職から、青年海外協力隊でネパールに行った看護師の話聞いた。ネパール人の死に顔が安らかな顔をしていたのに対し、日本人は苦渋に満ちた死に顔をしている。ネパールの人は生活も貧しく、寿命も短い。日本人は豊かな生活をし、世界一の長寿であるのに、なぜこうも死に顔が違うのか。「日本人は豊かな生活ができ、世界一の長寿であることが当たり前と思って、感謝の気持ちがないので、死に顔が苦渋に満ちているのだ」。感謝の気持ちがないと幸せになれないということである。

お金さえあれば何でも手に入ると思って、幸福と快楽をはき違え、「蔵の財」(快楽)を追い求めた結果、現在の生活は携帯電話や自動車などが普及して便利になったが、幸せにはなっていない。一番大切な「心の財」を置き忘れてきた。この忘れ物を取り戻すのが肝要である。

「心の財」がなければ幸せになれない。思いやりと感謝の気持ちが心を豊かにする。感謝する心は千万の富に勝る。蔵の財を測る物差しは「お金」、身体の財を測る物差しは「自立度」、心の財を測る物差しは「許容度」である。

(内科病院)

宮崎・鹿児島



『ロータリーの友』の すすめ

第 2740 地区

崎永 剛 ガバナー

(長崎北 R C)



私がガバナーノミニに推挙されたのは 2014 年、秋の地区大会の時でした。それまでの私はいわばロータリーのノンポリで、定款すら読んでことがありませんでした。推挙されて勉強を始めましたが、なかなか身に付きません。ふと書棚の『ロータリーの友』が目に入り、手に取ったのが、この雑誌を読むきっかけみたいなものでした。それまではまさに「ツンドク」状態でしたが、巻頭の国際ロータリー(RI)会長のメッセージにすっかり魅了されました。この文をきっかけにはまりこみ、読了したのを今でも思い出します。今では私が定期的に読む雑誌の 3 冊目になりました。

RI 会長メッセージをはじめ、皆さまが『友』に寄稿した記事の中に、時として私の心に引っかかるフレーズがあります。また、紹介されている各クラブの行事の中には、活動などのヒントになる内容や写真があります。いささかオーバーな表現をするなら「ロータリーとは何か、あるいはロータリーの今、そして未来は」ということへの回答が示されていると感ずるようになりました。

ある時、私の地区の佐賀西ロータリークラブ(RC)、佐賀北 RC、佐賀南 RC、神埼 RC、佐賀空港 RC の 5 クラブ(第 2 グループ)が、2011 年の東日本大震災の翌年から宮城県産のお米で仕込んだ純米吟醸酒「絆伝心」を酒造し、被災地にプレゼントしているということを読んで知りました(2016 年 10 月号横組み P 35)。日本酒をこよなく愛している私としては、特に心温まるエピソードとして、幸せな気持ちになりました。

先日は、佐賀県唐津市のインターシティーミーティングで二神典子編集長が講演され、「読んでもらうには皆さま方の投稿が一番です。面白く楽しい雑誌にするのは私たち編集者ではなく、皆さまです」との言葉が印象に残りました。

せっかく購入した雑誌です。元は取りましょう! いや、それ以上のものがありますよ!

(内航海運)

佐賀・長崎



皆様のご意見をお聞かせください

全クラブ宛てに「日本のロータリー 100 周年」アンケート実施中

全体統括責任者 国際ロータリー理事
日本のロータリー 100 周年委員会委員長

斎藤 直美
北 清治

日本のロータリー 100 周年委員会は、準備期間を経て、昨年（2016 年）7 月 1 日、正式にスタートしました。その趣旨につきましては、『ロータリーの友』誌面（9 月号横組み P40～41）をはじめガバナーの皆さまやロータリー研究会などを通じてお知らせしてきました。

東京ロータリークラブは、2020 年 10 月 20 日、創立 100 周年を迎えます。すなわち、日本にロータリーが誕生して 100 周年を迎えるということでもあります。

100 周年委員会では、3 つの特別委員会を設け検討を重ねております。この度、各クラブ宛てのメー

ル発信にて、ウェブアンケートを実施しております。（5 月 19 日締め切り）

ロータリーの組織において主役である各ロータリークラブの率直なご意見を伺い計画に反映させていく予定です。

日本のロータリー 100 周年委員会は、それぞれの地域社会に立脚したロータリークラブが活性化され、魅力的なクラブをつくり、誇りを醸成しロータリーの組織基盤が強化されることを願っております。

アンケートを通じて、皆さんの忌憚^{きたん}のないご意見をぜひお聞かせください。

『ロータリーの友』新コーナーのお知らせ

『友』では新年度から 3 つのコーナーがスタートします。つきましては、下記の情報、投稿を広く大募集！ 詳細は『友』4 月号横組み P39、あるいは『友』ウェブサイト（www.rotary-no-tomo.jp）をご覧ください。記入用紙もダウンロードできます。

情報募集

New Generation

インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、RYLA など、ロータリーのプログラムや行事に参加経験のある 10～30 代までの若者（現役、学友どちらも可）に今、夢中になっていること、将来の夢などを語ってもらいます。ロータリーの活動中に会った、元気あふれる若者をぜひ、ご紹介ください。

投稿募集

私の一冊

人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近読んで感動した本を、ロータリアンの皆さんにご紹介ください。本文 320 字以内。本文とは別に書籍名、著者名、出版社、発行年、投稿者情報としてお名前、クラブ名、連絡先（E メール、電話番号）を付記しお送りください。

感想募集

声

読者、投稿者のコミュニケーションのページです。『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい！」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを掲載します。気になった記事について、200 文字以内で感想をお寄せください。7 月号の内容から募集するため、10 月号からの掲載になります。

※「ロータリー・アット・ワーク」「友愛の広場」「俳壇・歌壇・柳壇」「パズル de ロータリー」「わがまちの味」への投稿・応募も引き続きお待ちしております！

記入用紙の
ダウンロードは
こちらから

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

パズルを解いて、ロータリーを学ぼう！



今月は数独。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方でも楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

ルール

- ①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

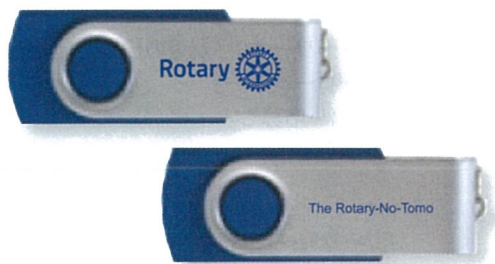
				9				
		4	2		8	3		
	1			5			6	
	7		5		6		1	
3		6				7		5
	8		9		4		2	
	5			2			8	
		2	6		9	4		
				4				

問題

3つの二重枠のマスに入った数字を合計した2桁の数字をお答えください。

答

毎月10人にロータリーの友名前入り
オリジナルUSB（4GB）をプレゼント



* 2月号の答えと解説を横組みP 44に掲載しています。

応募方法

郵便はがきに、①「5月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2017年6月12日（月）必着
正解と当選者発表 本誌8月号

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！



ロータリー学友世界奉仕賞に

緒方貞子氏

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生^{きょうべん}の緒方貞子氏に、2016 - 17 年度ロータリー学友世界奉仕賞が贈られました。

緒方氏は、国際関係に関心を抱き、アメリカ・ワシントン州のジョージタウン大学大学院へ留学。1951 年、日本人 2 人目のロータリー国際親善奨学生になりました。「ロータリーの奨学生として留学中、社会奉仕の重要性を学んだだけでなく、ロータリアンの方々との交流を通じて見識を広げ、さまざまな経験ができた」と緒方氏。「『超我の奉仕』というロータリーの標語に

深い感銘を受け、以来、これが私の人生の指針となってきました」

カリフォルニア大学バークレー校から博士号を取得後、日本に帰国した緒方氏は、国際基督教大学と早稲田大学で教鞭^{きょうべん}を執りました。その後、1991 年に国連難民高等弁務官に就任。さらに、国連総会で日本代表、国連日本政府代表部とユニセフの執行理事会議長も歴任しました。

難民問題と国際的な安全保障には深い関係があると訴えることで、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の予算と人員を拡大。国連安全保障理事会との関係を強化し、その貢献が高く評価されています。「難民を守ることは、その性質上、論争の的となり得る」と緒方氏。「行動を重んじるダイナミックな（UNHCR の）活動を実行するには、主権国家に挑むことが求められます。これらの国は自国民以外、そし

て時には自国民への対応に迫られるからです」

2000 年に UNHCR を退職後も、国連人間の安全保障委員会共同議長やアフガニスタン支援日本政府特別代表などを歴任。国際協力機構（JICA）の理事長を 2 期務めました。

政府関係の仕事に携わったことで、変化をもたらす民間人と市民グループの力を知ったと緒方氏は話します。

「私たちは急速に変化する世界に生きています。世界がこれまでにない複雑な脅威にさらされている中で、市民社会の役割や人々のつながりが、これまで以上に重要性を増しています」

国際大会

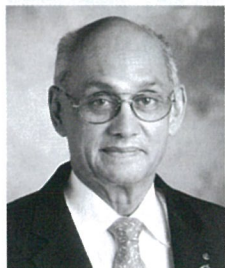
お役立ちアプリ

6 月 10 ~ 14 日にアトランタで開催される 2017 年ロータリー国際大会では、スケジュールを確認し、人と会

ロータリー財団管理委員長の思い

世界をよりよくした 100 年

2016-17 年度ロータリー財団管理委員長 カルヤン・バネルジー



ロータリー財団 100 周年を一年にわたり祝ってきましたが、それも終わりに近づいた今、

ロータリアンが世界でよいことをするために恒久基金を創立していなければ世界はどうなっていたか、立ち止まって考えてみましょう。

ロータリーの歴史的なポリオプラス・プログラムがなければ、ポリオ撲滅の一步手前にまで迫ることはなかったと断言できると私は考えます。公衆衛生当局や各国政府は予防接種のための日常業務を実施してきましたが、ウイルスの封じ込めにとどまることなく、全世界での撲滅へと躍進する起動力となったのは、ロータリーのリーダーシップと支援

のたまものです。

保健、きれいな水、適切な衛生を人々に届けることによって、そのほかの疾患を予防したり治療したりしてきたか、考えてみてください。マラリア、コレラ、HIV/エイズ、メジナ虫など、枚挙にいとまがありません。ロータリアンがプロジェクトを実施したおかげで、いったいどれほど多くの人々が苦しみや、時には死を免れることができたでしょうか。

ロータリー財団がなかったら、読み書きを覚えることもなく、生計を立てて家族を養うために必要な技能を身につけられなかった人が数多くいたことでしょう。

加えて、平和への探求もあります。2002 年、ロータリー平和センターに初のロータリー平和フェローたちが入学しました。今日では、何百人もの修了生がロータリー平和センターで学ん

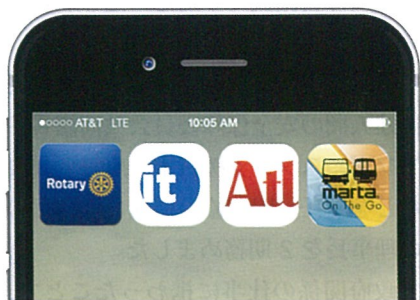
だスキルを用いて、紛争の予防・仲裁に尽力し、戦争により生活が破壊された人々を救っています。

世界中の村々に、ロータリー財団のプロジェクトを記した何百本もの看板が立てられています。井戸の横、診療所や学校の壁に取り付けられています。こういう看板を見かけると、ロータリアンであることを誇りに思い、「私の寄付もこういうプロジェクトの実現に役立っているんだ」と思うのです。

こういった看板一つひとつの陰に、プロジェクトのおかげで人生が変わった人々がいること、中には命を救われた人もいることを記憶にとどめておきましょう。そういう人々の物語こそ、ロータリー財団があるおかげでどれほど世界がよくなったかを、しっかりと教えてくれるのです。

RI 指定記事





う予定を立てたり、地元の情報を調べたりするのにスマートフォンが役立ちます。お薦めアプリをいくつかダウンロードして活用してみましょう。

まずは、無料のロータリーイベントアプリ。アプリストアで「Rotary Events」を検索してください。毎日のスケジュールを立てたり、講演者について調べたり、資料をダウンロードしたりできます。また、ほかのロータリアンとつながることも、写真のシェア、セッションの評価、大会運営者へのフィードバック送信もできます。こ

のアプリは5月10日に配信予定です。

現地での音楽、シアター、アート関連の情報を調べるなら、イベント情報が充実した Atlanta PlanIt アプリ。レストランやライブハウスの専門家レビューなら、『Atlanta』誌のアプリがお薦めです。「Best of Atlanta」2016年12月号が5ドル99セントで定期購読なしで購入できます。この号には、アトランタでの食事、観劇やアート、コンサートなどのお薦め情報が満載です。

ジョージア・ワールド・コンGRESS センターから出かける時にはアトランタの公共交通機関 MARTA をご利用ください。MARTA On the Go という無料アプリで、乗り換えや到着予定時間、路線図、最寄り駅や停留所が探せます。

—HANK SARTIN

ご登録は www.riconvention.org/ja で（ファクス、郵送での登録は終了しています。大会場で登録することもできます）

今後の R I 国際大会

2017 年 6 月 10 ～ 14 日

アメリカ・ジョージア州アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,227,217 人

クラブ数 35,263 クラブ

地区数 534 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 226,389 人

クラブ数 9,843 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 483,230 人

クラブ数 21,010 クラブ

国と地域 150 以上

2016 年 11 月 30 日現在

* 2016 年 5 月 27 日現在

** 2016 - 17 年度

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

「パズル de ロータリー」(2月号) の答えと解説

2月号の答えは

「キボウノカゼ」

当選者 (敬称略・順不同)

応募総数 196 人 正解者 192 人
斎藤浩 (福島南 R C)、大村浪雄 (茅ヶ崎中央 R C)、畔柳春雄 (岡崎 R C)、松井徹郎 (富岡 R C)、勝木育夫 (小松東 R C)、松田和彦 (羽島 R C)、石橋正吉 (出雲南 R C)、土居丈治 (神戸西 R C)、柴崎恵子 (三島西 R C)、原敏之 (川崎幸 R C)



ところで「キボウノカゼ」って？

ロータリーでは、東日本大震災で両親もしくは片親を失った遺児で、短期大学を含む大学、専門学校で学ぶ学生に奨学金を給付しています。

この奨学金の名称が2月号の答え「希望の風」、正式名称は「ロータリー希望の風奨学金」です。震災が起きて8か月後の2011年11月から奨学金の給付を始めました。

これまで希望の風奨学金を受給した学生は

591 人、2016 年 6 月末現在、岩手県、宮城県、福島県の 269 人の学生が、希望の風奨学金を給付されています。同奨学金を管理しているロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会には、奨学生や家族から感謝の声が寄せられています。

この事業は震災当時0歳だった遺児が大学を卒業する2033年3月まで、継続して行われる予定ですので、同協議会では、さらなる支援を呼びかけています。

詳細は希望の風奨学金ウェブサイト



(<http://kibounokaze.com/naiyou.htm>) あるいは『友』2016年9月号横組みP32～35をご覧ください。

『友』2月号
印象に残った記事ベスト3

1位 (58人)

金子みすゞの詩より
与えて生きる喜び

2位 (43人)

合併……その後

3位 (27人)

日本のロータリーが100年を迎えるに当たって

おまけ

『友』誌ご購読数変更について

①次年度『友』誌、上半期分（2017年7～12月号）減部ご連絡は、2017年6月5日までにお願いいたします。

②7月号の発行部数決定や発送準備の都合上、6月6日以降の7月号の減部はご容赦ください。

③6月6日以降の会員数変動による減部は、2017年7月10日までにご連絡いただければ、「8月号～12月号」の減部として、対応させていただきます。

④7月11日以降にご連絡いただいた減部はすべて、下半期1月号からになりますので、ご了承ください。

⑤追加購読のお申し込みは、残部がある限りお受けいたします。

⑥部数変更のご連絡がない場合には、2017年6月号と同じ部数を送付させていただきます。

定価 200 円＋消費税（送料込）

2017 - 18 年度版

ロータリー手帳 受付中

2017年6月～2018年12月の予定が記入でき、各地区ガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・Fax 番号・E メールアドレス、地区大会予定やロータリー関連事項も掲載し付録「ロータリー関連資料」は最新版。手帳の色はロイヤルブルー、コンパクトなサイズです。詳細はロータリークラブ宛て2月1日付ご案内状をご覧ください。

定価 600 円＋消費税（送料別）

ご注文はクラブ事務局を通し『友』事務局まで。在庫ある限りとなります。

◆お知らせ 国際ロータリーは2017年1月の理事会で、10月7日を含む1週間（月曜～日曜）を「ロータリー学友参加推進週間」に指定しました。また、東京田無けやきRC（2580・東京都）、神戸有馬RC（2680・兵庫県）が2017年3月31日付で国際ロータリーを脱会しました。

地区別クラブ数・会員数一覧表

（2017年2月末現在）

地区	RC 数	会員数	16 年2 月末 会員数
第 2500 地区	67	2,323	2,298
第 2510 地区	69	2,620	2,616
第 2520 地区	79	2,330	2,318
第 2530 地区	66	2,434	2,407
第 2540 地区	42	1,135	1,126
第 2550 地区	51	1,747	1,739
第 2560 地区	56	2,131	2,113
第 2570 地区	51	1,655	1,661
第 2770 地区	73	2,616	2,604
第 2790 地区	83	2,829	2,807
第 2800 地区	50	1,640	1,664
第 2820 地区	56	1,999	2,001
第 2830 地区	40	1,177	1,167
第 2840 地区	46	2,109	2,081
第 2580 地区	70	3,083	3,048
第 2590 地区	57	2,079	2,124
第 2600 地区	55	2,004	2,013
第 2610 地区	65	2,676	2,660
第 2620 地区	79	3,063	2,999
第 2630 地区	77	3,150	3,150
第 2750 地区	100	4,869	4,829
第 2760 地区	84	4,866	4,843
第 2780 地区	66	2,379	2,355
第 2640 地区	69	1,958	1,963
第 2650 地区	97	4,676	4,685
第 2660 地区	81	3,630	3,653
第 2670 地区	74	3,047	3,004
第 2680 地区	74	2,842	2,854
第 2690 地区	66	3,103	3,131
第 2700 地区	61	3,224	3,210
第 2710 地区	73	3,366	3,358
第 2720 地区	74	2,398	2,412
第 2730 地区	65	2,401	2,376
第 2740 地区	57	2,269	2,230
34 地区合計	2,273	89,828	89,499

日本のロータリー

会員概数 89,538 人

クラブ数 2,264

（左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です）

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 RC 290 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。16 年 1 月末 P B グループ 9 RC 会員数 288 人。

修正 地区会員数修正：本誌 4 月号横組み P 42（1 月末）表中、2650・4,676 人、34 地区合計会員数：89,625 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数：89,334 人。

*『友』ホームページの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。

*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

6 月号主要記事予定

横組み 第 1 回日本 R Y L A セミナーリポート

縦組み 地球温暖化の切り札は？

足利工業大学理事長 牛山 泉

クラブを訪ねて 夢科 RC



ご投稿・お問い合わせは

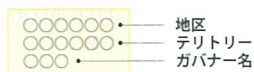
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

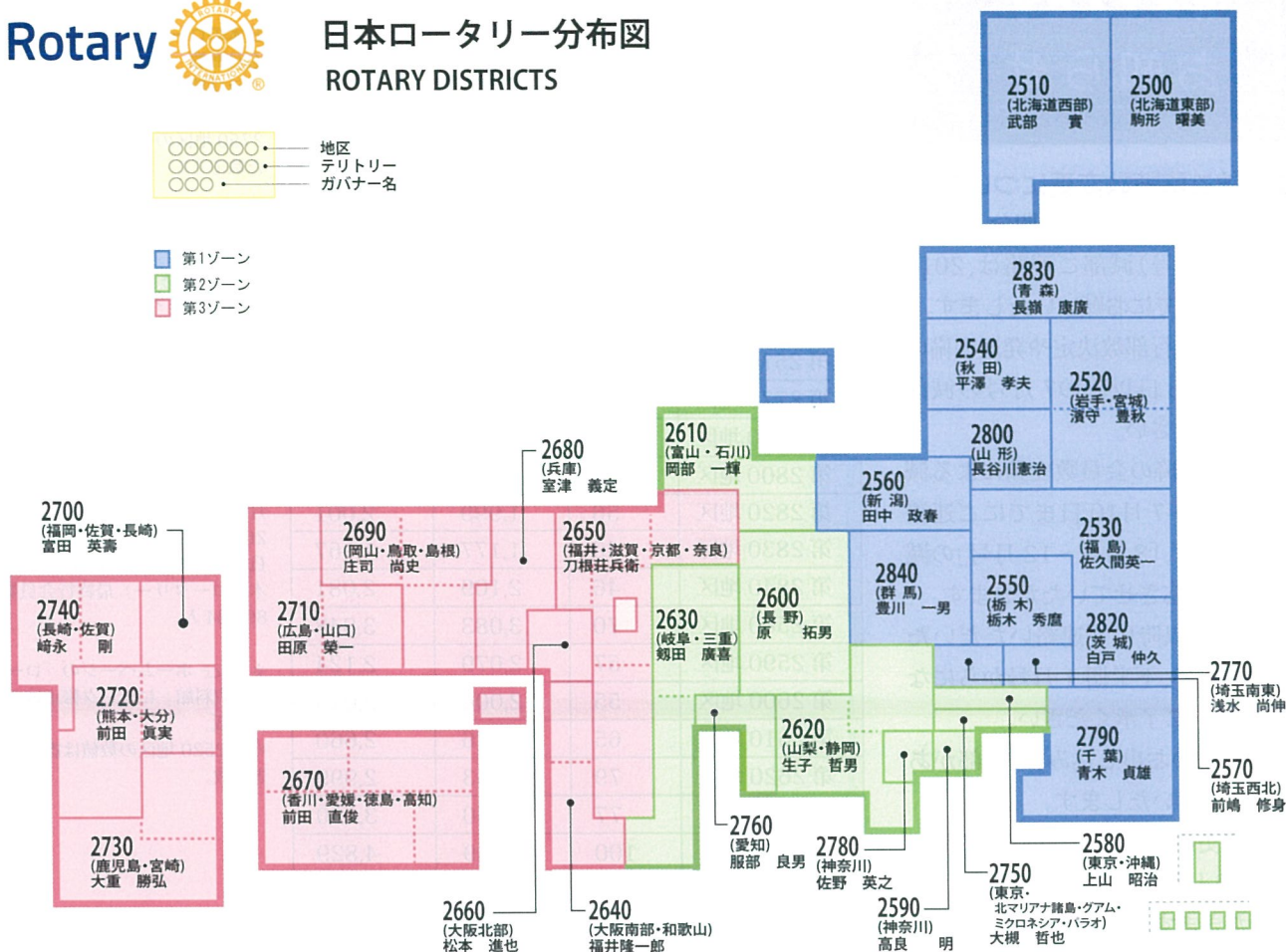
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp ロータリーの友 H P www.rotary-no-tomo.jp



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



- 第1ゾーン
- 第2ゾーン
- 第3ゾーン



ロータリーの友ホームページ www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第65巻 5月号

2017年4月30日印刷 2017年5月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

- 社員
- 斎藤 直美 (豊田)
 - 石黒 慶一 (鶴岡西)
 - 上山 昭治 (東京武蔵野中央)
 - 大槻 哲也 (東京中央)
 - 佐野 英之 (秦野)
 - 松本 進也 (大阪北)

■ 理事会

- | | | |
|------|-------|-----------|
| 代表理事 | 清水 良夫 | (横浜) |
| 理事 | 片山 主水 | (名古屋東南) |
| | 神崎 正陳 | (茅ヶ崎湘南) |
| | 上野 孝 | (横浜) |
| | 安平 和彦 | (姫路) |
| | 片岡 信彦 | (土浦南) |
| | 橋本 長平 | (京都東) |
| | 井原 實 | (さいたま新都心) |
| | 田中 賢三 | (茅ヶ崎) |
| | 東 良輝 | (宇部西) |
| | 吉田 雅俊 | (東京新都心) |
| | 猿渡 昌盛 | (東京武蔵府中) |
| | 横山 武志 | (東京北) |
| | 中里 公造 | (川口モーニング) |
| | 堀口 昇治 | (東京西) |
| | 野中 茂 | (川崎) |
| | 津村 政男 | (東京臨海東) |
| | 渡辺 誠二 | (東京みなと) |
| | 二神 典子 | (東京築地) |
| 監事 | 船越 豊 | (千葉中央) |
| | 小川 湧三 | (川崎鷺沼) |
| 相談役 | 板橋 敏雄 | (足利東) |
| | 中村 昌平 | (東京北) |

■ 職員

- | | | |
|------|--------|---------|
| 所長 | 渡辺 誠二 | (東京みなと) |
| 編集長 | 二神 典子 | (東京築地) |
| 副編集長 | 野崎 恭子 | |
| 編集 | 稲川 やよい | |
| | 黒野 穰二 | |
| | 山名 愛 | |
| | 飯田亜由香 | |
| 経理 | 富澤 美子 | |
| | 半田 弥生 | |
| | 福元菜穂子 | |

- 振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ロータリー活動の一端を紹介する、良い機会ともなりました。

(今村次美・記)

放置竹林の伐採と竹チップ作り

御坊南ロータリークラブ

第二六四〇地区・和歌山県

一月二〇日午前九時から御坊市熊野の里山で、当クラブ会員と和歌山工業高等専門学校の環境福祉ボランティアサークル・アメーバの学生たち、地元「里山を愛する会」のメンバーとともに、放置竹林の伐採と竹チップ作りを行いました。今年度で八年目となる合同イベントで、竹の増殖を抑え、本来の雑木林を取り戻す目的で実施し



生い茂った竹を次々に伐採

ています。今回は三団体で計四五人が参加しました。

まずは同会の事務局員から、放置竹林の増殖で毎年大量に里山の森が消滅していることに加え、里山本来の広葉樹林があれば、①水源が豊かになる、②野生動物のすみかとなり、人里へ出てくるのを防ぐ、③広葉樹の根が山崩れを防ぐ、④光合成で温暖化防止、⑤腐葉土で土壌を富ませ、川を通じて海を浄化し漁業資源を育む、⑥景観が良くなる、⑦森林浴でセラピー効果がある、といった説明がありました。

Annotation

ニコニコボックス

一九三六年、大阪で「ニコニコ箱」として始まったとされ、スマイルボックスとも言われます。喜怒哀楽の出来事、早退・遅刻などに対し、善意のお金を箱に納めます。集まったお金は、社会奉仕活動などに活用されます。

グローバル補助金

ロータリーの六つの重点分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模で国際的な活動を支援するためのものです。実施国（地域）と海外のクラブまたは地区が協力して提唱します。

内外よろず案内

その後、諸注意を受け、早速山に入って作業に取り掛かりました。二人一組になり、ノコギリなどを手に、てきぱきと作業しました。生い茂った竹を次々に伐採し、粉碎機で竹チップに

していききました。みんなで協力して作業に当たり、世代間交流の場ともなりました。お昼には当クラブが用意した弁当を食べ、竹チップは各自で持ち帰り、自宅で肥料として活用しました。

ロータリー国際囲碁大会を開催

ロータリー囲碁同好会（GPF

R）主催「第一八回ロータリー国際囲碁大会」が今年六月三（歓迎

晩餐会）～四日、台湾桃園国際空

港近郊のバラ園・蘿莎會館で開催

されます。毎年、韓国と台湾と持ち

回りで開催している大会で、三ク

ラス制の早番戦。参加はメーク

アップになります。

◇会場 蘿莎會館（桃園市慈康路、

現地集合・解散

◇登録料 一万五〇〇〇円

希望者は、地区・クラブ・氏名・

段級位・連絡先のファクス番号を

明記し、同会日本支部（FAX〇三

三四二一六五二）までお申し

込みください。締め切りは五月

二〇日。当会主催のツアーも。詳

細は左記ホームページまで。

<http://www.gpf.jp>

日本ロータリー親睦ゴルフ大会北海道大会開催

札幌南RC会長 星野 尚夫

◇登録費 一万五〇〇〇円

◇プレー代 一万五〇〇〇円程度

参加希望者は大会事務局（担当・

堀川）までファクスでお知らせく

ださい。申込書をお送りします。

FAX〇一一三二二二七四四

TEL〇一一三二二二二九七

詳細は左記ホームページまで。

www.rj2510.gr.jp/sapporo-south/

施。これらの活動はネパールの地域社会発展に必要な人材の育成、災害時の被害縮小に貢献すると期待します。

最終日には在ネパール大使館の小川正史特命全権大使らが出席し、ラトリブルRCの会員とともに今回の事業の受け渡し式、交流晩餐会を開きました。ここまでこぎ着けられたのも全会員の熱い思い、多くの協力のたまものと感謝する次第です。ロータリー財団のグローバル補助金を利用できたのも大きな支えとなりました。

私たちは「きれいな水を持って行くのではなく、現地の人たちがどうしたらきれいな水を手に入れられるかを考える糧にしてほしい」という思いで事業を行いました。二〇一六年は日本・ネパール外交関係樹立六〇周年でもあり、良い奉仕活動ができたと思います。

(野崎修・記)

タイの小学校に図書を寄贈

しもつけロータリークラブ

第二五〇地区・栃木県

タイのトンブリ・ロータリークラブ(RC)との縁は、当クラブ創立一〇周年の記念事業を模索していた時までさかのぼる。二〇〇六年、マッチング・グラントでタイの小中学校に浄水器を寄贈。以降、〇八年のトンブリR

C創立五〇周年記念式典への招待を受け、その後も協力して体育用具や辞書の寄贈などを行い、昨年の当クラブ創立二〇周年の式典にはトンブリRCから会員と家族一九人が出席し、花を添えてくれた。

昨年一月には協同事業として、会員六人がタイを訪れ、学校に図書を贈る事業を完遂した。具体的には一七日にバンコクの空港で、トンブリRCの盟友で、日本の同志社大学を卒業したビチャイ・マノ氏をはじめ会員の出迎えを受け、翌一八日早朝、国内線でバンコクから約六七〇キロ離れたナーン県に到着。ここはラオスと国境を接し、タイで最も貧しい地域の一つで、少数民族が多く暮らす場所でもある。

最初に児童数約七〇人のバンドンファン小学校を訪問。次に、児童数約



寄贈した本を楽しそうに読む子どもたち

一五〇人のバンチャイサタン小学校を訪れ、それぞれ図書五〇〇冊を寄贈し、贈呈式を行った。

贈呈式では故プミポン国王に黙とうをささげ、次いでトンブリRCのティラーワット・カノクン会長と、当クラブの高山功会長があいさつ。その後は先生や児童たちと交流した。贈った図書は今後、県内にある二五校を三年がかりで巡回させ、より多くの児童に読んでもらえるようにするそうだ。

思えば、盟友マノ氏らの協力がなければ、過去の事業の成功もなかった。今回の識字率向上の目的になかう事業を含め、心から感謝したい。心に深く残る、タイ訪問であった。

(伊澤勝彦・記)

歴史ある地域の祭りに二人の奨学生が参加

太宰府ロータリークラブ

第二七〇〇地区・福岡県

国の重要無形民俗文化財に指定され、前年に結婚した夫婦を祝う地域の祭り「春日の婿押し」に、当クラブで世話をしているネパール出身の米山奨学生リジャル・キラン君と、アメリカからの青少年交換学生ジェイコブ・ハスキャップ君が参加しました。

一月八日、二人は和服に身を包み、

花婿のあいさつなど厳粛な「宿の行事」を地域の人たちと行い、午後八時、薪を井の字に組み上げた「左義長」が点火されると、気温三度の中、締め込み姿で池に入り、男衆と縁起物の木片を激しく奪い合う「樽せり」を繰り広げ、火照った体からは湯気が立ちのぼりました。

数百年続く祭りの歴史の中で、外国人の参加はおそらく初めてとのこと。地域の人たちにも、すべての行事に参加した奨学生二人の「日本の文化を体で、真剣に体験したい」という気持ちがとても強く伝わったようで、参加に対する感謝の言葉をいただきました。奨学生二人も「とても楽しく、日本でいい思い出になりました」と笑顔で語っていました。

世話クラブとして、地域の皆さんに



縁起物の木片を奪い合う祭りの参加者



フラワーブリッジに照明灯を設置

(富樫寿彦・記)

必要な金額(四〇万円)に届かなかった場合、最後はクラブで賄おうと考えていましたが、最終日の二月二〇日に達成できました。

本当に見ず知らずの人たちからの支援です。温かい応援コメントもいただきます。「田舎育ちなので、暗い道の怖さ、よくわかります。子どもたちや地域の人の安全に役立ちますように」とのコメントをもらった時は本当に報われた気持ちになり、自然に胸が熱くなりました。

達成後は募金の受け取りをやめました。が、いまだに閲覧者数は増えていきます。簡単ではありませんでしたが、公共イメージの向上につながる形で、社会奉仕事業が達成できたことは、本当に良かったと思います。

ミャンマーに貯水槽寄贈

明石西ロータリークラブ
第二六八〇地区・兵庫県

一月二〇〜二四日、岡田州史会長をはじめとする会員五人と会員家族が、クラブの国際奉仕事業の一環として行った貯水槽の贈呈および現地視察のため、ミャンマー・ピンウールイン市立第五中学校を訪れた。二〇〇八年に同校に机と椅子、文具一式を寄贈して以来、二回目の支援となる。

ミャンマー中心部のマンダレー国際空港から車で揺られること約二時間。海拔約一〇〇〇メートルの高地にあるピンウールインは、イギリスの植民地時代には有数の避暑地だったこともあり、英国風の別荘や屋敷が数多く残っている。学校到着後、ミヨミヨ校長先生と教員の三人が迎えてくださり、手厚い歓迎の後、早速、貯水槽を案内していただいた。

現地では電力の供給が不安定で、ポンプでくみ上げた地下水をためておく水槽(縦三メートル、横一・五メートル、深さ一・五メートル)が必要だったことに加え、昨年五月に高校の設立が認められ、二〇〇〇人規模の生徒数に対応する生活用水の確保が喫緊の課題となった。今回の支援で問題解決が図れたと聞き、会員全



元気な子どもたちと出会えたミャンマー訪問

員、感無量であった。

初めてのミャンマー訪問は日本の恵まれた環境で育った者にとって衝撃的であり、生まれた場所の違いで大きく生活環境が異なると肌で感じる事ができた。私たちのできることは、少しでもその国・地域のことを思い、何ができるかを考え、行動に移すことだと思う。特に今回訪れたミャンマーには今後、注視していきたい。

ネパール支援奉仕活動報告

名古屋みなとロータリークラブ
第二七六〇地区・愛知県

鈴木哲会長の熱い思いを受け、クラブ国際奉仕委員会では「現地に出向き、現地で汗をかき、ハンド・トゥー・ハンドの奉仕をする」を目標に掲げ、ネ

パールで奉仕活動を実施しました。活動の内容として教育のレベルアップ支援、学校の補修、防災対策指導を計画し、十一月一八〜二三日、総勢二二人が現地を訪れました。

ネパールのラリトプール・ロータリークラブ(RC)の協力を得て、一日目は三つの小学校を訪問しました。そのうち一校では、二〇一五年の地震で倒壊した教室の修復状況を確認し、パソコンを贈り教育のレベルアップを図り、ほかの二校ではパソコンを贈るとともに、当クラブで作った防災DVDを活用して支援。多くの児童や先生、村人の心からの歓迎を受け、多くの感動を得ました。

二日目の高校では一五〇人以上の生徒が参加し、防災用DVDの上映と防災訓練、パネルディスカッションを実



子どもたちや住民からの歓迎を受けた会員たち

宮城県交通遺児支援の継続

仙台宮城野ロータリークラブ

第二五〇地区・宮城県

二月二〇日に宮城県庁で、当クラブの伊藤英実会長から山田義輝副知事に「宮城県交通遺児等教育手当」を支援するため三〇万円を寄付しました。これは二月一日に開いたクリスマス家族会において、会員からの寄付やゲストの東北楽天ゴールデンイーグルス・銀次選手のチャリティーオークション用の品の売り上げに、クラブの補助を加えたものです。

伊藤会長は「当クラブから交通遺児への支援は今回で三年目を迎える。ぜひ有効に活用し、交通遺児の皆さんに行き届くようにしていただきたい」と



知事の感謝状を受ける伊藤会長（左）

あいさつ。山田副知事からは「現在、宮城県には三七世帯五〇人の交通遺児がいますが、今回の寄付金を生かして支援を行い、宮城県を支える人材に育てていきたい。ご支援ありがとうございます。これからもご協力をお願いします」との言葉をいただきました。

贈呈式には宮城県教育委員会教育長や県議会議員らが出席し、和やかな雰囲気の中で、皆さんからの感謝を受け、村井嘉浩知事からの感謝状をいただきました。

(澤野義章・記)

スマホ・ケータイ

安全教室を開催

北海道2500ロータリーEクラブ

第二五〇地区

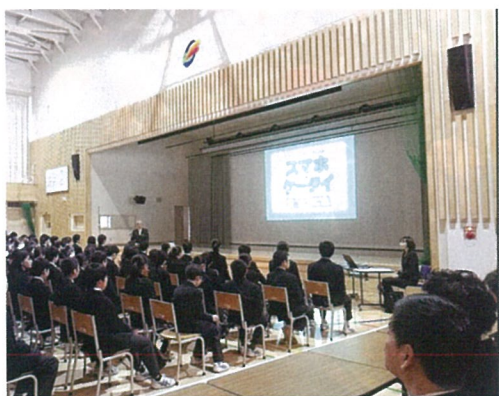
当クラブ青少年奉仕委員会の企画により、二月一九日に旭川市立中央中学校（生徒数三四〇人）で「スマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。

当クラブはインターネット上で例会を開くクラブとして二〇一四年に創立しました。そこで、クラブにちなんだ企画として、インターネットは便利な一方、リスクと隣り合わせであることを中学生に知ってもらい、ルールやマナーについて家庭で話し合うきっかけになればと実施に至りました。

当日はNTTドコモの職員が講師となり、安易にSNS（会員制交流サイト）などを使用したことで実際に起きた事例を基に、インターネット上のいじめや誘い出し、プライベート画像の流出といったトラブルを紹介。スライドや動画を使いながら、わかりやすく解説してもらい、中学生たちは驚いた様子で、リアリティーのある映像を食い入るように見ていました。

その後に行ったアンケートでは、生徒から「スマートフォンは便利な半面、使い方を間違えると危険だと認識した」との声。また、教員からは「映像資料が豊富で、生徒にとって大変わかりやすく、教育効果の高い安全教室でした」との意見が聞かれました。

今後もうこうした安全教室を開催し、安全で安心してスマートフォンや携帯



生徒にも教員にも好評だった安全教室

電話を使えるようになってほしいと考えています。

(湯浅秀昭・記)

クラウドファンディングによる社会奉仕活動達成

中条ロータリークラブ

第二五六〇地区・新潟県

今年度の社会奉仕活動として、胎内市夏井地区の橋（通称・フラワーブリッジ）に照明灯を寄贈する計画を立てました。以前から夜間の防犯面で危険性が指摘されていた場所であり、実行に当たってはウェブ上で企画意図を説明し、不特定の人から資金を募るクラウドファンディングを利用しました。

クラウドファンディングは災害の復興支援や環境保護、社会貢献などに利用されており、今回の事業にも活用できると同時に、終了後もウェブサイトに保存され、事業内容が閲覧される可能性が残ることから、ロータリーの公共イメージと認知度の向上に役立つと考えました。

開始前に審査があり、募集記事を用意するだけでも大変ですが、さらに募金に対するリターン（返礼）も設定し、金銭を取り扱う上での堅実なリスクマネジメントも考慮され、ようやく公開となります。公開日数を四〇日とし、

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

クラブ発の交通安全体操 地元の幼稚園などへ普及を

鯖江ロータリークラブ

第二六五〇地区・福井県

当クラブでは今年度の社会奉仕事業として、楽しく踊りながら交通ルールやマナーが学べる体操「サバーンのおやくそくたいそう」を考案。鯖江市の交通安全教室で、市内の園児らに踊ってもらい、交通安全の啓発に役立てようという普及活動を行っています。

サバーンは、鯖江市が作った交通安全を見守るヒーローです。体操では、このキャラクターに登場してもらい、唱歌「むすんでひらいて」の曲を基に、市内の子ども合唱団などが歌詞や振り付けを考えました。歌詞には「まがりかどではとまって、くるまがこないか、たしかめよう」といった呼び掛けがあり、振り付けとして、曲がり角での左



園児と一緒に交通安全体操

右の安全確認や横断歩道で手を上げて渡る動作、手話などを盛り込んでいます。

一二月から会員が市内の幼稚園と保育園を順次訪れ、三〜五歳児と一緒に踊っています。一月一八日には会員五人が進徳幼稚園を訪問しましたが、子どもたちは元気いっぱいに歌って踊り、交通ルールを守ると約束してくれました。

当クラブは「子どもに事故に遭ってほしくない。何回も歌ったり踊ったりすれば交通ルールを覚えらるる」と思い、この体操を作りました。また、この体操のDVDも制作。三月末までに市内すべての幼稚園と保育園に配布し、普及啓発に取り組みしました。啓発の効果が見られることを期待しています。

(帰山明朗・記)

児童養護施設の 寮生にお年玉！

長岡東ロータリークラブ

第二五六〇地区・新潟県

一月七日、長岡市の児童養護施設・双葉寮に、廣井晃会長、恩田伸一社会奉仕委員長をはじめ会員一〇人で訪れ、お年玉として図書カード、ステキ用の牛肉、飲み物を寄付しました。

双葉寮では養護の必要な子ども、幼児から中高生まで二四人が共同生活しています。贈呈式では、寮生をはじめ職員の出迎えを受け、廣井会長があいさつとして、「クラブにはニコニコボックスという制度があり、会員に楽しいことやうれしいことがあった時などにコメントを添えて寄付します。その気持ちを皆さんにおすそ分けしたい」と思い、訪問しました」と述べました。さらに、寮生たちが元気に楽しく学びながら育ってほしいという会員全員の思いを伝えました。

その後、会員が寮生一人ひとりに寄付の品を手渡しました。寮生の弾ける笑顔とうれしそうな表情は会員の琴線に触れ、深い感動を生み出しました。小学生の寮生からは元気の良い、心のこもったお礼の言葉があり、寮長からは「寮生が楽しく、将来に期待感の持て



クラブからステーキ用の牛肉などを寄付

る機会をいただき、ありがとうございます」という言葉をもらいました。

また、当日の様子は地元ケーブルテレビで紹介され、ロータリーの奉仕活動の情報が地域に発信されました。

後日、寮長からは「お肉や飲み物はその日の夕食にみんなで楽しみ、本当に有意義でした」との報告も受けました。

「若木(子どもたち)は国の宝」です。寮生の満面の笑みや見守る職員を目にしたとき、あらためて地域への地道な奉仕活動の重要性を認め、その喜びを共有できました。

今後は寮生と地域住民との交流を通じた相互理解へと活動を広げたいことを視野に入れ、実施していきたいと思えます。

(岸伸彦・記)

ROTARY AT WORK



通学用自転車購入支援 プロジェクト

〈熊本東南RC〉

2014年から、熊本県内の児童養護施設と母子生活支援施設の中学卒業予定者を対象に、通学用の自転車購入費を支援している。今回は13施設、61人に一人1万5000円を贈った。全会員で手分けして施設を訪問し、直接支援金を渡している。継続事業として今後も実施する予定。
(1月20日〜2月28日 第2720地区 熊本県)

ROTARY AT WORK



会員企業見学会

〈さいたま新都心RC〉

職業奉仕委員会による会員企業見学会を実施。会員19人が、瀧沢努会長が代表を務める「タキザワ漢方薬(かんぽうしやう)」と関連会社「TK製薬」の工場を見学した。食品・薬品だけに虫や細菌の混入を厳重に防ぎ、無菌状態を保って製品化するなど、製造過程や、製品についての説明を受けた。会員は漢方製品を試飲し、なんとなく健康になった気分が帰途に就いた。
(12月7日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

1974年から始まった

〈千厩RC〉

1966年に入会以来、現在も在籍する及川弘明会長が、1974-75年度の社会奉仕委員長時、千厩公民館内の図書館にロータリー文庫を創設。500冊を目標に当時の会員から一人10〜15冊の提供を呼びかけ、実施できない時期もあったが三十数年間、新刊本を贈り続けている。近年は図書館の要望で絵本の充実に取り組み、今年も2月7日に贈呈した。
(第2520地区 岩手県)



ROTARY AT WORK

留学生との交流会

〈柴田RC〉

国際奉仕委員長企画、初の試みとして、仙台大学に留学中の学生との交流会を開いた。中国、韓国、ベトナム、台湾出身の6人の留学生とロータリアン9人が参加。海外から見た東北や柴田町の印象、食文化や習慣、考え方の違いなどを、食事をしながら楽しく語り合った。地元を見直したい機会となった。
(1月31日 第2520地区 宮城県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



地域の剣道大会に協賛

〈柏南RC〉

柏市の光ヶ丘地区青少年健全育成推進協議会主催の剣道大会に協賛。のぼり旗10本と各クラスの優勝者にトロフィーを寄贈している。今年も5〜15歳の青少年約200人が7クラスに分かれ、個人戦トーナメントを争った。恒例行事として出場者も増加。毎年、会長ほか担当委員長が必ず足を運び、開会あいさつやトロフィー授与式に参加している。

(2月11日 第2790地区 千葉県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

留学生懸賞論文コンクール

〈柏崎中央RC〉

毎年実施している柏崎市内の大学の留学生を対象とした「留学生懸賞論文コンクール」の表彰式に、受賞者5人と担当教授を招き、賞金と賞状を授与した。最優秀賞を受賞したモンゴルの学生がそのお礼に民族衣装で踊りを披露してくれ、盛り上がった。表彰式を前に、昨年末には応募学生、大学関係者を招いたクリスマスパーティーで友好を深めた。

(2月7日 第2560地区 新潟県)



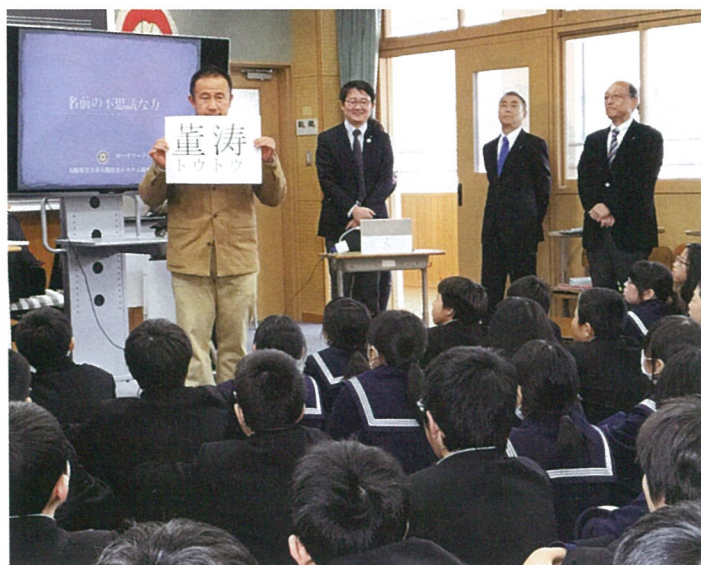
地域の高校に除雪機寄贈

〈福井南RC〉

冬に積雪の多い福井には欠かせない除雪作業に役立ててもらおうと、福井工業大学附属福井高等学校に除雪機を寄贈。校長や生徒の参加を得て、贈呈式を行った。通学路はもちろん、周辺地域の生活道路の確保にも活用してもらう予定で、地域の自治会長も参加し、大変喜ばれた。

(1月17日 第2650地区 福井県)

ROTARY AT WORK



米山奨学生の出前授業で国際感覚を学ぶ

〈有田RC〉

クラブで受け入れている中国出身の米山奨学生・董涛(トウトウ)さんが地域の中学校で出前授業を行った。中国の古典を題材に歴史や風習、日本との関わり、また名前の持つ不思議な力などについて説明した。熱心に耳を傾けた生徒たちにとって、将来に向け国際的な感覚を身につけ、視野を広げる絶好の機会となった。

(1月19日 第2640地区 和歌山県)

ROTARY AT WORK



ROTARY AT WORK



堺かるた大会に協賛

〈堺清陵RC〉

「堺かるた」の会と堺市こども会育成協議会が中心となり、毎年行われる「堺かるた大会」に協賛した。堺かるたを通して堺の歴史や文化、伝統を伝えていく試みで、小学生3人一組で腕を競う。子どもの真剣なまなざしに会員は感動し、堺の歴史を学ぶこともできた。最後に会員手作りの優勝トロフィーを寄贈した。

(2月4日 第2640地区
大阪府)

ROTARY AT WORK



女子高からIAC誕生

〈鹿屋女子高等学校IAC〉

約70人が参加し、鹿屋女子高等学校IAC(地区で29番目、スポンサークラブは鹿屋RC)結成認定状伝達式を開催。校長からはこれまでのボランティア同好会がIACとして認定され、活動が広がる機会を得たことへの謝意、IAC会長からは鹿屋市だけでなく、世界を視野に活動を広げたいとの決意が表明された。被災地支援やポリオ撲滅など、今後の活動が期待される。

(2月3日 第2730地区
鹿児島県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

八代東RC杯 キッズサッカー大会

〈八代東RC〉

NPO法人熊本県キッズサッカー協議会主催・八代東RCの後援で「第7回 八代東RC杯キッズサッカー大会」を開催。幼児から小学3年生までの子どもにサッカーの楽しさを通して友好と親睦の向上を目的に行っている。特に今回はロータリー財団100周年記念として、ポリオ撲滅募金活動も行った。

(1月29日 第2720地区
熊本)



ROTARY AT WORK

ロータリーの森で 下草刈りに汗

〈志木RC〉

会員36人が道具を持ち寄り、管理指導員の説明を受け、慣れない手つきで「ロータリーの森」の下草刈りに汗を流した。この森は10年前、故・西川武重郎Pがクラブ創立35周年の記念に志木市に寄付した土地。市内唯一の有形民俗文化財・田子山富士塚に隣接し、地域の住宅地に残る自然林として、市民の憩いの場となっている。

(2月15日 第2570地区
埼玉県)





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

「国際親善のタベ」で 世界34か国の研修員と交流

神戸須磨ロータリークラブ
第2680地区 兵庫県

2月8日、神戸市の国際協力機構関西国際センター（JICA関西）で、クラブ主催の国際交流事業「国際親善のタベ INTERNATIONAL NIGHT 2017」を開催しました。JICA関西を通じて日本の技術を学びに来た世界34か国、84人の研修員と国境を超えて交流し、大いに盛り上がりしました。

この事業には、次世代を担う若者がさまざまな世界を知ることとなるようにと、滝川中学校・高等学校・ACと神戸女子大学RACの会員、トルコからの米山奨学生とモンゴルからの米山学友にも参加してもらいました。まず、ビュッフェスタイルのパーティーで食事を楽しみ、その後、日本の文化を知ってもらおうと、滝川中学校・高等学校剣道部が剣術を披露し、研修員たちは実際に竹刀を使って打つなどの体験をしました。神戸女子大学RACは「よさこいソーラン」を披露。研修員たちは、初めて見る日本の踊りを動画に収めるなど、興味津々。また、踊りだけでなく法被にも興味を持った様子でした。大縄跳びのコーナーでは、普段は単独で活動している研修員たちが、一致団結して挑戦しました。

1973年ごろから続くこの事業のメインテーマは、「ホスピタリティーを持って、日本に学びに来た研修員に楽しんでもらうこと」ですが、今年はロータリーのポリオ撲滅活動への理解を得ようと、会場に募金箱を設置したところ、さまざまな国の硬貨で募金が集まりました。

この国際交流事業に参加したことで、今後母国に帰った研修員たちが、次は大切な人とともに日本を再訪するきっかけになればと願います。

（中右剛彰・記）

諦めて放り出されしままの独楽

兵庫・神戸西 村野 利昭

音もなく燃ゆる一山冬紅葉

兵庫・神戸東 高石 昇

玄関の開くを待ちて枯葉入る

埼玉・川口中央 谷野日出人

横一列向ひの席のマスクかな

埼玉・川口中央 細井善次郎

暗れ渡る光の中の余寒かな

東京羽田 舩山 博之

君来ると聞けば春立つ心地して

岐阜西 眞鍋倭文子

初春や夢を見ぬほど深酒し

富山・黒部 長谷川博久

ひとり旅北陸道に雪が舞ふ

富山・黒部 高野 早苗

糖尿め一汁一菜冬長し

奈良 寺田 康宏

日本酒は辛口に限る木の芽和

大阪北 三宅 侃

ちと粋に火鉢酒など小正月

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

梅の香やみくじの高く結ばれて

徳島・阿波池田 山下 玲子

大寒や石狩鍋の湯気高し

埼玉・日高 清水佳代子

雲写すショウインドウ春浅し

愛知・名古屋錦 吉田 滋代

初売や椅子持込んで並ぶ列

千葉・野田 佐野 浩平

塀入りマガンの群れのシルエツト
大きな鳴き声次々と飛来

宮城・古川東 高橋 義宣

園児らはころびころがす雪だるま
目鼻もつけて歓声あがる

長野・佐久コスモス 中澤 道保

諸々のおもいめぐると稀勢の里
初優勝の目を拭いたり

茨城・友部 矢吹 和夫

藁床に朝のひかり寒卵
綱めば温くし母鶏駆ける

埼玉・大宮西 川鍋 一夫

君が代を歌わず育った世代でも
オリンピックには喜び歌う

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

老いたりと思いたくなくれどありがたし
席を譲りてくれし人あり

千葉・富里 寒郡 政雄

老い二人イチゴパフエに若やぎて
立春大吉手をととり歩む

東京荒川 井上 久子

コンサイスの赤いカパーはチョコの紙
ハートのシールに妻の名いままも

岐阜加納 鶴飼 武彦

生垣の山茶花眞赤に咲き初むる
あちらに三つこちらに二つ

岐阜長良川 井戸 豊彦

寒の朝駅前の鳩丸丸と
羽ふくらませ身を寄せ合へり

香川・高松 平峯 千春

光りつゝしぐれが走る陽の中を
狐の嫁入り始まるごとし

島根・出雲南 小村 尚子

雪舞ふ日ようやく着いた古民家で
初めて味わう真赤ななつめ茶

長崎出島 伊東 浩子

野地蔵へ春を告げてる風車

青森・五所川原中央 小野 順藏

頼もしい仲間もいる天下り

群馬・伊勢崎 秋山 春海

形式がときおり仲間遠ざける

大阪東淀ちややまち 小坂 克彦

不便さを残してこそ世の秩序

千葉・市川 照井 親資

是々非々を茶の間のテレビに決められる

埼玉・入間南 出川 敏雄

短命の虫にも苦勞あるのかな

愛知・新城 鳥居 栄一

百科事典十回くらいは引いたかな

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

ライバルが同じ服を着て横に来る

兵庫・神戸中 吉井 邦弘

ほのぼのと優しさにじむアナログ派

大阪・豊中 関谷 洋子

まだ少し在庫あります恋心

高知西 山岡 陸宏

頑張るぞ神に召されるその日まで

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

万歳を三回唱えて疑問わき

大分・中津 古田 聖二

インフルで妻に避けられ別居中

富山・黒部 西岡 義晴

感情の噴きこぼれるを杯が受け

福岡伊フニンク 乙木 新平

アポ要らず笑顔で会える例会日

埼玉・川越 小川 正夫

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權 

豆拾ふ古き畳を嘆きつつ

千葉・野田 高梨昇一郎

節分の豆まきの句。散らばった豆を拾い集めて
いると、古びた我が家の畳がますます目に入る。
「嘆きつつ」とは打って出た表現。大きな句になっ
た。

冬満月山のすべての家眠る

埼玉・日高 引馬 禿牛

この句も「すべて」が打って出た表現。冬の満
月に煌々（こうこう）と照らされて、家という家
がいま眠りに落ちていく。澄みきった森閑たるし
ずけさを湛えている。

すぐそこは青き空なり風花す

兵庫・神戸西 土居 丈治

青空に舞う雪片。それが風花だが、眺めている
うちに、背景の青空に目が行った。こんな近くに
空があったのかという、かすかな驚き。それが一
句になった。

立春の窓開け書斎片付くる

大阪うつほ 齊藤 隆二

片づいている書斎など、使っていない見栄書
斎である。書斎は散らかっているべきもの。そん
な書斎を春の声を聞いて片づけてみようと思ひ立
つ。人の心にも春は立つのだ。

トランプにどこか似てゐる福は内

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

たしかにそうだ。移民を締め出し、保護主義を
唱える。日本はもともと移民をほとんど受け入れ
ていないから非難の資格はないが、非難の合唱。
「鬼は外、福は内」と唱えながら。



馬場あき子 

しばらくは通ひなされとループルに
亡き妻われを置いてゆきしか

千葉・市川 照井 親資

フランスを旅行中、ループルで奥様を亡くされ
たのであろうか。他の二首にハンガリーのブダペ
スト空港での思い出や、イタリアのスポレート公
園で妻とスケッチを競った回想などもある。ここ
にあげた歌はそうした亡妻との旅を思いながら満
洒（しやしや）に洒脱（しやだつ）に第二句ま
でをうたっている。それがかえって、三句以下の
現実を心に沁（し）みるものになっている。ループ
ルに偲（しの）び旅をされての歌のように読める。
置き去りの地に美の殿堂があることもはなやかに
寂しい。「しばらくは通ひなされ」が生きている
理由である。

お化粧は面倒くさし中年は
風邪でなくてもマスクをつける

埼玉・所沢西 大原 律子

ちよつと大胆にうたつてみた中年女性の現実。
思い切った調子を出すために「面倒くさし」の文
語と「風邪でなくても」の口語を併用してラフな
感じに仕立てている。中年となればむしろ若い時
に比べて、お化粧の季節だ。普通の化粧品から次
第に高級志向になるところだが、人目なければ本
音は「面倒」というところか。そこでちよつとの
外出時の大きなマスクということになる。

青森の駅のベンチに荷を下ろし
ぼたん雪降る空を仰げり

青森・二戸 田家祐布子



てじま晩秋 

そして今年も桜はさくら色通す

大阪西 鴨谷瑠美子

東風に吹かれて梅が咲き誇るころになると
「待つてました」と開き出す桜花……真白にピン
クに春爛漫（らんまん）の歌祭が始まります。「日
本」に生まれた幸せを強く感じる季節です。

一筋の涙に映る回り道

香川・高松 大平 昇

稀勢の里が今年の初場所に待望の初優勝を成し
遂げました。土俵際のNHKのインタビュウ中、
光る一筋の涙がすべてを語ってありました。超久
方ぶりの日本人横綱、お見事です。

遠吠えに一喜一憂ひつじ飼ひ

北海道・斜里 辻 舒宏

ワンマン経営者の発する言葉は従業員を混乱さ
せ、一国の指導者が独善的だと国民や関係諸国
がその言動に一喜一憂させられてしまします。そ
んなわけもあり、注目の米国です。

コンビニの短き箸の引け目です

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

ある時からコンビニ店がおでんを売り始めまし
た。これが好評で追うようにラーメン、そば類も。
近ごろはおにぎりを片手に野菜の天麩羅（てんぷ
ら）で舌鼓（したつづみ）の若い人が。僕もやっ
てみたいです。

上質のギャグに仕立ててみる人生

新潟 小林 悟

ジェネリック医薬品

(医尚寿会 理事長 寶積 英彦)

平成二七(二〇一五)年度の医療費は約四〇兆円で、その中で調剤費の占める割合は二割の約八兆円です。年々増加する医療費の削減のため、ジェネリック医薬品の使用が推奨されています。

医薬品には医療用医薬品と一般用医薬品があります。医療用医薬品は医師に書いてもらった処方箋を提示して薬局から受け取る薬で、一般用医薬品は薬局で買える薬です。医療用医薬品は先発品と後発品(ジェネリック)に分かれます。ジェネリックとは本来、「一般的な」、「ブランドにとらわれない」という意味です。日本では新薬の認可が下りるまでに時間がかかり、たくさんのお金をかけて一生懸命開発して二〇年の特許を取っても、世に出てくるには一〇〜一五年かかります。特許が切れると他でも同じ成分の薬を作ることが可能になるため、その後発品をジェネリックと言います。一つの新薬の開発には一〇〜一五年、二五〇億〜八〇〇億円かかると言われています。しかし、これがジェネリックになった場合、現実的には新薬と同じ成分を使

い、開発費は含まれないため一〇〇〇万〜五〇〇〇万円と新薬に比べてかなり安価で作ることができ、医療費の削減になります。

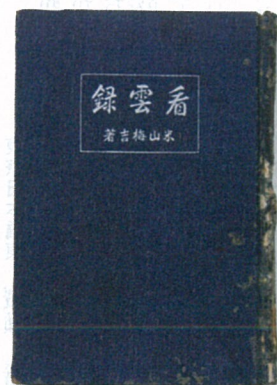
新薬とジェネリックの有効成分は全く同じものが入っています。ただし、別のメーカーが作るため、保存剤や味付けなど添加物が少し違います。しかし、添加物に関しては国で定められたものしか使えないため、安価なものや危険な添加物は一切使用されないということを覚えておいてください。安全性が確認された添加物だけが使用されているということです。

ジェネリックには、期待された有効性を本当に発揮できる薬剤かどうか検証するために生物学的に同等であるかどうかの試験が行われることになっていて、ジェネリックの働きが新薬と同等であるときちゃんと立証された上で販売されて私たちの手元に届きます。ただし、大きさが違うため飲みにくいとか、口に入れた時の感覚が違って溶けにくいといったこともあります。ジェネリックに対する不安は、「安い」「薬の名前が変わった」というような負の心理的效果からくるものです。ジェネリックの安全性に問題はありません。

(第二五七〇地区・埼玉県・狭山中央RCにて・同RC会員)

る」と評しています。

「戦乱の国支那」で中国の古今を論じ、その民族性を語って、日本の立場を説き、米山が強く心引かれていた北米建国の「偉人ハミルトン」と吉田松陰にページを割いています。「国士本多庸一先生」「明治初期の海外留学生と男爵團琢磨」の人物論などで人となりを述べるとともに、志ある者に奮起を促しています。「戦争と宣伝」では、殺し合いの戦争を嘆き、有利な世論形成のために虚偽を並べたてる宣伝を笑っています。「戦後の諸問題の中に就きて」では、社会事業が最も重要となると結んでいます。



『看雲録』表紙

公益財団法人
米山梅吉記念館

[開館時間] 午前10時〜午後4時
[休館日] 月曜日

12月28日〜1月4日
整理のための休館日
(5月、8月の特定日)

〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1
TEL 055-986-2946
FAX 055-989-5101
Email yumh@ai.tnc.ne.jp



卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

CNFについて

山一木材有 代表取締役 松代 繁吉

CNF（セルロースナファイバー）が今注目されています。CNFはセルロースをナノレベルまで分解することのできる極細繊維です。

セルロースは植物の細胞壁や繊維の主成分の一つで、高さ一〇〇以上の樹木を支えたり、屋久杉のように何千年も生き続けたら、法隆寺の建築材のように一〇〇〇年以上たっても強度を保つことができたりする素材です。CNFは、太陽の光と水、二酸化炭素があれば再生産が可能です。竹でも草本類でも海藻からでも取り出せ、尽きることのない資源でもあります。世界には

一兆トのセルロースの蓄積があると言われ、生産・廃棄に関して環境への負荷が小さいことが特徴です。

また、鉄に比べて五倍の強さがあり、比重は五分の一と軽量で、弾性率は高強度繊維で知られるアラミド繊維並みに高く、温度変化に伴う伸縮性はガラス並みに良好で、酸素などの気体を透過しにくいガスバリア性が高いなど優れた特性と高度な機能を有します。

製造コストは、現在は一キロ当たり数千～一万円ですが、量産効果で二〇二〇年ごろには一〇〇〇円程度にまで下がるとの予測もあり、潜在的には五〇〇円以下に抑えられると言われています。

CNFの普及は森林資源の有効利用、過疎化の防止に道を開くことになるかと期待されています。二〇三〇年にはCNFの関連市場が一兆円にも達すると予測されることや、環境負荷が小さいことなどからも夢の素材、次世代素材と言われ、期待されています。人口減による住宅着工数減少や他の要素で木材需要が低下する中、CNFの普及は、原料のチップの増産など住宅以外の木材需要の増大につながるのではないのでしょうか。

（第六七〇地区・愛媛県・八幡浜RCCにて・同RCC会員）

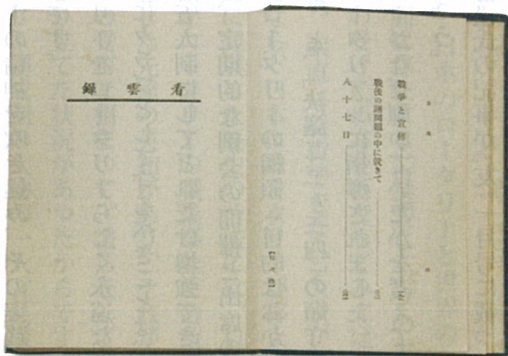
米山梅吉没後七〇年シリーズ

米山梅吉の二冊

看雲録

昭和十三年九月発行
二八八ページ、定価二円五〇銭

米山梅吉は昭和一三（一九三八）年、この本を上梓しました。この年の三月には国家総動員法が成立し、翌年にはノモンハン事件が起きた時節柄、この雲を看るといふ標題は誠に意味深長なものがあります。しかし米山は言います。「本書題して『看雲録』としたのは、天下風雲の去来を眺めつつ此原稿を調べたというのにすぎない」と。「米山梅吉伝」の評者は「うっかり物も言えない時に、これだけの著書は容易ではない。国を憂え、世を思う一念の現われであ



『看雲録』

幾度となく「ロータリーは人間一般の行為を律する道徳ではないのであります」と述べ、職業奉仕こそがロータリーの根本であると喝破しています。

いまや職業奉仕は、日本のロータリーのDNAとしてその高い評価が定着している現実はいかんともし得ません。ただし多くのロータリアンは、日本の理解が正しく世界のそれが間違っているとは思っていないのではないのでしょうか。基本に悖らない限り、国によって強弱が存在することを認め、どちらが上でどちらが下といった思考を良しとしない寛容さを、私たちは先輩から教えられてきたと思います。

私もロータリーの根幹は「奉仕の理念」にあると信じる一人ですが、五大奉仕を等位概念で考え、かつ実践しないと、日本のロータリーは孤立し、ガラパゴス化するとの本田氏の見解にも疑念を禁じ得ません。世界の大勢をそれはそれとして否定する必要は全くなく、シニアリーダーの一人であった故・佐藤千壽氏が説かれたように、五大奉仕を並列した部門とするのではなく、職業奉仕が中心にあり、そこから四部門の奉仕の輪が広がり、それらを結んだ輪の上に関連した諸活動が広がって回転しているとの見解があってもおかしくありません。国によるそうした差異を、それぞれの国別のロータリーの個性として共に容認する懐の深さを、ロータリー一〇年の歴史が培ってきたものと、私は信じています。

国際ロータリーが示した方針と傾向が世界の大勢だから右へ倣えでは、潤いとロマンを欠いた味気ないロータリーになってしまうのではな

いかと不安です。このような発想を持つ老いたロータリアンは、まさにガラパゴスロータリアンとして消え去るべきなのでしょうか。

(第二七二〇地区 広島県 木造建物販売)

「職業奉仕」は

ロータリーの根幹です

宇治 内良 益雄

ロータリーでは、自己の職業（人生）に「奉仕の理想」という考え方を導入する方法を研究することが基本です。

「ロータリーの目的」に、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し……」とありますが、意義ある事業とはロータリーが行う事業ではなく、ロータリアン各自の事業、すなわち、職業を示しています。それは第三項目にはつきりと、「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること」と明記されていることからもうかがえます。

国際ロータリーがポリオ撲滅活動を推進し始めたところから、ロータリーの方向がおかしくなったように思います。さらに、職業奉仕に「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えること」という文言が追加されたため、職業奉仕自体が訳のわからないものになってしまいました。

ロータリークラブは、あくまでクラブであって、奉仕を専門にする団体ではなく、各会員に

ロータリーの精神を吹き込み、その実践を奨励するだけです。

ロータリーをロータリーらしく永遠なものにするためにクラブとして守るべきことは、一業種一人制（五人制にしてどれだけ増強できましたか？）と、定期的な例会の開催と出席の強制、そして、ロータリーの綱領（目的はおかしいと思います）と、「決議二三―三四」の順守であると先輩ロータリアンに指導されました。過去のロータリーがなぜ輝いていたかを考えてみてはどうでしょう。

本田博己氏の記事が『友』一月号に載っていましたので、私見を述べました。皆さまはどうお考えですか？

(第二六五〇地区 京都府 機械技術)



わがまちの味

奥州市

奥州はつと

プロ野球の大谷翔平選手の出身地・奥州市がPRに力を入れる郷土料理。小麦粉を練ったすいとんで、「はつと」「ひつつみ」とも言います。具材豊富な汁物のほか、ずんだ、カレーなどに絡めたりわさび醤油に付ける刺身を供する店もあります。

千田 弥生（岩手県・水沢RC）

のは、われわれが生活していく上で絶えず直面していることです。誰しも、多かれ少なかれ理想と現実のはざまに生きていたと思えます。

理想が高すぎると、空想、あるいは妄想となつて社会には受け入れられにくくなりますが、現実ばかりの人生も味気ない。それだからこそ、奉仕の理想を求めるロータリーがあるのかもしれない。

さて、最近の国際政治の状況を振り返りますと、理想主義より現実主義の力が台頭してきているように思います。典型はアメリカ合衆国。理想と現実を強く意識させる国でしたが、ロータリーはそのアメリカで生まれました。そして、ロータリーは、現実主義ではなく、その理想主義において世界に拡大したように思います。

時代に流されることなく、理想を掲げたロータリー活動が続けていきたいものと、志を新たにしているところです。

(第二六四〇地区 大阪府 内科医)

多様性の中で 守るべきもの

千里 井上 暎夫

今から一五年前、私がガバナードだった時(二〇〇二―〇三年度)、公式訪問で「これらのクラブはどのクラブも金太郎飴^{あめ}のようでは駄目だ」と説いて回りました。かつて、クラブの奉仕は四大奉仕を満遍なく行うことが推奨されていたのですが、当時の国際ロータリー(R

I) 会長ビチャイ・ラタクル氏の「ロータリーはクラブが主体」という主張と、「決議二三―三四」の奉仕の自主性を根拠に、クラブの特色を出さなければ将来はない、と思つたからです。これも「Making a Difference」でしょう。

わが地区は大阪市を含む大阪北部の狭い地域に八六クラブ(当時)がひしめき合う中、会員数減少のトレンドのもとで、中規模、小規模のクラブほど会員数が減少した現実があり、歴史があり、会員数の多いクラブに押され、埋没するのはと危惧したからです。

地区としてはクラブの所在地域をなくし、クラブを創立して会員数を増やすなど、方法はいろいろありますが、多様性や合併で活路を見いだしたいと思つていました。

その後、ロータリーコーディネーターに指名され、シカゴで三度研修を受けました。多様性についての議論の中で、世界では会員の多様性のことを指していると知りましたが、日本の特性を考え、クラブの多様性になりたいと主張したところ、彼らはよく理解してくれました。

昨年の規定審議会での規定改訂で、クラブの多様性が現実となつてきたことを痛感しております。カルロ・ラビッツァ元RI会長(一九九九―二〇〇〇年度)が、クラブを信用し、多くのことをクラブに任せた方がよい、と語つたことを思い出します。

クラブの主体性はこれからますます進化するものと思います。会員増強の路線の中では、入会を希望する人々がクラブを選ぶ時代になるでしょう。そこで、おのこのクラブが生き残る作戦や戦略を持たねばなりません。さて、そう

なるとクラブは何が大切でしょうか。ロータリーのアイデンティティを守ることに尽きると考えます。職業奉仕、職業分類の原則を失えば、この団体は数ある奉仕団体の中に埋没すると語つたビル・ハントレー元RI会長(一九九四―九五年度)の言葉をいま一度肝に銘じ、このことを守りながらクラブは自主性を享受しなければならぬと強く感じております。

(第二六六〇地区 大阪府 税理士)

「職業奉仕はロータリーの根幹か？」に思う

呉 大之木精二

『ロータリーの友』一月号掲載の『職業奉仕』はロータリーの根幹か?』を楽しく拝読しました。筆者の本田博己氏は日本のロータリー一〇〇周年委員会ビジョン策定特別委員長とのこと。その洞察力と明快な理論展開にさすがと感服しました。

しかし、日本のロータリーと世界のロータリーとの間に存在する、意識ギャップの主因「職業奉仕」の受け止め方を再考してみても、どの提言には、素直に首肯できないものがあります。なぜなら、日本にロータリーが移入されてから急速に発展した歴史の背後には、日本古来の職業観がロータリーの職業奉仕と合致することと共感した先達の英知があり、それが「奉仕の理念」の受容と相まって、彼らをしてロータリーに駆り立てた状況があったからです。日本のロータリー創成期の人物の一人、井坂孝氏は、

昨年の規定審議会で、出席に関する規定も変わり、七八歳の年齢を考えると出席免除規定も十分適用されるので、今後はその恩恵にあずかるつもりだとのこと。しかし、さらなる金字塔を目指して、元気に出席を積み重ねていただきたいと念じている。

(第二六五〇地区 奈良県 大学《教育・研究》)

宮崎RC「メタボリクス」 かく戦えり

宮崎 寺坂 文博

宮崎ロータリークラブ(RC)の野球チーム「メタボリクス」は、細川義明監督以下一五人の選手と佐藤嘉信会長以下五人の応援団とともに、一二月三日に福岡県久留米市で開催された「第四回九州ロータリークラブ野球大会」に参加しました。

今回は、久留米北RC、福岡北RC、小倉中央RC、八幡西RC、諫早北RC、八代RC、宮崎西RC、それにわが宮崎RCの八チームが参戦し、和気あいあいの中にも激闘を演じました。

大会前日、宮崎から久留米市に向かう途中で柳川に立ち寄り、名物の「水郷川下り」で若い船頭さんの軽妙なトークや上手な歌を楽しんだ後、もう一つの名物である、うなぎに舌鼓。その夜行われた前夜祭は、参加各チームとの野球談議で大いに盛り上がりました。

そして大会当日、第一試合の対戦相手は、諫早北RC。このチームは強豪で、いつも通り

試合はわれわれの劣勢で進みました。しかし、メタボリクスは後半勝負。今や「ドーハの悲劇」と並び称される「八代の悲劇(七年前、八代市で開催された甲子園RC野球大会南九州予選での対八代RC戦での敗退)」を知る男、私寺坂文博選手のタイムリーヒットにより同点! 続く松崎裕介選手のタイムリーヒットで逆転! さらに角聡選手のヒットで追加点を取りました。

その後、松崎投手から継投した鈴木政宏投手の好投もあり、試合は接戦でもつれましたが、終盤に松崎選手と吉田晋弥選手の痛恨の送球エラーにより、勝ち越しを許してしまいました。最終回に粘りの追い上げを見せましたが一歩及ばず、残念ながら六対七で競り負けました。

なお、この試合で岩切紀幸選手が七年間で初となるヒットを打ちましたが、その後の守備でチョンボをしてしまい、約束していた野球部からの卒業は延期となりました。



甲子園RC野球大会に向けて、がんばります

第二試合は、福岡北RCとの一戦です。この試合は相手投手のスローボールに苦しみましたが、投打で圧倒し、一一対二で勝ちました! この試合では、仕事も野球も鉄が大好きという河東太浩投手が投球で鉄腕ぶりを発揮し、六回を見事完投勝利で飾りました。

試合終了後は久留米の温泉にゆっくり浸かり、疲れを癒やして帰路に就きました。メタボリクスは、来年の甲子園RC野球大会に向けて、これからも頑張つてまいります。

(第二七三〇地区 宮崎県 水産業経営)

理想

泉佐野 貴志 豊

「理想」という言葉は、明治時代に西洋の「Idea」という哲学概念が日本に入ってきた時につくられた訳語だそうです。つまり、もともと日本にはなかった言葉です。

それでは「Idea」とはなんぞやと言うと、これは大変難しい話で、私にもよくわかりません。それでもロータリーソングの「奉仕の理想」なんて言う、何となくわかったような気になります。理想という言葉がもともとの語源からずれて、「現実」に相対する概念で日本に定着してきたからだと思います。「理想」と「現実」という対立概念は、「義理」と「人情」のように日本人には受け入れやすい考え方だったのかもしれない。

「理想はあっても、現実がねえ……」という



あっという間に人気者になった宋さん(右から2番目)

美諸島での研究を続けて、奄美の皆さんに関わりの深い奨学生ということであいさつに伺いました。

合同例会後の懇親会で、隈元保文奄美分区分ガバナ補佐のあいさつの後に時間をいただきました。宋さんの最初の一言「うがみんしょーらん」(奄美地方の方言で「こんにちは」)で会場の雰囲気が一気に和みました。

出身地の全州市のこと、鹿児島にきた経緯、半年にわたる奄美でのインターンシップを含めた大学での研究内容、そして昨年四月から米山奨学生になったことを話しました。また、一般の留学生は大学という囲まれた社会で生きていくところ、ロータリーのおかげでさらに学ぶ世界が広がったことを感謝し、卒業後も日本に残り、奄美の研究を続けていきたいと述べ、スピーチを終えました。

外国人とは思えない流暢な日本語のあいさつはとても好評で、多くの人からお褒めの言

葉をいただきました。

乾杯後もいろいろな人との交流を深めることができ、とても意義ある訪問になったと思います。懇親会終了後、横浜東ロータリークラブから参加していた今井宏美会員とともに隈元ガバナ補佐、恵原龍三郎次期ガバナ補佐らに深夜まで歓待していただき、奄美の夜を満喫しました。

米山記念奨学会への理解はもちろんですが、国家間のいざこざもある中、日本のことを本気で学んでいる宋さんを見て、私がそうであったように、一番近い隣国である韓国への感情がずいぶん変わったのではないかと思います。初めて奄美を訪れた私にとっても、素晴らしい風景とともに最高の思い出となりました。

最後になりますが、このような機会を与えていただいた奄美中央、奄美、奄美瀬戸内の各クラブ会長をはじめ、奄美の会員、事務局の皆さんに心から感謝します。

(第二七三〇地区 鹿児島県 飲食業)

ホームクラブ例会連続 一〇〇〇〇回出席達成

奈良西 植野 洋志

『ロータリーの友』二〇一六年一月号の「友愛の広場」に、福岡平成ロータリークラブ(RC)の灘谷和徳会員がホーム例会一〇〇〇回皆勤達成をされた記事が掲載されていた。実はわがクラブにはすでに一〇〇〇回を優に達成した超人がおり、クラブの怠慢で公にはしていなかった。

まして地区大会において特別表彰をされることもなく、大変申し訳なく思っている。遅ればせながら二月二三日の例会で、この大記録のお祝いをすることにした。

松川信夫会員は、一九九一年二月に奈良西RCに入会。一九九二年度に幹事、二〇〇五―〇六年度に会長を務め、その間、一九九四年七月から現在まで二三年間連続ホームクラブ出席(二〇五〇回)を成し遂げたのである。入会から一九九四年以前の記録が残っておらず、出席回数数の正確な数値が不明なのは残念である。

松川会員は、入会した時、紹介者から「例会にはきちんと出席しなさい」との指導を受け、その当時は出席規定が厳しいこともあり、例会を休まないように心掛けたそう。例会日に仕事と重なっても例会を優先し、当時ホームクラブ連続出席一〇年以上の会員がいられたこともあり、その会員に負けないように頑張り、ついには、その会員の年数を追い越したとのこと。長い年月の間には旅行日と例会日が重なる日も多々あったが、旅行をキャンセルして例会を優先したり、入院も二回あったが、医者の許可をもらって病院から例会に出席したとのこと。皆出席のためには、通常の例会はもとより移動例会への参加もあり、努力がいる。松川会員にとっては、その努力以上にロータリークラブには異業種の会員が集まり、会員同士は平等で、いろいろな人と気楽に話し合いができ、良い交友関係が築けたことが良かったとのこと。さらに、毎回の卓話を聞く楽しさもあり、それも長続きの秘訣だそう。

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

愛蘭土遊学記

上田東 村居 正雄

昨年九月一六日〜一〇月三日、アイルランド東南部のウエックスフォードという人口二万人の小さな港町にホームステイして、同国の歴史・文化に触れてきた。名目は、シニアのための英会話研修であるが、英文法やヒアリング、発音などを学ぶのではなく、各学生はそれぞれ目的を持って参加していた。ケルト語を学びたい人は、教師と相談してケルト語を話せる人を紹介してもらい、習得する。アイルランド音楽に興味のある人は、演奏家が集まるパブを紹介してもらって生の音楽に浸り、演奏に参加する。私のようにアイルランドの歴史・文化を学びたい人は、希望の場所をリストアップして、鉄道やバスでその地を訪ね、経験したことを後日皆の前でスピーチする。自国の文化や料理を披露する時間もある。七四歳の私にとっては、わずか二週間ではあったが充実した挑戦となった。今回の訪問で最も印象に残ったのは、イギリスとの複雑な関係である。一六四〇年代、イングランドで国王を処刑して共和国をつくったオリバー・クロムウェルが、アイルランドへ侵略。反抗するカトリック教徒は弾圧、虐殺され、アイルランド人には選挙権も与えられず、植民地として徹底的に搾取された。一八世紀末のアメリカの独立に刺激されて、アイルランドでも独立運動が起こったが、あえなく鎮圧される。一八四五年に発生したジャガイモの疫病による大飢饉の際も援助は不十分で、一〇〇万人が死亡、一二〇万人が海外に移住したと言われている。その後第一次世界大戦後の独立戦争を経て、一九二二年、ようやく自治領アイルランド自由国（イギリス連邦の一国）となり、一九四九年アイルランド共和国としてイギリス連邦から脱



アイルランド独特のハイクロスと古代住居の前で

前ですピーチする。自国の文化や料理を披露する時間もある。七四歳の私にとっては、わずか二週間ではあったが充実した挑戦となった。今回の訪問で最も印象に残ったのは、イギリスとの複雑な関係である。一六四〇年代、イングランドで国王を処刑して共和国をつくったオリバー・クロムウェルが、アイルランドへ侵略。反抗するカトリック教徒は弾圧、虐殺され、アイルランド人には選挙権も与えられず、植民地として徹底的に搾取された。一八世紀末のアメリカの独立に刺激されて、アイルランドでも独立運動が起こったが、あえなく鎮圧される。一八四五年に発生したジャガイモの疫病による大飢饉の際も援助は不十分で、一〇〇万人が死亡、一二〇万人が海外に移住したと言われている。その後第一次世界大戦後の独立戦争を経て、一九二二年、ようやく自治領アイルランド自由国（イギリス連邦の一国）となり、一九四九年アイルランド共和国としてイギリス連邦から脱

奄美分区分新春三クラブ合同例会訪問記

鹿児島西 小山 光義

一月一〇日、私がカウンセラーを務めている米山奨学生の宋多情さんとともに、当地区奄美分区分の新春合同例会に出席してきました。奄美分区分の皆さんからは、これまで米山奨学生と深く交流する機会がなかったにもかかわらず多額の寄付をいただいております、感謝の気持ちを伝え、奨学生の活動を報告するのが目的でした。

宋さんは韓国出身の女性で、鹿児島大学大学院後期博士課程二年（当時）です。二〇一四年一〇月から半年間、奄美市「知の地域おこし連携事業」インターンとして働き、その後も奄

退、ようやく真の独立を勝ち取った。
北アイルランドはイギリスがプロテスタントを移住させた地域で、現在でもイギリスに帰属している。一九七二年にカトリック教徒の間で起こった「血の日曜日事件」は記憶に新しい。アイルランド人がイギリス人を好きになれないのは、このような長い歴史的な経緯と、宗教というデリケートな問題がある。中東のイスラム教の対立にも通じる、一神教世界の永遠の課題でもある。
なお、渡航前にウエックスフォード・ロータリークラブに連絡を取り、卓話の時間をいただいて、日本の文化やわがクラブの活動を紹介した。これも私の研修の一環であった。

（第二六〇〇地区 長野県 国際協力NGO）



高知ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF KOCHI



長から、

「高知で酒を飲むとき、最近は焼酎のお湯割りに決めています。杯を持ってきたら私は焼酎を飲んでいまずからと逃げられるので。山本さんも氣をつけたほうがいいですよ」

とアドバイスを受けていた。焼酎を飲んで逃げようとしたら若手会員が、

「高知の日本酒はうまいきに、ちくつと」

断りきれなかった。少し飲み過ぎたが、これまた楽し。香川のうどん県をもじったのか、酒県高知と書いてあった。本当だ。

クラブには親子二代会員も多い。元会長の西山俊彦さんは四代会員の三代目だというので翌日、自宅を訪ねた。祖父亀七さんは戦前、クラブ発足



西山彰一さん



西山俊彦さん

時に会員に。戦中は活動は休止、戦後になって父親利平さんが入会。俊彦さんは今年で在籍五十二年という最古参。四代目の息子彰一さんも会長経験者である。俊彦さんはいう。「四代は全国でも珍しいじやうう。私はいまでも例会に毎回出席しちゅう。みんなと話すとか防止にもなるき」

伊丹さんのおかげで効率よく過密スケジュールをこなすことができた。あとは帰りの空港に向かって取材終了だと思ったら、

「全国で初めて商品化に成功したヤギミルクの牧場が空港のそば。見に行きませんか」

「あの、乳製品アレルギーですからミルク苦手なんですけど」

「ヤギミルクは乳製品アレルギーでも大丈夫な方があります。自作コシヒカリ食べるヤギさんですもん」ハチキンにはかきません。田んぼの中の川添牧場に行くと、子ヤギが走り回る。ヤギ舎には数時間前に生まれた小さな双子の子ヤギもいた。かわいらしいのなんの。二月から約一か月の間に四〇匹生まれたと

いう。川添建太郎さんは言う。

「最初は自宅で飲むために二匹飼っていたのですが、どんどん増えて今は一〇〇匹はゆうに超えています。昨年からは、ひまわり乳業さんに小ロットで

除菌処理し商品化してもらっています。値段は牛乳の数倍もするのに予想以上に評判がいい。これなら日本一のヤギ牧場になるのも夢ではないと思っています」

伊丹さん曰く「飼主は動物に似るんですよ。川添さん、ヤギさんそっくりでしょ。当クラブ会員のひまわり乳業社長はウシさんそっくり。二人の顔を思い浮かべた。言い得て妙、とはこのことだ。車の中で爆笑した。



路面電車の撮影にみる鉄道ファンも多い

山本朋史（やまもと・ともふみ）
元週刊朝日記者
工藤隆太郎（くどう・りゅうたろう）
フリーの写真家



(上) 桂浜。(下右) 桂浜の坂本龍馬像。
(下左) 若宮八幡宮の長宗我部元親像

「長宗我部祭り」のときに元親像を年に一回洗うがやけど、手伝いたいという若い女性がどっさり。抽選で三人に手伝うてもらったのがやけど、元親像を洗った女性に『像に触った手を握らせて』と言って騒ぐ。びっくりするぜよ」

城の天守閣に登った。十数年ぶりだ。階段で頂上まで上がったがぼくは高所恐怖症で足がすくんだ。ほんの数分で降りた。好天に恵まれた。高知は暖かく一七度。城の梅も散り始めもう春だ。

昼前に青少年奉仕委員長の武樋泰臣さんと合流した。高知パレスホテルでビュッフェ方式の食事。ここの売りは高知の野菜。四十万十市で取れたほうれん草や作った生産者の名前が書かれた大根、青菜など三〇種類以上が並ぶ。会員でもある吉村貴志社長のこだわりだという。漬物は吉村さん自ら漬けたそうだ。高知といえどカツオのたたきや皿鉢料理が有名だが新鮮



女性会員集合！

な野菜も自慢の一つだ。武樋さんの運転で高知市立長浜小学校へ。四階屋上に「長浜小」と大書されている。災害が起きた場合にヘリの目印になる。市内で六〇校設置予定のうち二校分を地区補助金を使って寄贈するという。専門家が小型ドローンで五〇層上空からヘリサインを撮影した。長浜まで来たのだから、桂浜の龍馬像を見に行こうと提案された。像は丘の上から太平洋を望む。高さは五十三メートル。旅行客が必ず足を運ぶ名所だ。それにしても、高知には銅像が多い。歴史に名が残る偉人が群れをなしているからだ。帰り道に若宮八幡宮に立ち寄った。この宮司が会員の久保千堯さん。最近全国から歴女が集まってくると言う。目当ては長宗我部元親公の銅像。久保さんは言う。



転勤会員のために 「お帰り」と毎年開く同窓会

高知RCのもうひとつの特色は、かつて在籍した転勤会員が高知が忘れられずに定期的に訪ねてくること。日銀支店長だったたり、NTTの支店長だった人が年に一回は訪ねるのだ。現会員が「お帰り」と笑顔で迎える「同窓会」も毎年開く。四日は県主催の「高知県観光特使！ちくと一杯」会合後に多数同窓生が顔を見せた。昼から飲み会に参加したのか、メートルも上がって真っ赤になった面々も。元NTT高知支店長の森英俊さんは言う。

「高知RCは家族的でいい。高知を離れて一〇年になりますが、毎年里帰りのように戻っています。温かく迎えてくれる。こういう雰囲気は他では味わえません」

高知での酒の飲み方は激しい。杯と徳利を持って宴席を回遊。知り合いを見つけると座り込み「まあ一杯」と杯を渡す。相手は飲み干すと杯を戻して返杯。これが何度も繰り返される。果たし合いのようでもある。皆さん酒豪だ。前日、川添昇会



さった幹事の伊丹由美さんは、まさに高知のハチキン(愛媛生まれだそうだが)、明るい女性だった。彼女の薦めで食堂などが並ぶ「ひろめ市場」で食事をした。昼からビールや焼酎を飲む客が大勢いた。

「高知では昼から酒を飲む風景はザラ。男に代わって女性が仕事をしよります」

たしかに。店のおばちゃんは大くましい。テキパキと取材先を決める伊丹さんもそう。さすが今年一〇月に八〇周年を迎える伝統のある高知ロータリークラブ(RC)の幹事だ。現在会員は九二人と第二六七〇地区(香川県・愛媛県・徳島県・高知県)でいちばん多く、そのうち女性が一四人、男に負けていない。

この日午前中に地球33番地の行事があったとい

う。高知市内に東経133度33分33秒、北緯33度33分33秒の地点がある。一九六二(昭和三七)年に高知RCがモニュメントを建てた。地球33番地の始まりだ。平成3年3月3日に初の「3づくし」イベントを行った当時の会長・高橋淳二さんは言う。

「とにかくあの時は訪問証明書3333枚配ったり、3づくしのコンテストをしたりと3にこだわった。街を歩いて3ばかり探しよった」

最初のモニュメントの位置は正確に測るとずれていたらしい。現在は川の中央部に新しいモニュメントがある。しかし、最新のGPSで測るとその場所も少しずれているようで正確には民家の庭先だと聞いた。愉快な話だ。

それはともかく、「幕末維新博」は高知にとって一大イベントである。高知県立高知城歴史博物館はじめ県内二三会場で二年間にわたって行われる。博物館を



高橋淳二さん、明子さん親子

う。高知市内に東経133度33分33秒、北緯33度33分33秒の地点がある。一九六二(昭和三七)年に高知RCがモニュメントを建てた。地球33番地の始まりだ。平成3年3月3日に初の「3づくし」イベントを行った当時の会長・高橋淳二さんは言う。



地球33番地

見せていただいた。土佐藩主山内家に代々伝わる品々や著名人の書簡などがずらり。目玉は坂本龍馬が殺害される直前に書いたとされる手紙だ。「新国家」という言葉が記されていて、つい最近発見された。一般公開は初めてとあって開館時間には一〇〇人以上の列ができた。高知城では幕末維新博を祝う行事があり、地元出身の女優広末涼子さんとお城好きの俳優高橋英樹さんがゲストで登場とあって会場はあふれんばかりの人だかりだ。

「子どものころ高知城でマラソンしたり、よく散歩をしましたがかんなに多くの人が集まったのは初めて見ました」

と広末さん。ちなみに彼女のおじさんは高知RCの会員でもあるという。



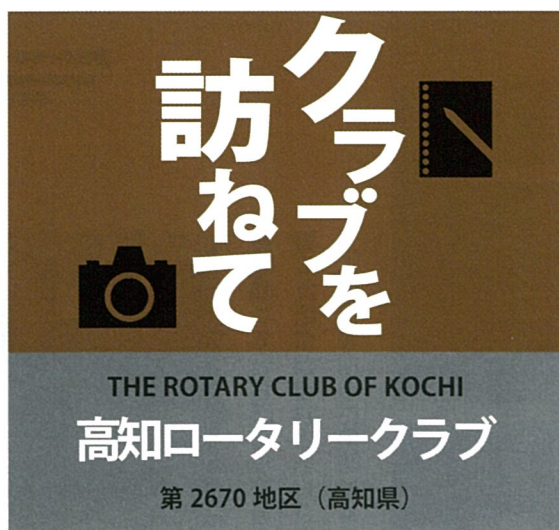
伊丹由美さん(高知城歴史博物館で)

地球33番地で 歴史といまが競演

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

カツオ漁・酒・豪胆な気性……
そして、ハチキン

土佐の高知と言えば黒潮洗う風土が育んだ土地柄、カツオ漁・酒・豪胆な気性……。名物は数あれど筆者にとってはいの一歩に坂本龍馬である。週



刊朝日』に在籍當時に司馬遼太郎さんの「街道をゆく」の最後の担当デスクだった。司馬さん亡きあと、司馬作品をたどる連載を同僚と続けた。高知には何度も足を運んでいる。『竜馬がゆく』、『功名が辻』、『戦雲の夢』と司馬さんは高知出自の英雄を題材

に三本も長編を書いているのだ。ロータリーの友編集部から次は高知を訪ねてください、と依頼があった時は懐かしうれしかった。

大政奉還から一五〇年。高知県では、「志国高知 幕末維新博」が三月四日に開幕。前日三日に現地入りした。高知龍馬空港に迎えにきてくだ



て、社会を安定させるためには、経済と倫理・学問・教育のバランスをつくるのが大切なのです。

鷹山はそのことをよくわかっていました。

鷹山が全面的なサポーターに入ります。それが後半の改革のスタートです。結局、取り締まり（倫理）強化策をやめ、財政再建のための政策ビジョンを次々と打ち出しました。すると、犯罪が減りました。未来に希望があるなら、治安は乱れないのです。人は希望がなくなるから、やけになるものです。こういうところの鷹山のバランス感覚は見事なものでした。繰り返すようですが三五歳です。四番目。「全体が一丸となって」ということの最後の決め手になった、と私が考えているキーワードは「責任」ということです。

後半の改革は皆からまず意見を集めました。てんでバラバラの部分的な意見の集合体です。提案した人が一番、解決策も見えていたので、その人の指示を待たねばなりません。ところが「その人」とは、現場の身分の低い存在であり、複数人でもあります。一人ひとりが責任者になりました。今で言えば役割分担ということなのでしょうが、上から与えられた役割ではなく、自分から手を挙げて得た役割です。

そうすることで、一人ひとりの責任が明らかになりました。全員が改革のリーダーになったのです。これが、一丸となつて改革を進める上で、大きなステップになりました。その全体のバランスを見極め、上がまともながら動かします。連動して、「提案を受け入れてくれた」と下の人たちも喜んで動くようになります。自分が改革の当事者になる。これが、全員が改革に参加していくための大切なポイントです。

自分たちがその決定権の一端を担っている、自分たちが今回の改革の成否を握っていると自覚できる体制づくり、後半の改革ではこれができていたということです。皆、自分のすることがわかっていてやりたいことがはっきりしていますから、さあやろう、と動きます。それで一丸となつていくのです。

こうしたことを進める前提となつたのが、情報の開示です。米沢藩の支出・収入の全容は、関係者しか知りませんでした。出納帳くらいは鷹山が来る前からつくっていました。が、どんぶり勘定でした。収支決算書が出たのは、鷹山以後です。前半の改革時、まだそれは幹部しか持っていませんでしたが、下級武士まで開示しました。これにより、意見がどつと出てきたのです。

まず、教育が大事です。経済改革との同時進行になるのでしようが、教育が後になつてはなりません。加えて、現場の声を吸い上げたというポトムアップ方式によって、責任の所在も明確になります。狭い範囲でも、任されることによって人は育ちます。これも、教育の範疇に入るのだと思います。財政改革を行う中で人が育っていく。ここが鷹山の行った改革の大事なところですよ。

五番目。鷹山は「敬い」ということをとても大事にしました。まず、敬老。時代の流行りもあって、他の藩でも高齢者表彰制度はありましたが、米沢藩独特のものとして、舅・姑を世話している嫁を表彰したことがあります。

医療も熱心に行われました。鷹山は長崎から、最新の西洋の医療器具一式を取り寄せました。米沢は「東北の長崎」と呼ばれ、医師も輩出しました。東洋医学にも熱心に取り組み、大きな薬草園をつ

くつたりしています。江戸からは本草学の学者を連れてきて、すべての薬を米沢でつくられるようにしました。海のない米沢藩に、産業育成も兼ね、漢方でも体に良いとされる鯉の養殖にも乗り出しました。鷹山自ら、お城の堀に鯉を放ち、自分で餌付けして鯉の育て方を体感した後、飼育法のテキストブックを作成して、鯉の稚魚を配り、家来に育てさせました。

今風に言う育児手当も支給しています。人口を増やせということです。また「かてもの」と言いまして、飢饉に備え、食べられる植物を学んで準備させました。そのままだ「かてもの」というタイトルで冊子を一五〇〇部くらい配布しています。天保の大飢饉の時は、この冊子に学んで、米沢藩は餓死者ゼロだったと言われています。太平洋戦争中でも、この冊子は役に立ったそうです。

鷹山は、ここで暮らしていれば長生きしても大丈夫、安心して子どもを育てられる、そういう、社会の厚みのようなものを構築したのです。

最後、六番目は儉約。財政立て直しのために始めた儉約ですがやはりつらいものですから、五か年計画などと期限を設定しました。ただし、鷹山自身は死ぬまで一度も儉約を緩めませんでした。

米沢の人たちが儉約として取り組んだことが、感謝の心を育てることになりました。やはり、経済と道徳は切り離して考えてはいけません。住んでいる人がお互い感謝する、こんな社会は良い社会に決まっています。最終的に、お互いを尊重し合える社会になっていく、これが鷹山の生涯掛けて進めてきた訓えでした。

米沢の人たちは一丸となつて育つたのです。それが、一丸となつた改革ということです。

米沢来訪が挙げられるでしょう。鷹山は三回、先生を呼んでいます。一回目は藩校を開く時。二回目は米沢の教育レベルを上げる時、指導を仰ぐために。三回目は、鷹山が先生の教えに学んでここのまで米沢を変えました、という報告をする時です。

二回目に、細井は半年間、米沢に滞在して教育を施しました。その時のやり方を見てみると、鷹山の考え方がよくわかります。当然、細井は藩校で授業を行います、藩校以外でも、鷹山の教育効果が表れ藩全体の知的レベルが上がっていたので、家臣たち対象の勉強会が開かれました。さらに、藩が主催し、工商を対象にして勉強会が行われました。農民相手の勉強会も開かれました。

身分が違えば、仕事も経験も違います。細井平洲が別々に勉強会を設けているのは、そうした身分の違う相手によって、内容は一緒でも伝え方が異なってくるからです。ですから、全員が先生の言うことがよくわかるわけです。細井平洲の教えは鷹山が幼いころから学んできたことですが、藩主の立場で、それをすべての人に知らせることは難しい。そこで鷹山は、自分の学んだことを知らしめるため、師匠の力を借りて、全体のレベルアップを図ったのです。

鷹山が何を目指していたのか。何を大切にしてたのか。皆が情報を共有し、皆と一緒に改善を行うことです。それが、「一丸となつて」ということにつながっていきます。

以上のように、教育について何重にもわたるシステムを整えて、皆の足並みがそろい、皆の思いも共有できるようになるよう、丁寧に改革は行われていきました。そうすると、一つの課題に全員で取り組む姿勢が生まれますから、何か問題が起

きた時に「誰かがやればいい」「おれは関係ない」という考え方が消えていくのです。

自分が改革の当事者になる

本日の三番目として、鷹山の帝王学について。宝暦の飢饉（一七五三～五七）では雨が長く続き、気温が上がりにませんでした。米沢地域だけでも一二〇〇以上の橋が流出し、夏でも山には雪が降り、大凶作になりました。米沢が一番苦しかった時代でしょう。この飢饉で米沢藩がいよいよ壊滅状態になった時点で、鷹山は藩主に迎えられます。少しは軌道に乗ってきたかな、というところで、天明の大飢饉（一七八二～八七）となり、藩の財政は振り出しに戻ってしまった観があります。その時、彼は本腰を入れようとして隠居するのです。三五歳の時です。隠居後の号が、鷹山です。その際、次の殿・上杉治広（一七六四～一八二二）に家督を譲る時、三条からなるメッセー

私すべき物にはこれ無く候
一、人民は国家に属したる人民にして我私すべき物にはこれ無く候
一、国家人民の為に立たる君にして君の為に立たる国家人民にはこれ無く候
右三条御遺念有間敷候事
天明五巳年二月七日 治憲 花押
治広殿 机前
この「伝国の辞」は、明治になって版籍奉還に至るまで、上杉家代々の家督相続時に相続者へ家訓として伝承されました。これを平たく考え、自分の立場をよくわきまえて、それを常に突き詰めて生きなさい、ということです。
鷹山は、若い殿様が進めることを、初めは黙って見ていました。ところが、経済状態がますますだめになり、犯罪が増え治安も乱れました。その様子をしばらく黙って見ていた鷹山は、とうとう口を出しました。「治国の大体を知らず、目先の姑息に終わる」。全体を見ると、ということです。
鷹山が米沢藩を立て直す時に、儉約と同時に学校づくりもスタートしていました。これは単純に人材育成、教育が大切だということだけではなく

■(学)九里学園高等学校教諭 遠藤 英



一九六六年 山形県米沢市生まれ。一九八九年 東北大学文学部史学科卒業。同年 (学)九里学園高等学校教諭 現在に至る。二〇〇九～一七年 米沢市景観形成委員。二〇一〇～二二年 米沢鷹山大学運営委員。二〇一〇～一三年 伝国の杜運営協議会委員。
『直江兼続物語 米沢二十年の軌跡』新潟日報事業社、二〇〇八年。歴史散策ガイド冊子として、『直江兼続がつくったまち米沢を歩く』二〇〇九年。『米沢学事始 上杉鷹山の訓え 明い未来を拓くために』二〇一一年。共著に『山形県の歴史散歩』山川出版社、二〇一一年、など著書多数。

すべての担当部署の代表者を城に集め、意見書の内容すべてを伝えて、「実態はどうなのだ」と彼らに問いかけました。現場の人たちは「その意見書の内容は違います。われわれは殿様の改革に今、希望を見いだしているところです」と答えました。鷹山は、騒動の背景もしっかり調べその結果、重臣七人中、二人が切腹、五人が蟄居閉門、うち二人が石高を約半分削減という処分になりました。大鉦を振るった、ということになります。

専門家の間では、この事件が鷹山の政策における天王山、成功するか失敗に終わるかの分かれ道だったという評価があります。この事件処理によって、鷹山の信念の強さ、藩政改革にかける思いの強さが、はっきり感じられました。家来たちの信頼を勝ち取ったのです。

実際の生活、現実の社会で役に立つ学問を重視

しかし、藩主が良い人だからといって、当時一〇万人くらいいた米沢藩の人たちが一つになれるわけではありません。彼らの足並みをそろえることができたのには、「教育」がありました。鷹山は、藩校をつくりましたが、それはあくまでエリート教育、リーダー養成の部分です。しかし、全員の教育として巻き込んでいくためには、机の上の勉強だけではだめです。

そこで、私が個人的に注目しているのが「備前蔵」です。これは飢饉対策のため、米を備蓄しておくための蔵です。そういうものは日本中にあるりました。社会事業として施策し、ゆとりのある者が米を供出して、貧民層が利用するというのが、

昔からのタイプです。

ところが鷹山は、自分たちで食べる米は自分たちで準備しようという考えでした。この「備前蔵」は、上級家臣団用、中・下級家臣団用、町人用、農民用が、別々につくられていて、最初の米は藩が準備しました。後は自分たちで計画的に運用し、自由決済しなさい、としました。完全に自由に運営できましたが、自己責任でもありました。このスタイル、江戸時代には考えられないことです。これが学びの場になりました。この「備前蔵」の運営にかかわることは、やりくりの勉強になるのです。責任という意識が発生しますし、農民に至るまで、藩の財政をどうすればいいのか考えられるようになるのです。

鷹山の義父・上杉重定（一七二〇～一七八）も、家来たちに詰め寄られ隠居しています。このような時代を背景として鷹山は、傑出した個人ではなく、皆で考えて事を進めていくという下地を、まづつくらないといけないと考えました。リーダー養成のための藩校整備などを、藩主になるのと同じ時に始めていますが、当時の米沢藩は資金がないので、藩校建設のため莫大な借金を新たに背負うことになりました。目の前にある借金を返済しろ、という大命題を受け赴任した一六歳の若殿は、さらに借金をしましょう、と言うのです。学問すること、教育の大切さを知っていたからでした。

鷹山の学問を見ると、一つのルールがあることに気づきます。実際の生活、現実の社会で役に立たないものはやらなくていいということです。これは師匠・細井平洲の方針に従っています。

米沢藩は最終的に、米沢織などによりお金を稼ぎ出しますが、そこにたどり着く前に、儉約とい

う行為でお金遣い方を考えさせ、入ってきたお金を賢く使う、これにより藩の財政は立ち直っていくのです。そういったことが、米沢の士農工商全員の中に共通して下地としてできていないと、鷹山がしたような改革はうまくいきません。それは学問であり、経験であり、そして儉約であり……と教えたのです。二重、三重の教育が施されていると言ってもいいでしょう。

さらに鷹山は、「農村出役」という新しい役職をつくりました。これは、藩校で学んだ中級家臣の若者たちを農村に送り込むものです。農民と一緒に暮らし、農作業をさせます。その時に、若者たちには持たされるテキストが、二冊あります。一つは行政・財政のテキスト。農民たちがきちんと納税するよう指導し、教育をするためのテキストです。もう一冊は、人間の生き方のテキスト。この二冊を携行して農村に入って、農民たちを育てなさい、ということでした。

短い人で五年、長い人で一二年も農村で暮らしましたが、彼らは月に一度、お城に集められました。そこで、鷹山も参加しての情報交換を行います。悩み事、課題をどんどん提示し合います。アドバイスや提案も出ます。農業技術をまとめた書を書いた人も現れました。このようにして、農村のレベルを上げながら、同時に農村と藩主鷹山の足並みがそろうようにしたのです。

鷹山たち、武士たちが学んできたことが全部、農民に還元される仕組みです。一方通行ではなく、農村側の実情や農民の声が藩主へ入ります。だから、足並みがそろうのです。今風に言うコミュニケーション、これも鷹山は大切にしました。

決定的なエピソードとして、師匠・細井平洲の



細井平洲、3度目の米沢来訪時を再現した「敬師の像」。鷹山 46 歳、平洲 69 歳。平洲の故郷・愛知県東海市から、鷹山が平洲を迎えた米沢の国指定史跡・普門院へ近年寄贈されました。両市は姉妹都市。写真提供：米沢市役所秘書広報課

具体的な改革として、鷹山はまず大倭約を押し進めました。当時、倭約は全国的に、普通に行われていたことです。享保の改革で既に倭約令は出ています。それに倣^{なま}って、大名たちが倭約令を出すのは何も珍しいことではありません。ただし、倭約は家来たちの側にやらせて大名側はしない、これが普通でした。でも鷹山は、自分が一番倭約したので。生活費を七分の一くらいまで減らし、奥女中の数も何十人もいたものを一ケタ、九人くらいまでに減らしました。着物も絹は着ないで麻。思いつく限りの倭約を始めました。

殿様自身が倭約をするのは、当時からすると異常なことです。特に上杉家は誇り高い藩なので、殿様にそんなみじめなことをされるのはいやだ、という家来もいたのです。そんな中、彼は人に要求することは自らも率先して行いました。当時の常識を覆すような、現場の人たちがうれしくなるような彼の行動は、まさに「現場」の人たちに対して、勇気を、希望を与えています。

それに対して、猛烈に反発を繰り出したのが上級家臣たちでした。ついに一七七三（安永二）年、「七家騒動」というトラブルが起きます。鷹山の改革に反対する七人の重臣たちが起こした、お家騒動です。鷹山、二三歳の時です。七人は城へ押しかけ、四五条にわたる鷹山を批判する意見書を提出します。一通り耳を傾けた後、座を立とうとした鷹山の袴^{はかま}の裾をつかんで「この意見書を受け入れるまでは部屋を出さない」と言ったそうです。身分を尊んだこの時代に、あり得ない事件でした。しかし、鷹山は彼らの意見書を無視はしませんでした。この中に、一つでも真実があれば自分は改めなければならない、と考えました。そこで、

上杉鷹山の訓え

鷹山は、改革によって、ここで暮らしていれば長生きしても大丈夫、安心して子どもを育てられる、そういう、社会の厚みのようなものを構築したのです。

(学) 九里学園高等学校教諭 遠藤 英
Ei Endo

信念の強さ、思いの強さで 家臣の信頼を勝ち取る

上杉鷹山(ようざん はるのり) (治憲、一七五一―一八二三)の改革の評価には、「米沢藩が一丸となって取り組んだ」といったような表現が多いのですが、江戸時代としては非常に特殊なケースです。では、鷹山の改革がなぜ一丸となっていたのか、というのが本日のテーマです。

そういうことが可能となったのには土壌がありました。上杉氏は、一六〇〇年の関が原の戦いで徳川と対決し、それまでの一二〇万石を三〇万石に減らされ米沢へ転封となったのです。その時、武士全員には給料が払えなくなりました。家老の直江兼続(かへつぐ) (一五六〇―一六二二)の判断で、下級武士たちには農業をさせ、自給自足の生活をさせます。このことで、武士と農民の身分の境界線があいまいになりました。

鷹山の改革、藩財政の立て直しの改革で主力になったのは「米沢織」です。機織仕事には女性が活躍していて、米沢藩を救ったかなりの部分の功労者は女性だったのです。そういうところでも、男尊女卑といわれる時代の中で、男女の相違、境界線という線引きがなくなってきたのです。でも、ただそれだけで、一つになれるわけでは

ありません。そういった辺りに、鷹山の政策がからんでくると思うのです。まず、上杉鷹山の「良いところ」から見ていきたいと思います。

受けつぎて 国のつかさの身となれば
忘るまじきは 民の父母

という歌があります。これは鷹山が藩主になった時に、決意を詠んだ歌だと言われています。「殿様となった限りは、民の父母であるという心を絶対に忘れない」という意味です。

一六歳でこういう言葉を口にできるのは、徹底的に儒学(じゆうがく)の教育を受けていたからです。儒学者・細井平洲(へいしゅう) (一七二八―一八〇一)を中心に、複数の学者たちにより、鷹山はいわゆる帝王学をたたき込まれたのです。

組織の中で「適材適所」となれば、その人の能力を査定していくことになります。しかし、親心から見れば、できの悪い子ほどかわいいわけです。その子の良さも知っています。その人の持つ良いところと悪いところの両面、その人の真価を理解して進めていかないと、社会は良くならない、リーダーは務まらない、ということを彼は少年の時代からたたき込まれたのです。

今でこそ、上杉鷹山は評価されていますが、当時から見ると非常識な人でした。鷹山は「自分は新しいことをする」とは絶対に言いません。「今までやってきたことをちよつと修正します」と言のです。家来に聞かれると、鷹山は「新しいことをすると言うとおぼろしい、抵抗を感じる者が出てくるものだ。今まで行ってきたことの続きだと言うと、受け入れやすいものなのだ」と答えたそうです。逆から見れば、であるからこそ鷹山は思い切ったことができたのだ、とも言えます。

5月は青少年奉仕月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

上杉鷹山の訓え 4 73

■(学)九里学園高等学校教諭 遠藤 英

シリーズ **クラブを訪ねて** 9 68

地球33番地で歴史といまが競演

高知RC・第2670地区

文・山本 朋史 写真・土藤 隆太郎

友愛の広場 13 64

愛蘭土遊学記

奄美分区分新春三クラブ合同例会訪問記

上田東 村居 正雄
鹿児島西 小山 光義

ホームクラブ例会連続一〇〇〇回出席達成

奈良西 植野 洋志

宮崎RC「メタボリクス」かく戦えり

宮崎 寺坂 文博

理想

泉佐野 貴志 豊

多様性の中で守るべきもの

千里 井上 暎夫

「職業奉仕はロータリーの根幹か？」に思う

呉 大之木精二

「職業奉仕」はロータリーの根幹です

宇治 内良 益雄

●わがまちの味

卓話の泉 18 59

CNFについて

八幡浜 松代 繁吉

ジェネリック医薬品

狭山中央 寶積 英彦

米山梅吉の一冊 18 59

ロータリー 俳壇 20 57

ロータリー 歌壇 20 57

ロータリー 柳壇 20 57

ロータリー・アット・ワーク 22 55

「国際親善のタベ」で

世界34か国の研修員と交流

神戸須磨ロータリークラブ

〈写真〉鹿屋女子高等学校・AC／堺清陵／八代東／

志木／柏南／柏崎中央／有田／福井南／

さいたま新都心／熊本東南／千歳／柴田



クラブ発の交通安全体操 地元の幼稚園などへ普及を

児童養護施設の養生にお年玉！

長岡東

宮城県交通遺児支援の継続

仙台宮城野

スマホ・ケータイ安全教室を開催

北海道2500ロータリーEクラブ

クラウドファンディングによる社会奉仕活動達成

中条

ミャンマーに貯水槽寄贈

明石西

ネパール支援奉仕活動報告

名古屋みなと

タイの小学校に図書を寄贈

しもつけ

歴史ある地域の祭りに二人の奨学生が参加

太宰府

放置竹林の伐採と竹チップ作り

御坊南

●内外よろず案内

表紙 横組み ◎ Monika Lozinska / Rotary International

縦組み ◎ Monika Lozinska, Alyce Henson(左下) / Rotary International

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。

●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

Rotary



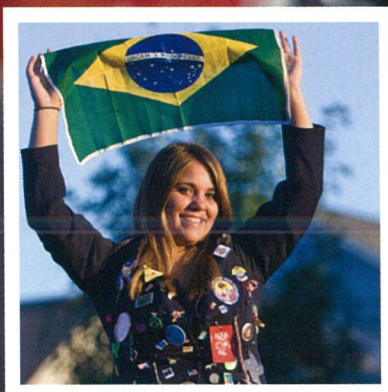
THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

5

2017
MAY

VOL.65 NO.5



SPEECH

上杉鷹山の訓え

遠藤 英

クラブを訪ねて

高知ロータリークラブ

